（様式第 10）

名 大 医 総 第５５号
令和 ２年 ９月２９日

厚生労働大臣　　殿

開設者名　　国立大学法人東海国立大学機構
機構長　松尾　清一　　（印）

名古屋大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1　開設者の住所及び氏名

住　　所	〒464-8601　名古屋市千種区不老町
氏　　名	国立大学法人　東海国立大学機構

（注）　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名　　称

名古屋大学医学部附属病院

3　所在の場所

〒466-8560
名古屋市昭和区鶴舞町65番地　　電話(052)741－2111

4　診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注）　上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有　・　無

内科と組み合わせた診療科名等

1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		11リウマチ科

診療実績
神経内科：脳神経内科にて医療を提供している
内分泌内科、代謝内科：糖尿病・内分泌内科にて医療を提供している。
感染症内科：内科全般にて医療を提供している。
アレルギー疾患内科またはアレルギー科：内科全般と小児科にて医療を提供している。

（注）1　「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2　「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していな

い診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2)外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1呼吸器外科　2消化器外科　3乳腺外科　4心臓外科 5血管外科　6心臓血管外科　7内分泌外科　8小児外科	
診療実績 乳腺外科、内分泌外科：乳腺・内分泌外科にて医療を提供している。 心臓血管外科：心臓外科、血管外科にて医療を提供している。	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科　2小児科　3整形外科　4脳神経外科　5皮膚科　6泌尿器科　7産婦人科 8産科　9婦人科　10眼科　11耳鼻咽喉科　12放射線科　13放射線診断科 14放射線治療科　15麻酔科　16救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4)歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科　2矯正歯科　3口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 児童精神科　2 病理診断科　3 リハビリテーション科　4 糖尿病・内分泌内科 5 老年内科　6 移植外科　7 形成外科　8 乳腺･内分泌外科 9 脳神経内科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精　神	感染症	結　核	療　養	一　般	合　計
50床	床	床	床	1,030床	1,080床

6　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職　　種	常　勤	非常勤	合　計	職　　種	員　数	職　　種		員　数
医　　師	384人	361人	669.2人	看護補助者	63人	診療エックス線技師		0人
歯科医師	9人	28人	33.4人	理学療法士	37人	臨床検査	臨床検査技師	83人
薬　剤　師	89人	13人	102人	作業療法士	9人		衛生検査技師	0人
保　健　師	0人	0人	0人	視能訓練士	13人		そ　の　他	0人
助　産　師	39人	1人	39.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師		3人
看　護　師	1119人	35人	1144.1人	臨床工学士	41人	医療社会事業従事者		11人
准看護師	1人	0人	1人	栄　養　士	0人	その他の技術員		81人
歯科衛生士	7人	0人	7人	歯科技工士	1人	事　務　職　員		331人
管理栄養士	10人	0人	10人	診療放射線技師	72人	その他の職員		9人

（注）1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

専門医名	人　数	専門医名	人　数
総合内科専門医	98人	眼科専門医	6人
外科専門医	100人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	12人	放射線科専門医	24人
小児科専門医	35人	脳神経外科専門医	21人
皮膚科専門医	8人	整形外科専門医	45人
泌尿器科専門医	11人	麻酔科専門医	15人
産婦人科専門医	27人	救急科専門医	9人
		合　計	422人

（注）1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名（　小寺　泰弘　）　任命年月日　平成31年4月1日

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで、名古屋大学医学部附属病院材料部長を務め、医療機器安全管理責任者であった。

平成29年4月1日から平成31年3月31日まで、名古屋大学医学部附属病院医療機器総合管理部長を務め、医療機器安全管理責任者であった。

9　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	761.7人	7.1人	768.8人
1日当たり平均外来患者数	2,194.7人	94.0人	2,288.8人
1日当たり平均調剤数	761.1 剤		
必要医師数	205人		
必要歯科医師数	6人		
必要薬剤師数	26人		
必要（准）看護師数	462人		

（注）1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2　入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数（毎日の 24 時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。

3　外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4　調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	2,113m²	鉄筋コンクリート	病床数	52 床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	［固定式の場合］　床面積　291　m²　病床数　27　床 ［移動式の場合］　台　数　台					
医薬品情報管理室	［専用室の場合］　床　積　54 m² ［共用室の場合］　共用する室名　薬歴管理室、高度医療薬剤支援室					
化学検査室	559　m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）生化学自動分析装置、免疫自動分析装置			
細菌検査室	128　m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）バクテアラート３Ｄ、マイクロスキャン			
病理検査室	341　m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）検体検査装置クリオスタット、自動脱水包埋装置			
病理解剖室	66　m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）解剖台、クリーンベンチ、臓器撮影台			
研究室	142　m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）次世代シーケンサー、質量分析装置			
講義室	55　m²	鉄筋コンクリート	室数　1　室		収容定員　35人	
図書室	41　m²	鉄筋コンクリート	室数　1　室		蔵書数　8,400 冊程度	

（注）1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹　介　率	72.67%	逆　紹　介　率	63.59%
算出根拠	A：紹　介　患　者　の　数		16,397人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,576人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		261人
	D：初　診　の　患　者　の　数		22,923人

（注）1　「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2　「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3　A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
柵木　充明	愛知県医師会会長	○	愛知県医師会長を務めており，医療安全に精通しているため。	有・(無)	1
三島　信彦	AOI名古屋病院病院長		AOI名古屋病院病院長を務めており，医療安全に精通しているため。	有・(無)	1
長谷川　ふき子	成田・長谷川法律事務所　弁護士		医療安全管理を得意とする弁護士であり，法律に関する高い識見を有しているため。	有・(無)	1
芦田　豊	全国健康保険協会　愛知支部　支部長		全国健康保険協会愛知支部長を務めており，医療を受ける者として，医療に係る高い見識を有しているため。	有・(無)	2
中東 正文	名古屋大学副総長		総長が指名する理事・副総長	(有)・無	3

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 本院ホームページ上に公表。	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1　承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先　進　医　療　の　種　類	取扱患者数
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	4人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
S-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法　腹膜播種を伴う初発の胃がん	9人
骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 特になし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

（注）1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　　患　　名	患者数		疾　　患　　名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	89	56	ベーチェット病	63
2	筋萎縮性側索硬化症	79	57	特発性拡張型心筋症	79
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	18
4	原発性側索硬化症	3	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	5	60	再生不良性貧血	41
6	パーキンソン病	284	61	自己免疫性溶血性貧血	4
7	大脳皮質基底核変性症	5	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	68
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	65	原発性免疫不全症候群	18
11	重症筋無力症	105	66	IgA 腎症	44
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	24
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	84	68	黄色靭帯骨化症	12
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	67	69	後縦靭帯骨化症	66
15	封入体筋炎	7	70	広範脊柱管狭窄症	4
16	クロウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	93
17	多系統萎縮症	32	72	下垂体性ADH分泌異常症	30
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	94	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	6	74	下垂体性PRL分泌亢進症	10
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	10
21	ミトコンドリア病	5	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	66	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	61
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	95
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	1
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	24	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	90
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	47
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	55
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	97
34	神経線維腫症	76	89	リンパ脈管筋腫症	13
35	天疱瘡	12	90	網膜色素変性症	41
36	表皮水疱症	4	91	バッド・キアリ症候群	7
37	膿疱性乾癬（汎発型）	2	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	43
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	16
40	高安動脈炎	29	95	自己免疫性肝炎	29
41	巨細胞性動脈炎	1	96	クローン病	330
42	結節性多発動脈炎	6	97	潰瘍性大腸炎	385
43	顕微鏡的多発血管炎	17	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	7	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	7	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	6	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	12	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	201	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	76	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	87	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	9	107	全身型若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	27	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54	成人スチル病	7	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	4
113	筋ジストロフィー	8	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜症	1
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	9
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	4
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	4
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	3	177	有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR－X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	4
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	5	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	2	210	単心室症	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	2	263	脳腱黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	5
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	8	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	50	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	13
224	紫斑病性腎炎	2	272	進行性骨化性線維異形成症	1
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	3	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	1	276	軟骨無形成症	2
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形（頚部顔面病変）	0
231	α1－アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形（頚部口腔咽頭びまん性病変）	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形（頚部顔面又は四肢病変）	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	2
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	1
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	1
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	1
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	6
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膵炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	10
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	11
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	1
258	ガラクトース－１－リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	2

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	β―ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	323	芳香族L－アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	1
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	0
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	5
318	シトリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0			

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ 病棟薬剤業務実施加算1
・ 歯科外来診療環境体制加算2	・ 病棟薬剤業務実施加算2
・ 特定機能病院入院基本料	・ データ提出加算
一般病棟　7対1入院基本料	・ 入退院支援加算2
精神病棟10対1入院基本料	・ 入退院支援加算3
・ 救急医療管理加算	・ 認知症ケア加算
・ 超急性期脳卒中加算	・ せん妄ハイリスク患者ケア加算
・ 診療録管理体制加算1	・ 精神疾患診療体制加算
・ 医師事務作業補助体制加算1	・ 精神科急性期医師配置加算
・ 急性期看護補助体制加算	・ 地域医療体制確保加算
・ 看護職員夜間配置加算	・ 地域歯科診療支援病院入院加算
・ 療養環境加算	・ 特定集中治療室管理料1
・ 重症者等療養環境特別加算	・ 総合周産期特定集中治療室管理料
・ 無菌治療室管理加算1	・ 小児入院医療管理料2
・ 無菌治療室管理加算2	・ 小児入院医療管理料4
・ 緩和ケア診療加算	・
・ 精神科身体合併症管理加算	・
・ 精神科リエゾンチーム加算	・
・ 摂食障害入院医療管理加算	・
・ 医療安全対策加算1	・
・ 感染防止対策加算1	・
・ 患者サポート体制充実加算	・
・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ ハイリスク妊娠管理加算	・
・ ハイリスク分娩管理加算	・
・ 呼吸ケアチーム加算	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 入院時食事療養／生活療養（Ｉ）	・ 人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・ 外来栄養食事指導料の注2	・ 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）
・ 心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・ 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・ 糖尿病合併症管理料	・ 上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）
・ がん性疼痛緩和指導管理料	・ 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）（MRIによるもの）
・ がん患者指導管理料イ	・ 乳房切除術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・ がん患者指導管理料ロ	・ 乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）
・ がん患者指導管理料ハ	・ 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）
・ がん患者指導管理料ニ	・ 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））
・ 外来緩和ケア管理料	・ ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
・ 移植後患者指導管理料（臓器移植後）	・ 胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 移植後患者指導管理料（造血幹細胞移植後）	・ 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 糖尿病透析予防指導管理料	・ 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 小児運動器疾患指導管理料	・ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
・ 乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・ 肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る。）
・ 婦人科特定疾患治療管理料	・ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 腎代替療法指導管理料	・ 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、等
・ 院内トリアージ実施料	・ 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	・ 縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 外来放射線照射診療料	・ 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
・ ニコチン依存症管理料	・ 胸腔鏡下弁形成術
・ 療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	・ 経カテーテル大動脈弁置換術
・ がん治療連携計画策定料	・ 胸腔鏡下弁置換術
・ 肝炎インターフェロン治療計画料	・ 不整脈手術左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）

施設基準の種類	施設基準の種類
・ ハイリスク妊産婦連携指導料1	・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ ハイリスク妊産婦連携指導料2	・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
・ 薬剤管理指導料	・ 両心室ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（心筋電極の場合）
・ 医療機器安全管理料1	・ 両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）
・ 医療機器安全管理料2	・ 植込型除細動器移植術（心筋リードを用いるもの）及び植込型除細動器交換術（心筋リードを用いるもの）
・ 医療機器安全管理料（歯科）	・ 植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極抜去術
・ 在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料	・ 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（心筋電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（心筋電極の場合）
・ 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・ 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
・ 持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定	・ 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
・ 持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）	・ 経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）
・ 遺伝学的検査	・ 補助人工心臓
・ 骨髄微小残存病変量測定	・ 植込型補助人工心臓（非拍動流型）
・ BRCA1／2遺伝子検査	・ 同種心移植術
・ がんゲノムプロファイリング検査	・ 骨格筋由来細胞シート心表面移植術
・ 抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）	・ 経皮的下肢動脈形成術
・ HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	・ 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（後腹膜）
・ ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・ 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・ 検体検査管理加算（Ⅰ）	・ 腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
・ 検体検査管理加算（Ⅳ）	・ 腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）
・ 国際標準検査管理加算	・ バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・ 遺伝カウンセリング加算	・ 胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
・ 遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・ 体外衝撃波胆石破砕術
・ 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・ 腹腔鏡下胆道閉鎖症手術
・ 胎児心エコー法	・ 腹腔鏡下肝切除術
・ 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・ 生体部分肝移植術
・ ヘッドアップティルト試験	・ 同種死体肝移植術
・ 人工膵臓検査、人工膵臓療法	・ 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・ 長期継続頭蓋内脳波検査	・ 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・ 長期脳波ビデオ同時記録検査1	・ 腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・ 脳波検査判断料1	・ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ 終夜睡眠ポリグラフィー（安全精度管理下で行うもの）	・ 腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 神経学的検査	・ 体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・ 補聴器適合検査	・ 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・ 黄斑局所網膜電図	・ 同種死体腎移植術
・ 全視野精密網膜電図	・ 生体腎移植術
・ 内服・点滴誘発試験	・ 膀胱水圧拡張術
・ 画像診断管理加算3	・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ ポジトロン断層撮影	・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・ ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・ 尿道形成手術（前部尿道）（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・ CT撮影及びMRI撮影	・ 尿道下裂形成手術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・ 冠動脈CT撮影加算	・ 陰茎形成術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・ 血流予備量比コンピューター断層撮影	・ 人工尿道括約筋植込・置換術
・ 心臓MRI撮影加算	・ 陰茎全摘術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・ 乳房MRI撮影加算	・ 精巣摘出術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・ 小児鎮静下MRI撮影加算	・ 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・ 頭部MRI撮影加算	・ 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・ 全身MRI撮影加算	・ 会陰形成手術（筋層に及ばないもの）（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・ 造腟術、腟閉鎖症術（遊離植皮によるもの、腸管形成によるもの、筋皮弁移植によるもの）（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・ 外来化学療法加算1	・ 腹腔鏡下仙骨腟固定術

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 無菌製剤処理料	・ 子宮全摘術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・ 心大血管疾患リハビリテーション料（Ｉ）	・ 腹腔鏡下腟式子宮全摘術（性同一性障害患者に対して行う場合に限る。）
・ 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ｉ）	・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 運動器リハビリテーション料（Ｉ）	・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
・ 呼吸器リハビリテーション料（Ｉ）	・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
・ がん患者リハビリテーション料	・ 子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・ リンパ浮腫複合的治療料	・ 胎児胸腔・羊水腔シャント術
・ 歯科口腔リハビリテーション料2	・ 医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
・ 児童思春期精神科専門管理加算	・ 医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
・ 精神科作業療法	・ 医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
・ 認知療法・認知行動療法1	・ 医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）
・ 抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	・ 医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）
・ 医療保護入院等診療料	・ 輸血管理料Ｉ
・ 導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・ コーディネート体制充実加算
・ CAD／CAM冠	・ 自己生体組織接着剤作成術

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 歯科技工加算1及び2	・ 同種クリオプレシピテート作製術
・ センチネルリンパ節加算	・ 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・ 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・ 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・ 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）	・ 麻酔管理料（Ⅰ）
・ 骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。）））	・ 麻酔管理料（Ⅱ）
・ 骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	・ 放射線治療専任加算
・ 後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）	・ 外来放射線治療加算
・ 椎間板内酵素注入療法	・ 高エネルギー放射線治療
・ 腫瘍脊椎骨全摘術	・ 1回線量増加加算
・ 脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・ 強度変調放射線治療（IMRT）
・ 脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・ 画像誘導放射線治療（IGRT）
・ 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・ 体外照射呼吸性移動対策加算
・ 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（過活動膀胱）	・ 定位放射線治療
・ 緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	・ 定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・ 緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	・ 画像誘導密封小線源治療加算
・ 網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの）	・ 病理診断管理加算2

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・ 網膜再建術	・ デジタル病理画像による病理診断
・ 人工中耳植込術	・ 悪性腫瘍病理組織標本加算
・ クラウン・ブリッジ維持管理料	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 実物大臓器立体モデルによる手術計画（頭蓋顎顔面領域の骨変形、欠損若しくは骨折又は骨盤、四肢骨若しくは脊椎の骨格に変形を伴う疾患に係るものに限る。）	・
・ 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・ 腹腔鏡下前立腺摘除術	・
・ 膀胱水圧拡張術（間質性膀胱炎に係るものに限る。）	・
・ 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・ インプラント義歯	・
・ 抗悪性腫瘍剤感受性検査（HDRA法又はCD－DST法）	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

（注）1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
（注）2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療（当該病院において提供していたものに限る。）から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	臨床病理検討会　月に2～3回
剖　検　の　状　況	剖検症例数　27例　／　剖検率　7.7%

（注）「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
分子トレーシングを基盤としたがんと神経の細胞標的分子の創製	夏目 敦至	脳神経外科学(脳神経先端医療学)	19,500,000	補	日本学術振興会
脳溝形成の個人差に着目した早産児神経発達予後予測モデルの開発	城所 博之	小児科	2,340,000	補	日本学術振興会
レット症候群におけるマルチスケール精神病態の構成的理解	辻村 啓太	精神医学	3,900,000	補	日本学術振興会
脳タンパク質老化と認知症制御	祖父江 元	神経内科学(特任プロ・新学術領域)	3,900,000	補	日本学術振興会
ベトナムにおける妊産婦管理および婦人科rare tumorの学際的研究	吉川 史隆	産婦人科学	5,720,000	補	日本学術振興会
デスモイド型線維腫症の病態に基づく診断、新規治療開発への学際的・国際的共同研究	西田 佳弘	整形外科	8,970,000	補	日本学術振興会
精神障害の神経・グリアネットワーク病態解明：病態に基づく診断体系構築を目指して	尾崎 紀夫	精神医学	13,000,000	補	日本学術振興会
分散型制御による麻痺治療を実現するサイバネティクス技術開発	平田 仁	手の外科学	10,010,000	補	日本学術振興会
情動行動の基盤となる神経機序の解明	永井 拓	薬剤部	4,290,000	補	日本学術振興会
トランスレータブル視覚弁別試験の基盤研究と創薬への応用	山田 清文	薬剤部	5,200,000	補	日本学術振興会
骨格筋由来分泌蛋白を標的とした心血管病の病態解明と治療法の開発	大内 乗有	循環器内科学(分子循環器寄附講座)	4,420,000	補	日本学術振興会
間葉系幹細胞特異的マーカーを利用した糸球体腎炎の病態解明と新規細胞治療法の開発	丸山 彰一	腎臓内科学	4,290,000	補	日本学術振興会
運動ニューロン疾患における神経コミュニケーション異常の分子病態解明と治療法開発	勝野 雅央	神経内科学	4,810,000	補	日本学術振興会
新生児消化器疾患発症機序の分子生物学的解明に向けた解析ワークフローの確立	田中 裕次郎	小児外科学	3,770,000	補	日本学術振興会
内耳老廃物排泄機構に着目した新機軸脳神経臨床画像診断の確立	長縄 慎二	量子医学	4,290,000	補	日本学術振興会
胃癌腹膜播種特異的関連分子を標的とした新規腹腔内治療法の開発	小寺 泰弘	消化器外科学	4,290,000	補	日本学術振興会
EDHFをターゲットとした新しい血管病の探索研究―血管内膜肥厚とEDHFの関連―	古森 公浩	血管外科学	3,640,000	補	日本学術振興会
FGFR3シグナルの活性化による骨軟骨機能の検討	鬼頭 浩史	整形外科学	2,470,000	補	日本学術振興会
卵巣癌関連腹膜中皮に新機軸をおいた腹腔内細胞クロストークに関する学際的機能研究	梶山 広明	産婦人科学	4,030,000	補	日本学術振興会
進行期神経芽腫に対するKIRリガンド不一致臍帯血移植における分子学的基盤の解析	高橋 義行	小児科学	3,770,000	補	日本学術振興会
グルカゴン関連蛋白と毛細血管機能にフォーカスした糖尿病性心筋症の病態に関する研究	室原 豊明	循環器内科学	5,850,000	補	日本学術振興会
表皮脂質の異常による魚鱗癬発症メカニズムの解明と新規治療薬開発への展開	秋山 真志	皮膚科学	5,460,000	補	日本学術振興会
胆管癌融合遺伝子を標的にした新規核酸医薬の開発	椰野 正人	腫瘍外科学	3,770,000	補	日本学術振興会
肺移植後の慢性拒絶撲滅を目指す、自然免疫を温存した選択的免疫抑制療法の創出	芳川 豊史	呼吸器外科学	5,330,000	補	日本学術振興会
感情認識における心理・神経基盤解明：脳神経外科学・認知神経科学の融合	若林 俊彦	脳神経外科学	4,160,000	補	日本学術振興会
発達期遺伝子制御の異常に基づいた運動ニューロン変性機序の解明	佐橋 健太郎	神経内科	6,630,000	補	日本学術振興会
グルカゴン依存性交感神経制御機構の解明と心血管病での役割―心事故予防を目指して	坂東 泰子(暮石泰子)	循環器内科	5,720,000	補	日本学術振興会
大動脈瘤に対する新規バイオ医薬の開発	碓氷 章彦	心臓外科学	10,140,000	補	日本学術振興会
敗血症性多臓器不全におけるSTAT3の遺伝子治療による創薬科学医療イノベーション	松田 直之	救急・集中治療医学	6,890,000	補	日本学術振興会
Wnt/βカテニン・ADAM10阻害による新規作用機序の変性関節症治療薬の開発	石黒 直樹	整形外科学	6,370,000	補	日本学術振興会
腹膜中皮との相互作用による卵巣がんの悪性化・腹膜播種・進展機序の解明	吉川 史隆	産婦人科学	6,500,000	補	日本学術振興会
可変培養環境下で合目的に調製した細胞外小胞によるカスケード的骨再生法の開発	日比 英晴	顎顔面外科学	8,190,000	補	日本学術振興会
双極性障害のゲノムコピー数変異解析に基づく分子病態解明	久島 周	精神医学	5,850,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
神経筋ネットワーク変性における分子シグナル異常を標的とした治療法開発	飯田　円	神経内科	1,300,000	補	日本学術振興会
脳脊髄液の流出入に伴う老廃物の排出機構に着目した周産期脳障害の病態解明	小野田　淳人	小児科（総合周産期（新生児））	1,430,000	補	日本学術振興会
周産期における気分症状の多面的評価を踏まえたボンディング障害に関連する因子の検討	山内　彩	精神科	540,000	補	日本学術振興会
新生仔期感染モデルを用いた統合失調症治療標的分子の探索および発現メカニズムの解明	北川　佳奈子	薬剤部	410,000	補	日本学術振興会
介入による消化器癌周術期高齢者機能の改善と機能低下に影響するバイオマーカー探索	田中　千恵	消化器外科二	1,430,000	補	日本学術振興会
本邦・アジア造血細胞移植レジストリの国際データ標準化に関する研究	鍬塚　八千代	先端医療開発部	1,430,000	補	日本学術振興会
抗がん薬による下痢・腸炎の病態解明と新治療法の開発	安藤　雄一	化学療法部	1,170,000	補	日本学術振興会
地域連携クリティカルパスを用いた標準的癌診療工程プロセスとその最適化	白鳥　義宗	メディカルITセンター	1,040,000	補	日本学術振興会
非B非C型肝癌における腸内細菌叢と治療介入	本多　隆	消化器内科	780,000	補	日本学術振興会
運動療法による冠動脈・頸動脈プラーク退縮と安定化、メカニズムの検討	石井　秀樹	循環器内科	1,820,000	補	日本学術振興会
肺高血圧症病状進行での血管新生抑制型アイソフォームVEGF-A165b役割解明	近藤　隆久	循環器内科学（肺高血圧寄附講座）	130,000	補	日本学術振興会
新規心臓特異的プロテインキナーゼが修飾する生理機能の解明	竹藤　幹人	循環器内科学	1,560,000	補	日本学術振興会
オメンチンを標的とした心血管病の治療開発	柴田　玲	循環器内科学（先進循環器寄附講座）	1,430,000	補	日本学術振興会
心筋細胞の最終分化における核内受容体の役割　－心筋再生医療を目指した基盤研究－	海野　一雅	循環器内科	910,000	補	日本学術振興会
IL-7を基軸とした重症呼吸器感染症に対する新規免疫療法の開発	進藤　有一郎	呼吸器内科	910,000	補	日本学術振興会
癌幹細胞性を有する肺癌循環腫瘍細胞解析による分子標的薬耐性克服治療の開発	長谷　哲成	呼吸器内科	1,430,000	補	日本学術振興会
CD147による細胞内輸送・代謝機構の解明と糖鎖修飾調整を介した新規治療法の開発	小杉　智規	腎臓内科学	1,300,000	補	日本学術振興会
間葉系幹細胞に着目した腎間質線維化の機序解明と新規治療法の開発	齋藤　尚二	腎臓内科	1,430,000	補	日本学術振興会
神経特異的polysome解析によるALS/FTLD病態解明と分子標的療法の開発	井口　洋平	脳神経内科	1,430,000	補	日本学術振興会
家族性アミロイドポリニューロパチーにおける末梢神経障害の機序解明と新規治療法開発	小池　春樹	神経内科学	1,300,000	補	日本学術振興会
筋萎縮性側索硬化症の進行、予後に関連する因子を基にした治療法開発	熱田　直樹	脳神経内科	1,430,000	補	日本学術振興会
多能性幹細胞から視床下部と下垂体の機能的ユニットを作る	須賀　英隆	糖尿病・内分泌内科学	1,820,000	補	日本学術振興会
BOECを用いたvon Willebrand病の細胞科学的的解析と治療への応用	松下　正	輸血部	1,040,000	補	日本学術振興会
新規FLT3阻害剤の有用性と選択根拠となる分子病態の解明	清井　仁	血液・腫瘍内科学	1,430,000	補	日本学術振興会
悪性リンパ腫の臓器指向性に関わる腫瘍細胞と微小環境の相互作用の解明と新規治療開発	島田　和之	血液内科	1,300,000	補	日本学術振興会
脳波の紡錘波状速波に着目した早産児神経ネットワーク変容過程の解明とその臨床制御	城所　博之	小児科	910,000	補	日本学術振興会
次世代シーケンサーを応用した小児重症ウイルス感染症の診断	川田　潤一	小児科	1,430,000	補	日本学術振興会
周産期低酸素性虚血性脳症に対する新規二段階細胞療法の開発	佐藤　義朗	小児科（総合周産期（新生児））	1,690,000	補	日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬の使用による自己抗体と抗腫瘍抗体産生の解明	室　慶直	皮膚科学	1,430,000	補	日本学術振興会
モデルマウスと抗体アレイによる網状肢端色素沈着症の包括的病態解明と治療薬開発	河野　通浩	皮膚科学	910,000	補	日本学術振興会
双極性障害の運転適性を判断する臨床指標の探索	岩本　邦弘	精神医学	1,170,000	補	日本学術振興会
高齢期における精神病性症状の神経病理学的基盤の解明	入谷　修司	精神医学（精神医療学寄附講座）	910,000	補	日本学術振興会
統合失調症の発症リスクとなるゲノムコピー数変異が脳内ネットワークに与える影響	山本　真江里	精神科	1,690,000	補	日本学術振興会
SNRIの疼痛緩和メカニズム探索に関する基礎および臨床の連携研究	木村　宏之	精神医学	520,000	補	日本学術振興会
脳神経変性疾患検出を目的としたグルタミン酸トランスポーターイメージング剤の開発	山口　博司	新学術領域	1,430,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
拡散画像によるヒト脳内グリンパティック系の非侵襲的評価とアルツハイマー病への応用	田岡 俊昭	放射線科	780,000	補	日本学術振興会
腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術後の諸問題解決を目指すMRIの新戦略	竹原 康雄	量子医学(新規低侵襲～寄附講座)	1,300,000	補	日本学術振興会
小児肝移植後持続性高EBウイルス血症の病態及びグラフト肝における線維化機序の解明	亀井 秀弥	移植外科	650,000	補	日本学術振興会
胃癌に対する胃切除術後の持続血糖測定を用いたダンピング症候群の定量的評価	小林 大介	消化器外科二	1,170,000	補	日本学術振興会
国際共同研究による新規胃癌血清腫瘍マーカーの開発と血中移行機序の検討	神田 光郎	消化器外科学	1,430,000	補	日本学術振興会
TFF1の膵癌抑制効果の検証と膵癌治療に対する有用性の検討	山口 淳平	消化器外科一	1,300,000	補	日本学術振興会
間葉系幹細胞分泌分子による心臓移植後の新しい免疫寛容誘導の開発	藤本 和朗	心臓外科(重症心不全治療センター)	1,430,000	補	日本学術振興会
骨親和性ペプチドを付与した、生体適合性骨髄止血材料の開発	伊藤 英樹	心臓外科	1,820,000	補	日本学術振興会
活性型ビタミンD投与による大動脈瘤形成抑制効果の検討	新美 清章	血管外科(一外)	1,430,000	補	日本学術振興会
胸部稀少悪性腫瘍の細胞株樹立と遺伝子異常の解明	福井 高幸	呼吸器外科	1,170,000	補	日本学術振興会
包括的ゲノムプロファイリングに基づくIDH野生型神経膠腫の新規予後因子の機能解明	本村 和也	脳神経外科学	1,430,000	補	日本学術振興会
機能連絡解析を駆使したてんかん外科コネクトームマップと定位的脳波記録による実証	前澤 聡	脳神経外科学(脳とこころ)	650,000	補	日本学術振興会
多様なmodalityによる振戦の病態解明とFUSやDBSによる病態修飾	中坪 大輔	脳神経外科	650,000	補	日本学術振興会
進行期骨軟部肉腫に対する細胞外マトリックス制御による新規腫瘍免疫療法の開発	浦川 浩	化学療法部(がんプロ)	1,300,000	補	日本学術振興会
吸入麻酔薬はWntを介して一部の癌細胞を悪性化するか	林 智子	麻酔科	1,430,000	補	日本学術振興会
アディポサイトカインと下部尿路機能障害	松川 宜久	泌尿器科学	1,040,000	補	日本学術振興会
膀胱虚血におけるNrf2の役割の解明;過活動膀胱の新規治療標的としての可能性	舟橋 康人	泌尿器科学	1,170,000	補	日本学術振興会
排尿筋低活動におけるウイルスベクターを用いたニューロトロピン遺伝子治療の検討	馬嶋 剛	泌尿器科学	780,000	補	日本学術振興会
バイオ3Dプリンターを用いた脂肪幹細胞含有自己組織化尿道の作成	山本 徳則	泌尿器科学	650,000	補	日本学術振興会
胎内炎症曝露が及ぼすエピジェネティック変化とその制御	小谷 友美	産婦人科学(総合周産期(生殖))	1,170,000	補	日本学術振興会
正常眼データベースとの比較による網膜疾患の眼血流動態の解明	岩瀬 剛	眼科	1,170,000	補	日本学術振興会
オッセオインテグレーションを構成するコンドロイチン4硫酸の機能解析	土屋 周平	歯科口腔外科	1,430,000	補	日本学術振興会
エキスパートナースの認知行動のフレーム意味論的解析の看護支援システムへの統合	舩田 千秋	メディカルITセンター	1,040,000	補	日本学術振興会
アート×医療:演劇を必修科目とする卒前看護教育プログラムの開発と効果の検証	岡崎 研太郎	地域医療教育学寄附講座	1,300,000	補	日本学術振興会
看護業務量推計モデルを基にした病棟マネジメント基盤開発	佐藤 菊枝	メディカルITセンター	520,000	補	日本学術振興会
在宅高齢者夫婦世帯における行動変容をもたらす継続可能な転倒予防プログラムの開発	三浦 昌子	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	1,170,000	補	日本学術振興会
地域連携における医療介護情報の信頼性および情報に基づいたサービス選択に関する研究	大西 丈二	老年内科	2,080,000	補	日本学術振興会
スコットランドと日本における糖尿病、認知症とソーシャルキャピタルとの関連性	末松 三奈	地域医療教育学寄附講座	1,040,000	補	日本学術振興会
MECP2を起点とした精神神経疾患の共通分子病態の解明	辻村 啓太	精神医学	1,040,000	補	日本学術振興会
中性脂質蓄積制御からの脂肪肝/脂肪肝炎の予防治療薬の開拓	大城 太一	消化器内科	1,560,000	補	日本学術振興会
ALS/FTLDおよびタウオパチーに共通する病態基盤の解明	石垣 診祐	新学術領域	1,430,000	補	日本学術振興会
高齢者がん治療におけるQOL情報の有用性に関する研究	安藤 昌彦	先端医療開発部	1,690,000	補	日本学術振興会
球脊髄性筋萎縮症に対する骨格筋トランスポーターを標的とした治療法開発	土方 靖浩	脳神経内科	1,170,000	補	日本学術振興会
球脊髄性筋萎縮症に対するリュープリロレリン酢酸塩長期投与時の有効性評価	橋詰 淳	脳神経内科	1,430,000	補	日本学術振興会
脳血管奇形に対するフレームレス光子線高精度照射法の精度向上と低侵襲化の検討	大宝 和博	量子医学(量子介入治療学)	650,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
胸部放射線治療の内臓脂肪組織への影響:アディポサイトカインとがん幹細胞の役割	岡田 徹	放射線科(放射線部)	910,000	補	日本学術振興会
次世代シーケンサーを用いた若年性骨髄単球性白血病のメチル化解析法の開発	村松 秀城	小児科	1,430,000	補	日本学術振興会
急性肝不全モデル動物におけるMCP-1,sSiglec9の有用性	石上 雅敏	消化器内科	1,170,000	補	日本学術振興会
好塩基球の慢性気道炎症難治化因子およびバイオマーカーとしての可能性	若原 恵子	呼吸器内科	1,820,000	補	日本学術振興会
腹膜組織解析による腹膜硬化症から被嚢性腹膜硬化症への進展機序とリスク因子の検討	鈴木 康弘	腎不全システム治療学寄附講座	1,690,000	補	日本学術振興会
腹膜透析による補体系への影響と、腹膜傷害進展への機序の解明及びその制御	水野 正司	腎不全システム治療学寄附講座	1,560,000	補	日本学術振興会
糖尿病性腎臓病における2つのフルクトース代謝酵素の役割の解明とその治療応用	石本 卓嗣	腎臓内科	1,560,000	補	日本学術振興会
日本の一次性膜性腎症における責任抗原ごとの病態理解と新規診断法の確立	秋山 真一	腎臓内科学(特任研究ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ)	910,000	補	日本学術振興会
移植前にGVHD関連T細胞を推定するヒト急性GVHDにおけるT細胞応答の解析	村田 誠	血液・腫瘍内科学	1,560,000	補	日本学術振興会
T細胞レセプター遺伝子導入T細胞における細胞内シグナルの増強	寺倉 精太郎	血液内科	1,040,000	補	日本学術振興会
膵神経内分泌腫瘍自然発生マウスモデルを用いた腫瘍免疫療法の研究開発	菊森 豊根	乳腺・内分泌外科	1,560,000	補	日本学術振興会
局所切除可能な十二指腸乳頭部癌の新規診断方法の開発	川嶋 啓揮	消化器内科	1,430,000	補	日本学術振興会
肝切除のためのリアルタイムナビゲーションシステムの開発	伊神 剛	消化器外科一	1,040,000	補	日本学術振興会
深紫外線による新規癌治療法の開発	宮田 一志	消化器外科一	1,040,000	補	日本学術振興会
Trefoil Factorを軸としたBarrett食道発癌機序の解明	深谷 昌秀	消化器外科一	1,170,000	補	日本学術振興会
Xa阻害剤をターゲットとした新しい血管病治療の探索研究	坂野 比呂志	血管外科	1,560,000	補	日本学術振興会
補体活性化制御によるSTEC-HUSの治療を目指した基盤研究	尾崎 将之	救急科(救急・内科系集中治療部)	1,430,000	補	日本学術振興会
パスウェイ異常の同定によるもやもや病発症メカニズムの解明	荒木 芳生	脳神経外科	1,430,000	補	日本学術振興会
新規自己集合体ペプチドゲルを足場とした骨再生	安藤 圭	整形外科	910,000	補	日本学術振興会
神経筋接合部の機能改善を標的としたサルコペニア治療薬の探索	石井 久雄	手の外科(四肢外傷学寄附講座)	1,560,000	補	日本学術振興会
R-spondin2を通じた変形性関節症の分子機構の解明とその治療薬の応用開発	竹上 靖彦	整形外科	1,560,000	補	日本学術振興会
高齢者運動器疾患の全身網羅的長期縦断解析と健康寿命延伸のための介入プログラム策定	今釜 史郎	整形外科学	1,690,000	補	日本学術振興会
炎症性サイトカインからみた内耳性難聴の病態解明と個別化医療への応用	寺西 正明	耳鼻咽喉科学	1,560,000	補	日本学術振興会
メカノトランスダクションと幹細胞体内移動メカニズムを応用した組織再生法の開発	藤尾 正人	顎顔面外科学	1,300,000	補	日本学術振興会
神経損傷後の加齢に伴う機能回復阻害因子を克服する薬理学的アプローチ	栗本 秀	手の外科学	1,300,000	補	日本学術振興会
超音波内視鏡下エラストグラフィによる組織硬度測定による膵癌の臨床病理学的病態解析	大野 栄三郎	消化器内科	1,560,000	補	日本学術振興会
異常タンパク分解系を標的とした運動ニューロン疾患治療薬の開発	藤内 玄規	脳神経内科(祖父江研)	1,560,000	補	日本学術振興会
がん薬物療法における抗がん薬曝露に対する科学的エビデンスの創出	満間 綾子	化学療法部(がんプロ)	520,000	補	日本学術振興会
リーリン欠失統合失調症患者モデルマウスを用いた発症メカニズムの解明	森 大輔	脳とこころの研究センター	2,210,000	補	日本学術振興会
呼吸器悪性腫瘍における血管新生阻害治療の低侵襲な効果予測法を確立をめざす研究	森瀬 昌宏	呼吸器内科	1,430,000	補	日本学術振興会
頭部MRIによる多系統萎縮症の進展様式の解明	原 一洋	脳神経内科	1,690,000	補	日本学術振興会
候補遺伝子アプローチによる筋萎縮性側索硬化症病態関連遺伝子の探索	中村 亮一	脳神経内科	1,690,000	補	日本学術振興会
染色体22q11.2欠失がもたらす脳内ストレス脆弱性機構の解明	有岡 祐子	先端医療開発部	1,950,000	補	日本学術振興会
疾患コホートを用いた22q11.2欠失症候群の表現型の追跡とゲノムバリアント探索	小川 しおり	精神科	1,170,000	補	日本学術振興会
深層学習・人工知能技術を用いた音声認識システムによるうつ病重症度推定機器の開発	稲田 俊也	精神医学	3,250,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
精神疾患における予測的な目の動きの研究	東島 恵美子(宍戸恵美子)	精神医学	3,380,000	補	日本学術振興会
超高精細形態画像と機能画像の統合解析による早期肺癌の次世代予後予測モデルの確立	岩野 信吾	量子医学	1,820,000	補	日本学術振興会
″再生″を用いた新生児/小児肺高血圧症に対する新規治療法の開発	齊藤 明子	小児科(総合周産期(新生児))	1,820,000	補	日本学術振興会
神経芽腫に対するGD2を標的とした新規キメラ抗原受容体遺伝子改変T細胞療法の開発	西尾 信博	先端医療開発部	1,690,000	補	日本学術振興会
マウスモデルを用いた再生不良性貧血の新規遺伝子機能解析	成田 敦	小児科	1,300,000	補	日本学術振興会
次世代シークエンスによる包括的な重症感染症リキッドバイオプシー	伊藤 嘉規	小児科	1,690,000	補	日本学術振興会
家族性WPW症候群における全エクソーム解析による原因遺伝子の探索	深澤 佳絵	小児科	1,300,000	補	日本学術振興会
妊娠高血圧症候群に起因するSGAの慢性肺疾患の重症化機序解明と新規治療法開発	早川 昌弘	小児科(総合周産期(新生児))	1,430,000	補	日本学術振興会
医療経済からみた経カテーテル大動脈弁置換術の適応限界の検証	徳田 順之	心臓外科	2,600,000	補	日本学術振興会
マイクロRNAと脂肪幹細胞由来エクソソームを用いた、敗血症性AKI治療開発	加藤 規利	腎臓内科	2,210,000	補	日本学術振興会
慢性腎臓病患者における腸内細菌叢の変化とその改善による新規治療戦略の開発	加藤 佐和子	腎臓内科学(特任研究ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ)	2,210,000	補	日本学術振興会
AKIにおける、CCR7を介したC5a経路制御機構の解明	小島 博	腎不全システム治療学寄附講座	2,210,000	補	日本学術振興会
間葉系幹細胞治療における現在の問題点を解決する新たな細胞治療用カラムの開発	古橋 和拡	腎臓内科(血液浄化部)	2,210,000	補	日本学術振興会
難治性腎疾患におけるCaMK4を介した新規ポドサイト特異的治療法の開発	前田 佳哉輔	腎臓内科	2,210,000	補	日本学術振興会
急性骨髄性白血病における変異型セリンプロテアーゼの高発現とその生物学的意義の解明	石川 裕一	血液・腫瘍内科学	1,560,000	補	日本学術振興会
骨髄増殖性腫瘍とその二次性白血病におけるinitiating変異の同定と機能解析	牛島 洋子	血液内科	1,430,000	補	日本学術振興会
抗PD-1抗体誘発甲状腺炎マウスモデルを用いた免疫関連有害事象の発症機序の解明	岩間 信太郎	糖尿病・内分泌内科	1,560,000	補	日本学術振興会
脂肪幹細胞を用いた術後肝障害に対する新規予防治療法の開発	尾上 俊介	消化器外科一	1,690,000	補	日本学術振興会
食道癌に対する新たな抗体医薬とコンパニオン診断技術の開発研究	小池 聖彦	消化器外科	1,560,000	補	日本学術振興会
Trefoil Factorと肝発癌の関連および肝癌新規治療法開発に関する研究	江畑 智希	腫瘍外科学	1,820,000	補	日本学術振興会
血中循環腫瘍細胞の生着および非対称分裂・自己組織化に対する癌転移抑制法の開発	相場 利貞	消化器外科一	1,950,000	補	日本学術振興会
Invisible膵癌に対する新規診断治療法の開発	渡辺 伸元	腫瘍外科学(428外科周術期～寄附講座)	1,820,000	補	日本学術振興会
膵癌EMTに関するtumor-educated plateletsの応用可能性	服部 憲史	消化器外科二	2,470,000	補	日本学術振興会
腫瘍由来エクソソームによる膵癌マルチオミクス・プロファイリングの挑戦と臨床応用	山田 豪	消化器外科学	2,990,000	補	日本学術振興会
補助人工心臓ドライブライン感染制御等のための抗菌ポリマーを用いた部材の開発	寺澤 幸枝	心臓外科	1,300,000	補	日本学術振興会
クラリスロマイシンとモンテルカストによる大動脈瘤治療と閉塞性肺疾患との逆説解明	成田 裕司	心臓外科	1,300,000	補	日本学術振興会
脳死関連肺障害の病態解明と予防・治療法の開発ー特にNPYとVEGFと関連して	西脇 公俊	麻酔・蘇生医学	1,430,000	補	日本学術振興会
吸入麻酔薬後のケモカインCXCL12-CXCR4発現不均衡と血管新生	平井 昂宏	麻酔科	1,690,000	補	日本学術振興会
Xenopus由来因子のエピゲノム制御による神経系細胞の系譜転換と神経再生	西村 由介	脳神経外科	1,820,000	補	日本学術振興会
スーパーエンハンサー形成が誘導する悪性脳腫瘍の異常クロマチンリモデリングの解明	大岡 史治	脳神経外科学	1,820,000	補	日本学術振興会
Augmented Reality(AR)を用いた次世代型関節鏡システムの開発	山本 美知郎	手の外科学	1,820,000	補	日本学術振興会
ドラッグリポジショニングによるペルテス病の新規治療法の開発	三島 健一	整形外科	1,560,000	補	日本学術振興会
FGFR3インヒビターの局所投与による骨伸長促進効果の検討	長田 侃	整形外科	1,430,000	補	日本学術振興会
代謝リプログラミング制御による軟骨破壊抑制ー新規関節リウマチ治療を目指してー	小嶋 俊久	整形外科学	2,080,000	補	日本学術振興会
ヒアルロン酸レセプターCD44の断片化阻害による、軟骨細胞の脱分化抑制効果	高橋 伸典	整形外科	1,300,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
新規軟骨無形成症治療薬開発研究	松下　雅樹	整形外科(障害児(者)寄附講座)	1,300,000	補	日本学術振興会
脳機能解析を応用した疼痛評価システムの開発	岩月　克之	手の外科	1,560,000	補	日本学術振興会
難治性再発卵巣腫瘍を標的とした改変型腫瘍溶解性ウイルスの開発	那波　明宏	産婦人科学	1,690,000	補	日本学術振興会
子宮Ecosystemの観点から捉える子宮体がんに対する抗腫瘍免疫応答	鈴木　史朗	産科婦人科	1,300,000	補	日本学術振興会
アディポネクチン関連因子の網膜機能・形態に及ぼす影響についての検討	上野　真治	眼科学	1,170,000	補	日本学術振興会
原因不明のシリコーンオイル関連視力低下(SORVL)は完全に予防できるのか？	兼子　裕規	眼科学	1,300,000	補	日本学術振興会
視覚再生を目指した多角的機能構造解析アプローチ	寺崎　浩子	眼科学	1,430,000	補	日本学術振興会
エピジェネティクス機構制御によるケロイド・肥厚性瘢痕に対する新規治療法の開発	高成　啓介	形成外科学	1,170,000	補	日本学術振興会
大気圧プラズマのケロイド・肥厚性瘢痕に与える影響に関する基礎的研究	亀井　譲	形成外科学	1,560,000	補	日本学術振興会
ヒト毛包原基大量培養法を用いた毛髪再生医療実現化に関する基礎的研究	蛯沢　克己	形成外科	1,820,000	補	日本学術振興会
エクソソームによる放射線性顎骨壊死の治療法開発と機序解明	岡部　一登	歯科口腔外科	1,430,000	補	日本学術振興会
口腔癌に対する免疫チェックポイント阻害薬を用いた免疫温熱療法	山本　憲幸	歯科口腔外科	1,300,000	補	日本学術振興会
急性期病院におけるフレイルおよび高齢者の総合的アセスメントに関する研究	大西　丈二	老年内科	1,170,000	補	日本学術振興会
「博物館」で施行する手術教育	藤原　道隆	クリニカルシミュレーションセンター	1,560,000	補	日本学術振興会
分子シミュレーション解析と数理モデルによる肺がん分子標的薬の薬効予測の研究	菅野　亜紀	メディカルITセンター	2,340,000	補	日本学術振興会
外来診療における慢性疼痛とオラリティ	大山　慎太郎	メディカルITセンター	2,600,000	補	日本学術振興会
血液脳関門透過性の再定義に向けて	長縄　慎二	量子医学	2,080,000	補	日本学術振興会
22q11.2欠失を起点とするiPS細胞を用いた統合失調症の脳・心臓病態解明	尾崎　紀夫	精神医学	4,290,000	補	日本学術振興会
ナンセンス変異に対する内因性修復機構の解明と、その治療への応用研究	佐橋　健太郎	神経内科	2,990,000	補	日本学術振興会
新たな細胞医薬戦略を目指した体細胞復帰変異発生機序の解析と制御法の開発	秋山　真志	皮膚科学	4,940,000	補	日本学術振興会
新規骨格筋由来分泌因子の同定と心血管病における役割の解明	大内　乗有	循環器内科学(分子循環器寄附講座)	3,120,000	補	日本学術振興会
敗血症患者の脾臓マクロファージをターゲットとした、新規核酸医薬開発	安田　宜成	循環器・腎臓・糖尿病(CKD)先進医療	3,770,000	補	日本学術振興会
蛋白尿可視化透明モデル動物による特発性巣状分節性糸球体硬化症の液性病因の解明	丸山　彰一	腎臓内科学	3,900,000	補	日本学術振興会
マルチオミクス解析による胃癌周術期化学療法の奏効度予測バイオマーカーの探索的研究	小寺　泰弘	消化器外科学	2,990,000	補	日本学術振興会
新規生分解性Mg気管内ステントの開発	内田　広夫	小児外科学	2,730,000	補	日本学術振興会
オルガノイドを用いた慢性呼吸不全に対する革新的治療法の開発	芳川　豊史	呼吸器外科学	3,250,000	補	日本学術振興会
小児漢方医学の歴史的経緯と現代小児科学への応用	川島　希	小児科	1,300,000	補	日本学術振興会
運動ニューロン疾患における神経回路障害の分子メカニズムの解明	飯田　円	神経内科	1,950,000	補	日本学術振興会
ALS発症に関与する新たなシナプス蛋白質の病態機序解明研究	横井　聡	脳神経内科	1,950,000	補	日本学術振興会
ANCA関連血管炎の病態評価に寄与する臨床検査法開発研究	菊地　良介	検査部	1,170,000	補	日本学術振興会
心臓サルコイドーシスにおける18FDG-PETガイド下バイオマーカー解明研究	森本　竜太	循環器内科	1,430,000	補	日本学術振興会
フレイルおよびサルコペニア予防のための骨格筋リモデリングと再生機構解明	井上　愛子	老年内科	1,300,000	補	日本学術振興会
ウェアラブルデバイスを用いたパーキンソン病早期診断マーカーの検討	鈴木　将史	脳神経内科	1,690,000	補	日本学術振興会
Genotype-to-phenotypeによる精神障害の新たな病態解明	石塚　佳奈子	親と子どもの心療科	1,690,000	補	日本学術振興会
CCL2を抑制する間葉系幹細胞を用いた新生児慢性肺疾患に対する新規治療法の開発	鈴木　俊彦	小児科(総合周産期(新生児))	1,820,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
新生児慢性肺疾患に伴う神経学的障害の病態解明と細胞を用いた新規治療法開発	村松　友佳子	小児科	2,210,000	補	日本学術振興会
光を用いた肺がん征圧の試み：局所抗腫瘍免疫トリプルエンハンスメント	佐藤　和秀	呼吸器内科	1,560,000	補	日本学術振興会
老化関連長鎖ノンコーディングRNAの制御による肺線維症難治性の克服	阪本　考司	呼吸器内科	1,560,000	補	日本学術振興会
LKB1が不活化した肺癌における腫瘍進展のメカニズムの解明	田中　一大	呼吸器内科	1,690,000	補	日本学術振興会
自己炎症性角化症の多角的な病因解析	武市　拓也	皮膚科	1,950,000	補	日本学術振興会
プロトロンビン変異体による血友病治療の可能性	鈴木　伸明	輸血部（検査部）	1,300,000	補	日本学術振興会
新規急性リンパ性白血病におけるステロイド抵抗性機序の解明	奥野　友介	小児科	2,080,000	補	日本学術振興会
次世代シーケンスによる小児急性脳症の血液及び髄液エクソソームマイクロRNA解析	鳥居　ゆか	小児科	2,080,000	補	日本学術振興会
高脂肪食摂取による報酬系の炎症に着目した過食と肥満の機序解明	恒川　卓	糖尿病・内分泌内科	1,170,000	補	日本学術振興会
レプチンシグナルを介する新たなメカニズムを持つインスリン依存性糖尿病治療薬の開発	伊藤　禎浩	循環器・腎臓・糖尿病（CKD）先進医療	1,560,000	補	日本学術振興会
MELTFを標的とした胃癌の新規診断法および治療法の開発	澤木　康一	消化器外科学	520,000	補	日本学術振興会
肝細胞癌と発生母地に着目したゲノムワイドなcircRNA探索	高見　秀樹	消化器外科二	1,820,000	補	日本学術振興会
胃癌肝転移関連分子HOXC10のゲノム編集技術を応用した機能解析	宇野　泰朗	消化器外科二	1,820,000	補	日本学術振興会
M1マクロファージからM2マクロファージへの形質転換を介した大動脈瘤治療の試み	緒方　藍歌	心臓外科学（特任研究ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ）	1,430,000	補	日本学術振興会
クラリスロマイシンの多面的効果による、大動脈解離の分子病態是正を介した治療研究	内田　亘	心臓外科	1,430,000	補	日本学術振興会
鎮痛・抗炎症薬「コルヒチン」を用いた大動脈瘤治療の基礎的検討	宗像　寿祥	心臓外科（重症心不全治療ｾﾝﾀｰ）	1,430,000	補	日本学術振興会
海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻と下垂体ホルモンとの因果関係に関する研究	西堀　正洋	脳神経外科	650,000	補	日本学術振興会
ヒアルロン酸による腱由来間葉系幹細胞の分化制御の解明と腱変性予防への応用	浅井　秀司	先端医療開発部（整形外科）	1,560,000	補	日本学術振興会
3D積層プリント技術と整復シミュレーションの融合による上肢骨折個別化治療の実現	米田　英正	手の外科	1,040,000	補	日本学術振興会
健診システムを利用した疾患特異的cohort作成による手指変形性関節症の病態解明	中川　泰伸	手の外科（救急診療等運営本部）	1,300,000	補	日本学術振興会
術後麻痺予防に向けた術中脊髄モニタリング波形解析と新規アラームポイントの策定	小林　和克	整形外科	1,430,000	補	日本学術振興会
ヒアルロン酸合成酵素の遺伝子導入による新たな変形性膝関節の治療にむけて	石塚　真哉	整形外科（救急診療等運営本部）	2,210,000	補	日本学術振興会
RUNX2を活性化するランソプラゾールに着目した新規骨再生製剤開発の基盤研究	岡部　由香	先端医療開発部	2,080,000	補	日本学術振興会
軟骨細胞における代謝リプログラミングのメカニズムと役割の解明	寺部　健哉	整形外科（救急診療等運営本部）	1,690,000	補	日本学術振興会
新規標的蛋白LAMP-2による絨毛癌転移機構の解明	西野　公博	産科婦人科	1,560,000	補	日本学術振興会
ヒト生体内分子状水素濃度が妊娠に与える影響に関する研究	今井　健史	産科婦人科	1,300,000	補	日本学術振興会
卵胞発育におけるFSHR発現制御機構の解明	中村　智子	産科婦人科	1,950,000	補	日本学術振興会
分子状水素の母獣投与による早産児の後遺症低減への取り組み	中野　知子	産科婦人科	1,300,000	補	日本学術振興会
小児網膜疾患における網膜形態異常に対する多角的解析	野々部　典枝	眼科（総合周産期母子医療センター）	1,170,000	補	日本学術振興会
加齢黄斑変性における病的新生血管の成熟と血管安定化の病態の統合的解析	片岡　恵子	眼科	1,170,000	補	日本学術振興会
マクロファージ由来のエクソソームを用いた末梢神経再生研究	内堀　貴文	形成外科	1,430,000	補	日本学術振興会
CD109含有Exosomeの口腔扁平上皮癌マーカーへの応用	坂倉　寛紀	顎顔面外科学	780,000	補	日本学術振興会
半導体レーザーを用いた新たな癌治療法開発とアブスコパル効果の検討	山口　聡	歯科口腔外科	2,340,000	補	日本学術振興会
精神疾患に関わる環境要因による脳内機能形態変化のメカニズムと意義の解明	肥田　裕丈	薬剤部	3,120,000	補	日本学術振興会
非結核性抗酸菌に対する等温増幅法を用いたクラリスロマイシン耐性遺伝子検出法の開発	稲垣　孝行	薬剤部	2,210,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
細胞外マトリックス制御による悪性末梢神経鞘腫瘍に対する新規治療	生田　国大	整形外科	1,430,000	補	日本学術振興会
乳癌におけるYAP1の機能解明と、「YAP1阻害」による新たな治療法の開発	柴田　雅央	乳腺・内分泌外科	2,210,000	補	日本学術振興会
肺癌バイオマーカーの多項目分析のためのマイクロ免疫診断チップ開発	與語　直之	呼吸器内科（救急診療等運営本部）	2,730,000	補	日本学術振興会
乳がん術後薬物療法の治療意思決定に関わるプロセス	高野　悠子	化学療法部	780,000	補	日本学術振興会
cfDNAを用いた大腸癌特異的メチル化マーカーによる大腸癌存在診断法の開発	清水　大	消化器外科二	3,120,000	補	日本学術振興会
日本人高齢がん患者の治療方針決定における価値観についての研究	松岡　歩	化学療法部	1,560,000	補	日本学術振興会
凝固波形解析による血中フィブリノゲン解析を応用した新規出血リスク評価法の開発	鈴木　敦夫	検査部	1,820,000	補	日本学術振興会
安静時MRIの脳内神経回路解析を用いたパーキンソン病の認知症発症リスクの解明	川畑　和也	脳神経内科	2,210,000	補	日本学術振興会
臨床情報・ゲノム情報を活用した統合失調症神経ネットワーク形成障害の神経病理解析	鳥居　洋太	精神科	1,430,000	補	日本学術振興会
球脊髄性筋萎縮症におけるイオンチャネルを標的とした病態解明と革新的治療法の開発	山田　晋一郎	脳神経内科	1,950,000	補	日本学術振興会
重度の低体重を示す神経性やせ症患者における二次性カルニチン欠乏の検討	今枝　美穂	精神科（化学療法部）	3,640,000	補	日本学術振興会
口腔領域の身体症状症（疼痛が主症状）における治療反応性予測因子を同定する	徳倉　達也	精神科	910,000	補	日本学術振興会
生体肝移植における過小グラフト症候群と門脈壁剪断応力：4DFlowとCFD解析	兵藤　良太	放射線科	2,600,000	補	日本学術振興会
周産期脳障害の早期診断と根本治療の実現に向けた初期病変の検出とその包括的理解	小野田　淳人	総合周産期母子医療センター(新生児)	1,430,000	補	日本学術振興会
血管透過性亢進抑制に着目した新生児案性肺疾患に対する新規治療法の開発	三浦　良介	総合周産期母子医療センター(新生児)	1,170,000	補	日本学術振興会
安静時脳機能MRIを用いたけいれん重積型（二相性）急性脳症の診断と病態解明研究	中田　智彦	小児科	520,000	補	日本学術振興会
新生児壊死性腸炎に対する腸管再生を目指した新規治療法の開発	兵藤　玲奈	総合周産期母子医療センター(新生児)	1,300,000	補	日本学術振興会
家族性先天性心疾患家系における全エクソーム解析による原因遺伝子の探索	山本　英範	小児科	1,560,000	補	日本学術振興会
膵癌間質の多様性制御に基づく新規治療法の開発	水谷　泰之	消化器内科（救急診療等運営本部）	2,470,000	補	日本学術振興会
歯髄幹細胞産生因子による腸肝臓器相関に着目した新規NASH治療法の開発	伊藤　隆徳	消化器内科	1,560,000	補	日本学術振興会
PARD6Bを介した新たな防御機構の解明と炎症性腸疾患への治療応用	前田　啓子	消化器内科（光学医療診療部）	1,820,000	補	日本学術振興会
難治性心臓病を標的とした新規リンパ管新生療法の開発研究	清水　優樹	循環器内科	1,690,000	補	日本学術振興会
酸素応答と核内受容体を介した生後心筋分化のメカニズムの解明	藤川　裕介	循環器内科（卒キャリ）	1,820,000	補	日本学術振興会
新しいヒス束ペースメーカの長期予後と刺激伝導系の解明を目指した多施設共同研究	柳澤　哲	循環器内科学（先進循環器寄附講座）	1,560,000	補	日本学術振興会
動脈硬化進展に伴う大動脈瘤発症のメカニズム並びに効果的な内科治療戦略の探索	田中　哲人	循環器内科	1,950,000	補	日本学術振興会
心筋疾患におけるマイオカインの病態生理学的意義解明と治療応用のための基盤研究	奥村　貴裕	循環器内科（重症心不全治療センター）	2,470,000	補	日本学術振興会
びまん性肺疾患の診断と予後予測における機械学習アルゴリズム構築に関する研究	古川　大記	メディカルITセンター	2,990,000	補	日本学術振興会
脂肪由来間葉系幹細胞の遺伝子解析を利用した治療メカニズム解明と細胞治療法の改良	神村　豊	腎臓内科	2,080,000	補	日本学術振興会
アレルゲン特異的IgG4の経皮的感作、脱感作における機能解析	桃原　真理子	皮膚科	2,210,000	補	日本学術振興会
B細胞性腫瘍における解糖系亢進の新規機序の解明と治療標的としての有用性の検証	今橋　伸彦	血液内科	1,560,000	補	日本学術振興会
AgRPニューロンにおけるプロテインフォスファターゼ1Bの作用解析	杉山　摩利子	糖尿病・内分泌内科	2,340,000	補	日本学術振興会
ゲノム編集技術を応用した新規胃癌肝転移関連分子LAMP5の機能解析	筒山　将之	消化器外科二	2,730,000	補	日本学術振興会
膵癌治療標的になり得るaxon guidance geneの機能解明への試み	田中　伸孟	消化器外科二	2,730,000	補	日本学術振興会
新規創薬に向けたN6-メチルアデノシトシン修飾の肝細胞癌における意義の解明	園原　史訓	消化器外科二	2,210,000	補	日本学術振興会
膵癌進展を反映する尿中メチル化セルフリーDNAの臨床応用	砂川　祐輝	消化器外科二	2,080,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
開心術後癒着に対する心膜再生型癒着防止シートの開発	芦田 真一	心臓外科（重症心不全治療センター）	2,080,000	補	日本学術振興会
抗炎症性M2マクロファージ誘導による心筋梗塞後リモデリング進展抑制	西 俊彦	心臓外科	1,430,000	補	日本学術振興会
分子状水素水を用いた間質性肺炎に対する新たな治療法の開発	尾関 直樹	呼吸器外科	910,000	補	日本学術振興会
仮想胸腔鏡のみによる呼吸器外科手術の実現	中村 彰太	呼吸器外科	2,470,000	補	日本学術振興会
ミクログリア由来エクソソームによる神経障害性疼痛のメカニズム解明	加納 史也	歯科口腔外科	1,430,000	補	日本学術振興会
術後せん妄発症患者の神経伝達異常の解析−術後せん妄病態生理の解明に向けて−	前田 翔	麻酔科	1,690,000	補	日本学術振興会
AKI発症早期検知のための尿中酸素分圧リアルタイムモニタリングの研究	竹田 道宏	麻酔科	780,000	補	日本学術振興会
セボフルランと原がん遺伝子KRASの関わり	小西 裕子	麻酔・蘇生医学（周術期寄附講座）	1,820,000	補	日本学術振興会
アクティブエンハンサーを介した悪性脳腫瘍の治療抵抗性獲得機序のダイナミズム	平野 雅規	脳神経外科学	2,210,000	補	日本学術振興会
受容体型チロシンキナーゼALKの神経軸索再生に対する機序解明	町野 正明	整形外科	1,300,000	補	日本学術振興会
変形性関節症の新しい治療 ーOAモデルのCD44断片化とADAM10に注目してー	鈴木 望人	整形外科	1,170,000	補	日本学術振興会
進行性骨化線維異形成症に対する新規薬物治療の開発 −Drug Xに注目して−	草野 大樹	整形外科	1,040,000	補	日本学術振興会
新たな治療薬の開発に向けた膀胱癌の分子機構の解明と膀胱内注入療法への応用	井上 聡	泌尿器科	1,820,000	補	日本学術振興会
妊娠高血圧腎症妊婦から出生した児におけるDOHaD仮説の検証と早期介入への戦略	牛田 貴文	産科婦人科	1,300,000	補	日本学術振興会
卵胞発育を自在に制御し卵巣組織培養と卵巣保護に応用する研究	邨瀬 智彦	産科婦人科	1,170,000	補	日本学術振興会
p53変異卵巣癌の細胞外小胞を介した腹膜播種進展の病態解明と新規治療戦略	芳川 修久	産科婦人科	1,560,000	補	日本学術振興会
320列ADCTを用いた下咽頭癌術後嚥下機能障害の解析	丸尾 貴志	耳鼻いんこう科	1,820,000	補	日本学術振興会
糖尿病網膜症に対する網膜イメージングと網膜電図による病態解析	小南 太郎	眼科	1,170,000	補	日本学術振興会
低酸素環境で刺激された幹細胞由来エクソソームを用いた新たな骨再生	坂口 晃平	歯科口腔外科	1,430,000	補	日本学術振興会
幹細胞由来エクソソームによる新規唾液腺組織再生法の開発	酒井 陽	顎顔面外科学	2,210,000	補	日本学術振興会
医師の服装が患者の受け取る共感に及ぼす効果に関する量的・質的研究	松久 貴晴	総合診療科	1,430,000	補	日本学術振興会
塩分過剰摂取が高脂肪食による肥満症発症を助長する機序の解明	高木 博史	糖尿病・内分泌内科	2,340,000	補	日本学術振興会
メガネ型ウェアラブル端末を用いた気管支鏡検査支援	岡地 祥太郎	呼吸器内科	1,560,000	補	日本学術振興会
焦点調節画像を用いた新規大腸腫瘍診断の解析と治療への応用	山村 健史	消化器内科（光学医療診療部）	2,340,000	補	日本学術振興会
ホウ素中性子捕捉療法における中性子ビームの患者個別最適化に関する研究	加茂前 健	放射線科	1,300,000	補	日本学術振興会
運動療法を併用した慢性疲労症候群の集学的治療法の確立	佐藤 元紀	総合診療科	520,000	補	日本学術振興会
Ph+ALLにおけるBCR遺伝子切断点の意義	西脇 聡史	先端医療開発部	1,430,000	補	日本学術振興会
胎児発育不全に対する新規細胞療法の開発	伊藤 美春	小児科学（総合周産期（新生児））	910,000	補	日本学術振興会
母親の精神的健康と児の発達や行動の関係、及びこれらに影響する心理社会的要因の検討	森川 真子	精神医学（障害児（者）寄附講座）	650,000	補	日本学術振興会
3Dプリンタによる腹部内臓動脈瘤の血管モデル開発～最適な塞栓術を目指して～	駒田 智大	放射線科	910,000	補	日本学術振興会
神経膠腫に対する術中迅速遺伝子診断技術の確立と、分子標的薬の前臨床的開発	青木 恒介	脳神経外科学	1,300,000	補	日本学術振興会
胎児環境によるエピジェネティック変化を標的としたPCOS新規治療法の開発	大須賀 智子	産科婦人科	1,300,000	補	日本学術振興会
がん微小環境の免疫因子解明に基づく難治性絨毛癌の新規治療戦略	新美 薫	産科婦人科	1,040,000	補	日本学術振興会
糖尿病モデルマウスを用いた糖尿病性聴覚障害、前庭機能障害の横断的検討	杉本 賢文	耳鼻いんこう科	780,000	補	日本学術振興会
大腿骨頭形成による大腿骨頭壊死への新規治療法の開発	大澤 郁介	整形外科	1,430,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ヒトiPS細胞とオプトジェネティクスによる運動機能再建と横隔膜ペーシングへの応用	佐伯 将臣	手の外科	1,430,000	補	日本学術振興会
難治性腹膜播種の完全除去を目指す大気圧プラズマを応用した革新的腹腔内治療の開発	池田 芳紀	産婦人科学	1,430,000	補	日本学術振興会
新たな高伸張性・生分解性ポリマーを用いた軟部組織再建用医療材料の開発	村山 敦彦	リハビリテーション科	1,430,000	補	日本学術振興会
免疫チェックポイント分子に注目した劇症型心筋炎治療法の開発	平岩 宏章	救急科	520,000	補	日本学術振興会
難治性卵巣癌の微小環境が誘導する抗癌剤ホルミシスとその克服へ向けての新展開	玉内 学志	産科婦人科	1,430,000	補	日本学術振興会
好中球エラスターゼを標的とした再発難治性急性白血病の病態解明と新規治療開発	川島 直実	血液内科	1,430,000	補	日本学術振興会
iPS細胞由来免疫制御細胞を用いた、難治性腎疾患に対する新規治療法の開発	田中 章仁	腎臓内科	1,430,000	補	日本学術振興会
GPR34を介する疼痛発症メカニズムの多様性の解明	佐世 暁	歯科口腔外科	1,430,000	補	日本学術振興会
ビタミンDの供給経路による運動機能への影響の検討ー地域住民コホート研究ー	牧田 和也	整形外科	1,430,000	補	日本学術振興会
悪性脳腫瘍のエピゲノム異常が誘導するネオアンチゲンを標的とした新規治療戦略の開発	夏目 敦至	脳神経外科学(脳神経先端医療学)	5,330,000	補	日本学術振興会
On the Job Training回避のための小児内視鏡手術前訓練の研究	内田 広夫	小児外科学	6,110,000	補	日本学術振興会
AI遠隔医療プラットホームを活用した小児外科医療資源最適化への挑戦	城田 千代栄	小児外科	4,420,000	補	日本学術振興会
社会的刺激への反射的応答に着目した自閉スペクトラム症の生物学的病態解明	岡田 俊	親と子どもの心療科	650,000	補	日本学術振興会
DDS型光吸収超分子を用いた光温熱治療による難治性小児肺がん治療	牧田 智	小児外科	2,210,000	補	日本学術振興会
腸管の免疫細胞応答における腹腔鏡手術の低侵襲性の評価	大島 一夫	小児外科	455,000	補	日本学術振興会
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	有馬 寛	糖尿病・内分泌内科学	8,320,000	補	厚生労働省
医療機関における最新の院内感染対策及び発生時対応のための研究	八木 哲也	臨床感染統御学	3,600,000	補	厚生労働省
希少癌診療ガイドラインの作成を通した医療提供体制の質向上	小寺 泰弘	消化器外科学	14,820,000	補	厚生労働省
多中心性細網組織球症の疫学および治療法に関する調査研究	西田 佳弘	整形外科	1,495,000	補	厚生労働省
我が国の至適なチャイルド・デス・レビュー制度を確立するための研究	沼口 敦	救急・内科系集中治療部	20,000,000	補	厚生労働省
高齢者の血栓性疾患、血液疾患におけるサルコペニアの実態に関する研究	安藤 雄一	化学療法部	400,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
視機能/加齢性疾患が高齢者の身体機能に与える影響および予防・治療法の開発に関する研究	寺崎 浩子	眼科学	400,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
近赤外光線免疫療法の作用機序の解明	佐藤 和秀	呼吸器内科	390,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
高齢者化学療法未施行IIIB/IV期扁平上皮肺がんに対するnab-Paclitaxel + Carboplatin併用療法とDocetaxel単剤療法のランダム化第III相試験	森瀬 昌宏	呼吸器内科	436,000	委	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
山本小班 インターグループ試験 特発性肺線維症合併進行非小細胞肺癌に対するカルボプラチン＋nab-パクリタキセル＋ニンテダニブ療法とカルボプラチン＋nab-パク	阪本 考司	呼吸器内科	110,000	委	特定非営利活動法人 西日本がん研究機構
細胞外微粒子による疾患の発症メカニズムと治療法の開発	橋本 直純	呼吸器内科学	10,400,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
再発骨肉腫を標的にした最初(first-in -class)の抗体薬物複合体開発	榎本 篤	腫瘍病理学	6,500,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
アジアにおける心房細動患者の脳卒中予防に関する臨床調査	室原 豊明	循環器内科学	420,000	委	アジア太平洋不整脈学会 日本支部
高齢者の認知機能低下に対する、心機能への修飾を介した、新規の予防法と治療法の開発(高齢者に普遍的に合併する左室拡張障害が脳循環へ与える影響に着目して)	因田 恭也	循環器内科学	800,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
細胞外微粒子への生体応答と発がん・動脈硬化症との関連の解析(豊國:分担)	室原 豊明	循環器内科学	9,750,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
症候性先天性サイトメガロウイルス感染児を対象としたバルガンシクロビル塩酸塩ドライシロップの有効性および安全性を評価する多施設共同非盲検単群試験	伊藤 嘉規	小児科学	4,200,000	委	国立大学法人東京大学
SPP-004のミトコンドリア病を対象とした多施設共同長期投与試験	夏目 淳	小児科学(障害児(者)寄附講座)	1,200,000	委	埼玉医科大学病院
心臓血管外科学分野に関する学術研究動向-新規術式による治療戦略の変遷と臨床成績の推移-	碓氷 章彦	心臓外科学	1,560,000	委	独立行政法人日本学術振興会
病理モデル開発と解析	石垣 診祐	新学術領域	5,200,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
パーキンソン病発症前から発症後に連続する神経回路病態の解明とトランスレータブル指標の開発	中村 友彦	神経内科(検査部)	321,100	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ゾニサミドによるレビー小体型認知症におけるBPSD軽減効果の検証	勝野　雅央	神経内科	700,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
レビー小体病におけるpreclinical/prodromal期を含めた自然歴・病態解明とレジストリ構築	勝野　雅央	神経内科	2,250,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
高齢者の運動器疾患と固有感覚受容との関連および固有感覚受容低下に対する治療法の開発	関　泰輔	整形外科	1,000,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
骨格筋量と脊柱バランスの縦断的評価－脊椎変性疾患の自然経過と治療に及ぼす影響－	伊藤　定之	整形外科	1,000,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
高齢者の運動器疾患と固有感覚受容との関連および固有感覚受容低下に対する治療法の開発	今釜　史郎	整形外科	1,000,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
「感動」を創造する芸術と科学技術による共感覚イノベーション拠点	杉下　明隆	先端医療開発部	4,000,100	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
多施設共同研究におけるがん患者に対する適切なQOL評価法確立のための研究	安藤　昌彦	先端医療開発部	800,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
フレイル高齢者における下部尿路機能障害に対するガイドラインの作成に関する研究	葛谷　雅文	地域在宅医療学・老年科	1,000,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
高齢者の認知機能低下に配慮した至適血圧域の解明：老年期にある健常者と軽度認知機能低下患者を対象とした、認知機能保持ないしその改善を最終目的とした、適切な血圧管理法に関する研究	梅垣　宏行	地域在宅医療学・老年科学	1,000,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
JBCRG-M06「HER2陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法を比較検討する第Ⅲ相臨床研究」	菊森　豊根	乳腺・内分泌外科	55,000	委	一般社団法人JBCRG
硬膜動静脈瘻に対するPHIL液体塞栓システム（PH-112）を用いた塞栓術の安全性及び有効性を評価する多施設共同単一群試験	泉　孝嗣	脳神経外科	250,000	委	地方独立行政法人神戸市民病院機構
脳動静脈奇形に対するPHIL液体塞栓システム（PH-112）を用いた摘出前塞栓術に関する安全性及び有効性を評価する多施設共同単一群試験	泉　孝嗣	脳神経外科	250,000	委	地方独立行政法人神戸市民病院機構
高齢者における排尿障害とフレイル・サルコペニアとの関係についての研究	松川　宜久	泌尿器科	500,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
フレイル高齢者における下部尿路機能障害に対するガイドラインの作成に関する研究	後藤　百万	泌尿器科	1,000,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
上皮系皮膚悪性腫瘍に対する抗PD-1抗体療法の医師主導による多施設共同第Ⅱ相臨床試験	横田　憲二	皮膚科	331,500	委	学校法人慶應義塾
進行性悪性黒色腫患者を対象としたGEN0101の皮内投与と，ペムブロリズマブ（抗PD-1抗体）の静脈内投与の併用療法の安全性及び有効性評価のための多施設共同医師主導治験（第Ib/II相）	横田　憲二	皮膚科	803,400	委	国立大学法人大阪大学
高齢者の血栓性疾患、血液疾患におけるサルコペニアの実態に関する研究	松下　正	輸血部	500,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
高齢者における新興・再興感染症、インフルエンザ等に関する研究	八木　哲也	臨床感染統御学	900,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
「一過性骨髄異常増殖症(TAM)に対する化学療法および白血病発症予防法の確立を目指した第2相臨床試験」の開発	村松　秀城	小児科	18,499,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
1）臨床研究実施、2）Unfit populationに対する臨床研究の基盤整備	長谷　哲成	呼吸器内科	1,521,390	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
DKD、CKD・腎硬化症バイオバンク構築	丸山　彰一	腎臓内科学	2,999,750	委	学校法人川崎学園　川崎医科大学
Epstein-Barrウイルス感染がん治療薬の開発	奥野　友介	小児科(530　ゲノム医療センター)	10,010,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
FGFR3シグナル抑制による軟骨無形成症治療薬の開発	松下　雅樹	整形外科（障害児（者）寄附講座）	75,881,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
FROM-J長期観察研究担当、地区医師会との連絡調整	丸山　彰一	腎臓内科学	195,000	委	国立大学法人筑波大学
G-CSF前処置法の開発	寺倉　精太郎	血液内科	1,560,000	委	国立大学法人　東京大学
IgG4自己抗体陽性の慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）患者を対象としたリツキシマブの有効性と安全性評価に関する多施設共同臨床試験	飯島　正博	神経内科学	48,641,400	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
IL-36受容体拮抗因子欠損症としての膿疱性乾癬の患者レジストリ構築	秋山　真志	皮膚科学	6,175,000	委	学校法人藤田学園
IoT活用による糖尿病重症化予防法の開発を目指した研究（臨床研究フィールド）	有馬　寛	糖尿病・内分泌内科	5,971,947	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
MECP2遺伝子変異に起因する脳発達障害における分子シグナル病態の解明と新規診断・治療法の基盤開発	辻村　啓太	精神医学	10,400,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
QOLデータの収集と解析	安藤　昌彦	先端医療開発部	3,900,000	委	学校法人　慶應義塾
QOLデータの収集と解析	安藤　昌彦	先端医療開発部	390,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
RET肺がんに対するアレクチニブの医師主導治験ALL-RETの治療完遂	森瀬　昌宏	呼吸器内科	650,000	委	国立大学法人金沢大学
ROS1融合遺伝子変異陽性の進行固形がん患者を対象とした、プリガチニブの多施設共同バスケット試験（医師主導治験）。遺伝子スクリーニング、コンパニオン診断薬の開発および臨床ゲノムデータベースの構築。	森瀬　昌宏	呼吸器内科	650,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
Schizophrenia: from “wastebasket disease” towards next-generation therapy	有岡　祐子	先端医療開発部	3,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
TFRと遺伝子異常の関係についての解析	清井　仁	血液・腫瘍内科学	1,300,000	委	学校法人　近畿大学

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
高齢肺がん患者に対する機能評価表を用いた多施設共同臨床研究	安藤　雄一	化学療法部	650,000	委	国立大学法人島根大学
胆道閉鎖症の最適な葛西手術に関する研究	内田　広夫	小児外科学	780,000	委	国立大学法人東北大学
治験の実施	熱田　直樹	脳神経内科	2,250,000	委	国立大学法人徳島大学
データの品質管理と保証体制の構築	鍬塚　八千代	先端医療開発部	195,000	委	一般社団法人日本造血細胞移植データセンター
データ管理、EDC構築、データセンター業務、プロトコル策定支援	木下　文恵	先端医療開発部	390,000	委	国立大学法人東京大学
データ駆動型脳画像解析と候補フェノタイプの数理学的検証	山本　真江里	精神科	6,500,000	委	国立大学法人東京大学
ネガティブ試験等の結果を用いた効率的な試験デザイン等の検討に関する研究	清水　忍	先端医療開発部	260,000	委	国立大学法人岐阜大学
ネフローゼ症候群の新規診断法の確立	丸山　彰一	腎臓内科学	21,320,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
バイオマーカーを用いた川崎病急性期治療法選択に関する研究	加藤　太一	小児科学	260,000	委	学校法人日本医科大学
ヒト多能性幹細胞を用いた下垂体機能低下症に対する再生医療の技術開発	須賀　英隆	糖尿病・内分泌内科学	49,400,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ヒルシュスプルング病類縁疾患診療ガイドライン改定を目指したエビデンス創出研究	内田　広夫	小児外科学	325,000	委	国立大学法人九州大学
薬事対応	天野　学	先端医療開発部	78,000	委	国立大学法人富山大学
レジストリの構築（第3層：カタログ情報）	尾崎　紀夫	精神医学	3,380,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
レビー型認知症患者を中心とした非アルツハイマー型認知症登録を目指した基盤整備に関する研究	勝野　雅央	神経内科学	1,000,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
レビー小体病に対する先制臨床試験のコンセプト策定	勝野　雅央	神経内科学	13,650,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
レビー小体病の早期予防治療を実現するためのバイオマーカー・治療標的の同定	勝野　雅央	神経内科学	9,450,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
愛知県での対象疾患頻度の検討・FRET法を用いたTREC/KREC定量の精度・感度・基準値等の検討	村松　秀城	小児科	650,000	委	国立大学法人東京医科歯科大学
胃癌に対する新たなモノクローナル抗体医薬の創製	神田　光郎	消化器外科学	10,500,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医学的視点によるプログラム開発の検討	尾上　剛史	糖尿病・内分泌内科	62,400	委	公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団健康科学総合センター
医学的助言（認知症）、プロトコル策定支援、エビデンスレビュー	勝野　雅央	神経内科学	1,040,000	委	国立大学法人東京大学
医師主導治験、付随研究の実施	森瀬　昌宏	呼吸器内科	260,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
医師主導治験の実施、遺伝子スクリーニング	森瀬　昌宏	呼吸器内科	650,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
医師主導多施設Phase IIa治験の準備・分担実施・統括	岡田　俊	親と子どもの心療科	1,105,000	委	国立大学法人浜松医科大学
医薬品が自動車運転技能に与える影響の評価手法の開発	岩本　邦弘	精神医学	10,010,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医療機器等に関連する医療事故・ヒヤリハット事例における再発事例の調査と類型化に関する研究	長尾　能雅	医療の質・安全管理部	634,400	委	国立大学法人九州大学
運動学習に着目した新規脳機能評価法を活用したエビデンス創出	勝野　雅央	神経内科学	500,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
運動機能関連解析・高齢者糖尿病患者の登録・介入・評価	梅垣　宏行	地域在宅医療学・老年科学	1,000,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
遠位型ミオパチーにおける承認申請に向けたアセノイラミン酸の長期投与試験	勝野　雅央	神経内科学	650,000	委	国立大学法人　東北大学
拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録研究	室原　豊明	循環器内科学	260,000	委	国立大学法人九州大学
患者のQOL向上をめざした胃がんに対する低侵襲標準治療確立に関する多施設共同試験	安藤　昌彦	先端医療開発部	1,300,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
肝移植後グレカプレビル＋ピブレンタスビル治療	小倉　靖弘	移植外科	200,000	委	学校法人福岡学園　福岡歯科大学
間葉系幹細胞を利用する新しいGVHD予防法の開発と次世代シークエンサーによる遺伝子情報に基づく新しいドナー選択法の開発に関する研究	村田　誠	血液・腫瘍内科学	5,070,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
希少未診断疾患に対する診断プログラム提供のための東海地区拠点病院の体制整備に関する研究	髙橋　義行	小児科学	5,200,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
機能獲得変異の病態機能解析	松下　正	輸血部	1,300,000	委	国立研究開発法人　国立循環器病研究センター
急性骨髄性白血病におけるPDXモデルで意義づけられた分子層別化システムの確立と臨床的実効性と有用性の検証	清井　仁	血液・腫瘍内科学	27,080,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
球脊髄性筋萎縮症の神経筋システム変性を標的とした革新的治療法開発	勝野　雅央	神経内科学	28,990,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
球脊髄性筋萎縮症の適正治療に関するエビデンス構築のための臨床研究	勝野　雅央	神経内科学	12,740,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
胸椎後縦靱帯骨化症患者レジストリの構築	今釜　史郎	整形外科学	1,040,000	委	国立大学法人東京医科歯科大学
局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する臨床第III相試験	神田　光郎	消化器外科学	1,300,000	委	静岡県立静岡がんセンター
抗てんかん薬ゾニサミドの神経根症に対する治療効果の研究	今釜　史郎	整形外科学	3,624,400	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
抗悪性腫瘍薬の臨床評価ガイドラインに関する研究	安藤　雄一	化学療法部	200,000	委	国立大学法人神戸大学
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	西田　佳弘	整形外科(148 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科)	299,000	委	国立大学法人岡山大学
高齢者(75歳以上)非小細胞肺がん患者に対する免疫チェックポイント阻害剤の有効性と安全性の検討	安藤　雄一	化学療法部	650,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
骨髄系腫瘍における難治性クローンへの進展・選択過程に生じる分子病態の解明	清井　仁	血液・腫瘍内科学	13,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法の評価と臨床展開	土屋　周平	歯科口腔外科	43,149,999	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
産学共同活用ニーズを踏まえた筋萎縮性側策硬化症レジストリの改修及び活用に関する研究	祖父江　元	神経内科学(特任プロ・新学術領域)	48,400,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
脂質による体表面バリア形成の分子機構の解明	秋山　真志	皮膚科学	9,750,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
持続可能なビッグデータ運用体制の構築と眼科AIシステムの社会実装	寺﨑　浩子	眼科学	65,000	委	国立大学法人筑波大学
次世代シークエンサーによる網羅的がん関連遺伝子パネル解析を用いたHER2遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究	森瀬　昌宏	呼吸器内科	2,340,000	委	国立大学法人九州大学
治験の実施に関する研究[WT1ペプチドワクチン]	髙橋　義行	小児科学	400,000	委	公益社団法人日本医師会　治験促進センター
治験の実施に関する研究[ザルトプロフェン]	西田　佳弘	整形外科	499,512	委	公益社団法人日本医師会　治験促進センター
治験の実施に関する研究[ペランパネル]	勝野　雅央	神経内科学	978,400	委	公益社団法人日本医師会　治験促進センター
耳鼻咽喉科領域のデータ収集と解析	曾根　三千彦	耳鼻咽喉科学	399,880	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
自家骨採取量の削減を可能にする生体吸収性アドヒーシブゲルの臨床応用	日比　英晴	顎顔面外科学	3,692,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
自閉スペクトラム症に対する新規オキシトシン製剤の有効性・安全性の検討とオキシトシン反応性を予測する診断法開発	岡田　俊	親と子どもの心療科	11,700,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
疾患モデル高度化による視床下部・下垂体難病研究	須賀　英隆	糖尿病・内分泌内科学	28,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
小児ウイルス性肝炎の病態の解明	伊藤　嘉規	小児科学	310,000	委	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立急性期・総合医療センター
小児急性リンパ性白血病に対する非ウイルスベクターを用いたキメラ抗原受容体T細胞療法の実用化	髙橋　義行	小児科学	100,100,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
症候性先天性サイトメガロウイルス感染症児を対象としたバルガンシクロビルの有効性及び安全性を評価する第III相多施設共同単群オープンラベル医師主導治験	伊藤　嘉規	小児科学	1,560,000	委	国立大学法人東京大学
植込型補助人工心臓装着後の出血性合併症予知法および予防法の確立に関する研究	碓氷　章彦	心臓外科学	208,000	委	国立大学法人東北大学
心筋症における心筋病理細胞核評価による臨床病態層別化指標の開発	室原　豊明	循環器内科学	650,000	委	国立大学法人大阪大学
心不全の発症・重症化の高精度予測とそれに基づく最適な治療戦略の開発	奥村　貴裕	循環器内科(重症心不全治療センター)	130,000	委	国立大学法人九州大学
新規精神・発達障害治療薬の探索	辻村　啓太	精神医学	20,183,753	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
新興RNAウイルス感染におけるHDAC6およびUSP7の機能解析	三宅　康之	先端領域支援部門	3,409,770	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
新生児生体信号の非侵襲モニタリング	佐藤　義朗	小児科(総合周産期(新生児))	7,150,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
神経内科・老年内科・精神科領域のデータ収集と解析	梅垣　宏行	地域在宅医療学・老年科学	400,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
診療に直結するエビデンス創出研究	祖父江　元	神経内科学(特任プロ・新学術領域)	5,720,000	委	学校法人藤田学園
進行性骨化性線維異形成症に対する新規治療薬の開発	三島　健一	整形外科	5,850,000	委	国立大学法人京都大学
進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	西田　佳弘	整形外科	1,300,000	委	国立大学法人大分大学
進行肺癌の血漿遊離DNAを利用したマルチ遺伝子解析法に基づく個別化医療の確立を目指した研究	森瀬　昌宏	呼吸器内科	650,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
精神科トランスレーショナルリサーチの推進に向けた臨床研究システムの開発	尾崎　紀夫	精神医学	3,900,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
精神疾患横断的な血漿を用いたバイオマーカー開発	尾崎　紀夫	精神医学	1,100,000	委	国立大学法人九州大学
精神障害のゲノム変異を起点としたバイオリソースと臨床情報の活用による非競争的フェーズにおける産学連携創薬の基盤構築	尾崎　紀夫	精神医学	19,500,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
脊髄性筋萎縮症の成人期予後把握を目的とした多施設共同コホート研究	勝野　雅央	神経内科学	6,500,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
先天性横隔膜ヘルニアにおける最適な人工換気法・手術時期・手術方法に関する研究	早川　昌弘	小児科（総合周産期（新生児））	390,000	委	国立大学法人大阪大学
前頭側頭型認知症の分子標的治療薬・バイオマーカー開発によるdisease-modifyingtherapyへの展開	祖父江　元	神経内科学（特任プロ・新学術領域）	56,600,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
前臨床期を含めた認知症レジストリシステム構築における倫理支援体制の構築	飯島　祥彦	臨床倫理推進室	500,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
早産児核黄疸の予防ガイドラインの作成	早川　昌弘	小児科（総合周産期（新生児））	728,000	委	愛知医科大学
体細胞復帰変異によるモザイク健常皮膚由来の培養表皮シートを用いた表皮融解性魚鱗癬の治療法開発	秋山　真志	皮膚科学	38,500,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
大規模疾患レジストリとiPS細胞技術を活用した筋萎縮性側索硬化症に対する新規治療薬開発	祖父江　元	神経内科学（特任プロ・新学術領域）	27,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
大規模臨床、ゲノム、不死化細胞リソースを基盤としたオミックス解析による孤発性ALS治療法開発研究	祖父江　元	神経内科学（特任プロ・新学術領域）	65,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
第II相試験の実施	勝野　雅央	神経内科学	1,160,650	委	国立大学法人東京大学
超高齢者社会における治癒困難な高齢切除不能進行再発大腸癌患者に対する標準治療確立のための研究	安藤　昌彦	先端医療開発部	1,300,000	委	埼玉医科大学
低酸素性虚血性脳症に対する自己臍帯血幹細胞治療に関する研究	早川　昌弘	小児科（総合周産期（新生児））	1,541,729	委	公立大学法人大阪
適切な医療を目指した軽度認知障害等の患者の情報登録及び連携に関する研究	祖父江　元	神経内科学（特任プロ・新学術領域）	1,000,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
適切な医療を目指した軽度認知障害等の患者の情報登録及び連携に関する研究	葛谷　雅文	地域在宅医療学・老年科学	1,500,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
転移性ハイリスク神経芽腫に対するKIRリガンド不一致同種臍帯血移植によるがん免疫療法の標準化を目的とした多施設前向き臨床研究	髙橋　義行	小児科学	19,500,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
統合失調症と自閉スペクトラム症のゲノム解析結果を活かした診断法・治療法開発	尾崎　紀夫	精神医学	90,700,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
動物モデル、患者サンプルの提供と解析	勝野　雅央	神経内科学	1,300,000	委	愛知医科大学
特発性肺線維症合併進行非小細胞肺癌に対する標準治療開発に関する研究	安藤　昌彦	先端医療開発部	1,300,000	委	国立大学法人九州大学
難治性肉腫に対するワクチン併用TCR遺伝子改変T細胞輸注療法の多施設共同医師主導治験（治験プロトコルと治験届、治験の実施）	西田　佳弘	整形外科	1,499,999	委	国立大学法人三重大学
乳児アトピー性皮膚炎への早期介入と経口免疫寛容誘導によるアレルギーマーチへの影響を探索する前向きコホート研究	秋山　真志	皮膚科学	1,300,000	委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
妊産婦前向きコホート研究の成果を用いた要介入群の同定法と支援策の開発	尾崎　紀夫	精神医学	78,800,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
認知症予防を目指した多因子介入(ハイリスクアプローチ)	葛谷　雅文	地域在宅医療学・老年科学	5,200,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
認知症予防を目指した多因子介入によるランダム化比較研究（統計解析計画作成、解析実施）	木下　文恵	先端医療開発部	2,080,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
標準リポジトリ導入・インターフェース開発・電子パス改修	白鳥　義宗	メディカルITセンター	390,000	委	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院
評価法の整備、評価の実施及びデータ解析	岡田　俊	親と子どもの心療科	1,170,000	委	国立大学法人東京大学
病的バリアントデータの収集作業	村松　秀城	小児科	650,000	委	学校法人　慶應義塾
腹膜播種に特化した新たな胃癌分子標的医薬の探索	神田　光郎	消化器外科学	15,048,880	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
母子感染によるリスク評価や予防法を含む母子保健体制構築と技術開発研究	伊藤　嘉規	小児科学	1,352,000	委	国立大学法人東京大学
慢性血栓塞栓性肺高血圧症に関する多施設共同レジストリ研究	近藤　隆久	循環器内科学（肺高血圧寄附講座）	546,000	委	国立大学法人九州大学
名古屋地区の精神神経疾患拠点の構築	入谷　修司	精神医学（精神医療学寄附講座）	2,550,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
網膜疾患に関するデータ収集・解析案の作成	寺崎　浩子	眼科学	195,000	委	国立大学法人筑波大学
乱用防止に資する医薬品の開発のための製剤学的アプローチに関する研究	山田　清文	薬剤部	10,010,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
両心室ペーシング付きテイラーメイド心臓サポートネットシステム開発	秋田　利明	心臓外科学	23,196,480	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
臨床試験におけるQOL評価とその推進およびCOL解析	安藤 昌彦	先端医療開発部	1,300,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
臨床試験の実施・立案	島田 和之	血液内科	1,040,000	委	国立大学法人三重大学
臨床情報・ゲノム情報の集積と検証による、診療に直結するエビデンス創出	曾根 三千彦	耳鼻咽喉科学	650,000	委	独立行政法人国立病院機構東京医療センター
嚥下造影検査による舌骨・喉頭挙上訓練法の評価	藤本 保志	耳鼻咽喉科学	260,000	委	国立大学法人東北大学
自立可能な好循環型先端医療開発拠点の創成を目指した研究	小寺 泰弘	医学部附属病院	163,043,219	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
臨床研究中核病院機能を安定的に発揮できる拠点づくり	小寺 泰弘	医学部附属病院	208,175,000	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

計 494件

（注） 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、〇印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Ota A, Morita S, Matsuoka A, 他	化学療法部	Detection of bacteria in blood circulation in patients receiving cancer chemotherapy.	Int J Clin Oncol. 2020 Jan;25(1):210-215.	Original Article
2	Maeda O, Matsuoka A, Furukawa K, 他	化学療法部	Alterations in gene expression and DNA methylation profiles in gastric cancer cells obtained from ascitic fluids collected before and after chemotherapy.	Mol Clin Oncol. 2019 Jul;11(1):91-98.	Original Article
3	Maeda O, Ando Y.	化学療法部	Recent progress of chemotherapy and biomarkers for gastroesophageal cancer.	World J Gastrointest Oncol. 2019 Jul 15;11(7):518-526.	Review
4	Kobayashi T, Tsushita K, Nomura E, 他	糖尿病・内分泌内科	Automated Feedback Messages With Shichifukujin Characters Using IoT System-Improved Glycemic Control in People With Diabetes: A Prospective, Multicenter Randomized Controlled Trial	J Diabetes Sci Technol. 2019 Jul;13(4):796-798.	Original Article

5	Kano M, Suga H, Ishihara T, Sakakibara M, 他	糖尿病・内分泌内科	Tanycyte-like cells derived from mouse embryonic stem culture show hypothalamic neural stem/progenitor cell functions	Endocrinology. 2019 Jul 1;160(7):1701-1718.	Original Article
6	Arima H, Iwama S, Inaba H, 他	糖尿病・内分泌内科	Management of immune-related adverse events in endocrine organs induced by immune checkpoint inhibitors: clinical guidelines of the Japan Endocrine Society	Endocr J. 2019 Jul 28;66(7):581-586.	Others
7	Mitsumoto K, Suga H, Sakakibara M, 他	糖尿病・内分泌内科	Improved methods for the differentiation of hypothalamic vasopressin neurons using mouse induced pluripotent stem cells	Stem Cell Res. 2019 Oct;40:101572.	Original Article
8	Tsunekawa T, Banno R, Yaginuma H, 他	糖尿病・内分泌内科	GABAB Receptor Signaling in the Mesolimbic System Suppresses Binge-like Consumption of a High-Fat Diet	iScience. 2019 Oct 25;20:337-347.	Original Article
9	Kasai T, Suga H, Sakakibara M,他	糖尿病・内分泌内科	Hypothalamic Contribution to Pituitary Functions Is Recapitulated In Vitro Using 3D-Cultured Human iPS Cells	Cell Rep. 2020 Jan 7;30(1):18-24.e5.	Original Article

10	Kawakubo M, Tanaka M, Ochi K, 他	糖尿病・内分泌内科	Dipeptidyl peptidase-4 inhibition prevents nonalcoholic steatohepatitis-associated liver fibrosis and tumor development in mice independently of its anti-diabetic effects	Sci Rep. 2020 Jan 22;10(1):983.	Original Article
11	Okada N, Iwama S, Okuji T, 他	糖尿病・内分泌内科	Anti-thyroid antibodies and thyroid echo pattern at baseline as risk factors for thyroid dysfunction induced by anti-programmed cell death-1 antibodies: a prospective study	Br J Cancer. 2020 Mar;122(6):771-777.	Original Article
12	Isobe Y, Sato K, Nishinaga Y, 他	呼吸器内科	Near infrared photoimmunotherapy targeting DLL3for small cell lung cancer	EBioMedicine. 2020 Feb;52:102632.	Original Article
13	Fujishiro H, Kimura H, Nakamura T, 他	精神科・親と子どもの心療科	Hypochondriasis in the elderly and Lewy body disease	Psychogeriatrics. 2019 Sep; 19,5: p516-518.	Original Article
14	Fujishiro H,Okuda M, Iwamoto K,他	精神科・親と子どもの心療科	Clinical profiles of late-onset psychiatric patients exhibiting incidental REM sleep without atonia	J Neural Transm (Vienna). 2019 Aug; 126,8: p1095-1104.	Original Article

15	Hayakawa N, Tanaka S, Hirata N, 他	精神科・親と子どもの心療科	A battery of self-screening instruments and self-reported body frame could not detect eating disorders among college students	BMC Res Notes. 2019 Sep; 12,1: p613.	Original Article
16	Hirano M, Iritani S, Fujishiro H, 他	精神科・親と子どもの心療科	Clinicopathological differences between the motor onset and psychiatric onset of Huntington's disease, focusing on the nucleus accumbens	Neuropathology. 2019 Oct; 39,5: p331-341.	Original Article
17	Kawakubo H, Matsui Y, Kushima I, 他	精神科・親と子どもの心療科	A network of networks approach for modeling interconnected brain tissue-specific networks	Bioinformatics. 2019 Sep; 35,17: p3092-3101.	Original Article
18	Kubota C, Inada T, Shiino T, 他	精神科・親と子どもの心療科	Relation Between Perinatal Depressive Symptoms, Harm Avoidance, and a History of Major Depressive Disorder: A Cohort Study of Pregnant Women in Japan	Front Psychiatry. 2019 Jul; 10: p515.	Original Article
19	Miyauchi T, Tokura T, Kimura H, 他	精神科・親と子どもの心療科	Effect of antidepressant treatment on plasma levels of neuroinflammation-associated molecules in patients with somatic symptom disorder with predominant pain around the orofacial region	Hum Psychopharmacol. 2019 May; pe2698.	Original Article

20	Nakamura Y, Nakatochi M, Kunimoto S, 他	精神科・親と子どもの心療科	Methylation analysis for postpartum depression: a case control study	BMC Psychiatry. 2019 Jun; 19,1: p190.	Original Article
21	Sato N, Kimura H, Adachi Y,他	精神科・親と子どもの心療科	Exploration of coping styles in male patients with head and neck cancer: a prospective cohort study	Nagoya J Med Sci. 2019 May; 81,2: p249-258.	Original Article
22	Shishido E, Ogawa S, Miyata S, 他	精神科・親と子どもの心療科	Application of eye trackers for understanding mental disorders: Cases for schizophrenia and autism spectrum disorder	Neuropsychopharmacol Rep. 2019 Jun; 39,2: p72-77.	Review
23	Arioka Y, Hirata A, Kushima I, 他	精神科・親と子どもの心療科	Characterization of a schizophrenia patient with a rare RELN deletion by combining genomic and patient-derived cell analyses	Schizophr Res.2020 Feb;216:511-515.	Original Article
24	Ito Y, Maesawa S, Bagarinao E, 他	精神科・親と子どもの心療科	Subsecond EEG-fMRI analysis for presurgical evaluation in focal epilepsy	J Neurosurg.2020 Mar;1-10.	Original Article

25	Iwata M, Iwamoto K, Kambe D, 他	精神科・親と子どもの心療科	Development and validation of a driving simulator for evaluating the residual effects of drugs on driving performance - sensitivity analysis using zopiclone as a positive control: Study Protocol Clinical Trial (SPIRIT Compliant)	Medicine (Baltimore).2020 Mar;99(12):e19395.	Original Article
26	Shizuku M, Kamei H, Kimura H, 他	精神科・親と子どもの心療科	Clinical Features and Long-Term Outcomes of Living Donors of Liver Transplantation Who Developed Psychiatric Disorders	Ann Transplant.2020 Jan;25:e918500	Original Article
27	Yu Y, Chaulagain A, Pedersen S. A.,他	精神科・親と子どもの心療科	Pharmacotherapy of restricted/repetitive behavior in autism spectrum disorder:a systematic review and meta-analysis	BMC Psychiatry.2020 Mar;20(1):121.	Original Article
28	Inoue T, Ito S, Kanda M, 他	リハビリテーション部	Preoperative six-minute walk distance as a predictor of postoperative complication in patients with esophageal cancer.	Dis Esophagus. 2020 Mar 5;33(2):doz050.	Original Article
29	Tanaka S, Kamiya K, Hamazaki N, 他	リハビリテーション部	Short-Term Change in Gait Speed and Clinical Outcomes in Older Patients With Acute Heart Failure	Circ J. 2019 Aug 23;83(9):1860-1867.	Original Article

30	Nakajima H, Nishikimi M, Shimizu M, 他	リハビリテーション部	Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation	Crit Care Explor. 2019 Dec 6;1(12):e0066.	Original Article
31	Hu L, Huang Z, Ishii H,他	老年内科	PLF-1 (Proliferin-1) Modulates Smooth Muscle Cell Proliferation and Development of Experimental Intimal Hyperplasia.	J Am Heart Assoc. 2019 Dec 17;8(24):e005886.	Original Article
32	Xu W, Yu C, Piao L,他	老年内科	Cathepsin S-Mediated Negative Regulation of Wnt5a/SC35 Activation Contributes to Ischemia-Induced Neovascularization in Aged Mice.	Circ J. 2019 Nov 25;83(12):2537-2546.	Original Article
33	Wang H, Meng X, Piao L, 他	老年内科	Cathepsin S Deficiency Mitigated Chronic Stress-Related Neointimal Hyperplasia in Mice.	J Am Heart Assoc. 2019 Jul 16;8(14):e011994.	Original Article
34	Banno H, Akita N, Fujii T,他	血管外科	Proximal Bare Stent May Reduce Bird-Beak Configuration, Which Is Associated With Distal Migration of Stent Graft in the Aortic Arch.	Ann Vasc Surg.2019 Apr;56:108-113	Original Article

35	Kodama A, Takahashi N, Sugimoto M, 他	血管外科	Associations of Nutritional Status and Muscle Size With Mortality After Open Aortic Aneurysm Repair	J Vasc Surg.2019 Nov;70(5):1585-1593	Original Article
36	Kawai Y, Narita Y, Yamawaki-Ogata A,他	血管外科	Montelukast, a Cysteinyl Leukotriene Receptor 1 Antagonist, Induces M2 Macrophage Polarization and Inhibits Murine Aortic Aneurysm Formation	Biomed Res Int. 2019 May 27;2019:9104680.	Original Article
37	Sugimoto M, Takahashi N, Niimi K, 他	血管外科	Effect of Intraoperative Division of the Left Renal Vein on the Fate of Renal Function and Left Renal Volume After Open Repair of Para-And Juxtarenal Aortic Aneurysm	Circ J.2019 Aug 23;83(9):1844-1850	Original Article
38	Banno H, Ikeda S, Kawai Y, 他	血管外科	Suprarenal fixation is associated with worse midterm renal function after endovascular abdominal aortic aneurysm repair compared with infrarenal fixation.	J Vasc Surg. 2020 Feb;71(2):450-456.	Original Article
39	Sassa N, Iwata H, Kato M, 他	泌尿器科	Diagnostic Utility of UroVysion Combined With Conventional Urinary Cytology for Urothelial Carcinoma of the Upper Urinary Tract.	Am J Clin Pathol. 2019 Apr 2;151(5):469-478.	Original Article

40	Kato M, Hirakawa A, Kobayashi Y, 他	泌尿器科	The influence of the presence of intraductal carcinoma of the prostate on the grade group system's prognostic performance.	Prostate. 2019 Jul;79(10):1065-1070.	Original Article
41	Matsukawa Y, Majima T, Takai S, 他	泌尿器科	What are factors contributing to improvement of overactive bladder symptoms after alpha-1 blocker treatment in patients with both storage and voiding symptoms?	Urol Int. 2019;103(4):439-443.	Original Article
42	Sakakibara A, Kohno K, Iwakoshi A, 他	病理部	Diagnostic Utility of Programmed Cell Death Ligand 1 (Clone SP142) in Mediastinal Composite Lymphoma: A Report of Two Cases	Pathol Int . 2020 Feb;70(2):116-122.	Case Report
43	Miura M, Ushida T, Imai K, 他	産婦人科	Adverse effects of endometriosis on pregnancy: a case-control study	BMC Pregnancy Childbirth. 2019 Oct 22;19(1):373.	Original Article
44	Tamauchi S, Kajiyama H, Moriyama Y, 他	産婦人科	Relationship between preexisting mental disorders and prognosis of gynecologic cancers: A case-control study	J Obstet Gynaecol Res. 2019 Oct;45(10):2082-2087.	Original Article

45	Yoshida K, Yoshikawa N, Shirakawa A, 他	産婦人科	Prognostic value of neutrophil-to-lymphocyte ratio in early-stage ovarian clear-cell carcinoma	J Gynecol Oncol. 2019 Nov;30(6):e85.	Original Article
46	Yoshihara M, Kajiyama H, Tamauchi S, 他	産婦人科	Prognostic factors and effects of fertility-sparing surgery in women of reproductive age with ovarian clear-cell carcinoma: a propensity score analysis	J Gynecol Oncol. 2019 Nov;30(6):e102.	Original Article
47	Kajiyama H, Suzuki S, Yoshikawa N, 他	産婦人科	Fertility-sparing surgery and oncologic outcome among patients with early-stage ovarian cancer ~propensity score-matched analysis~	BMC Cancer. 2019 Dec 19;19(1):1235.	Original Article
48	Shimizu Y, Kajiyama H, Yoshida K, 他	産婦人科	The usefulness of bevacizumab for relief from symptomatic malignant ascites in patients with heavily treated recurrent ovarian cancer	J Obstet Gynaecol Res. 2019 Dec;45(12):2435-2439.	Original Article
49	Yoshida K, Yokoi A, Kagawa T, 他	産婦人科	Unique miRNA profiling of squamous cell carcinoma arising from ovarian mature teratoma: comprehensive miRNA sequence analysis of its molecular background	Carcinogenesis. 2019 Dec 31;40(12):1435-1444.	Original Article

50	Shimbo A, Kajiyama H, Tamauchi S, 他	産婦人科	Expression of connective tissue growth factor as a prognostic indicator and its possible involvement in the aggressive properties of epithelial ovarian carcinoma	Oncol Rep. 2019 Dec;42(6):2323-2332.	Original Article
51	Moriyama Y, Imai K, Nakano T,他	産婦人科	Somatic symptom disorder manifested as acute abdominal pain during pregnancy preceding perinatal depression: a case report	Arch Womens Ment Health. 2019 Apr;22(2):301-304.	Case Report
52	Yoshida K, Kajiyama H, Yoshihara M, 他	産婦人科	Does postoperative prophylactic irradiation of para-aortic lymph nodes reduce the risk of recurrence in uterine cervical cancer with positive pelvic lymph nodes?	Int J Clin Oncol. 2019 May;24(5):567-574.	Original Article
53	Kajiyama H, Suzuki S, Utsumi F, 他	産婦人科	Epidemiological overview of metastatic ovarian carcinoma: long-term experience of TOTSG database	Nagoya J Med Sci. 2019 May;81(2):193-198.	Original Article
54	Kajiyama H, Suzuki S, Yoshikawa N, 他	産婦人科	Oncologic outcomes after secondary surgery in recurrent clear-cell carcinoma of the ovary	Int J Gynecol Cancer. 2019 Jun;29(5):910-915.	Original Article

55	Nguyen XP, Nakamura T, Osuka S, 他	産婦人科	Effect of the neuropeptide phoenixin and its receptor GPR173 during folliculogenesis	Reproduction. 2019 Jul;158(1):25-34.	Original Article
56	Kajiyama H, Suzuki S, Niimi K, 他	産婦人科	Oncologic and reproductive outcomes of cystectomy as a fertility-sparing treatment for early-stage epithelial ovarian cancer	Int J Clin Oncol. 2019 Jul;24(7):857-862.	Original Article
57	Kajiyama H, Yoshihara M, Tamauchi S, 他	産婦人科	Fertility-Sparing surgery for young women with ovarian endometrioid carcinoma: a multicenteric comparative study using inverse probability of treatment weighting	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol X. 2019 Jun 12;4:100071.	Original Article
58	Imai K, Kotani T, Nakano T,他	産婦人科	Maternal protein S activity is associated with massive hemorrhage during caesarean section: retrospective case-control study	J Matern Fetal Neonatal Med. 2019 Aug;32(16):2633-2637.	Original Article
59	Kajiyama H, Suzuki S, Utsumi F, 他	産婦人科	Comparison of long-term oncologic outcomes between metastatic ovarian carcinoma originating from gastrointestinal organs and advanced mucinous ovarian carcinoma	Int J Clin Oncol. 2019 Aug;24(8):950-956.	Original Article

60	Imai K, Kotani T, Ushida T, 他	産婦人科	Feasibility of using a handheld tissue hardness meter to quantify uterine contractions and its clinical application for obstetric bleeding management	J Obstet Gynaecol. 2019 Aug;39(6):757-762.	Original Article
61	Kajiyama H, Suzuki S, Yoshikawa N, 他	産婦人科	Long-term oncologic outcome and its prognostic indicators in reproductive-age women with ovarian clear-cell carcinoma	Arch Gynecol Obstet. 2019 Sep;300(3):717-724.	Original Article
62	Yoshikawa N, Liu W, Nakamura K, 他	産婦人科	Plasma-activated medium promotes autophagic cell death along with alteration of the mTOR pathway	Sci Rep. 2020 Jan 31;10(1):1614.	Original Article
63	Ganieva U, Nakamura T, Osuka S,他	産婦人科	Involvement of Transcription Factor 21 in the Pathogenesis of Fibrosis in Endometriosis	Am J Pathol. 2020 Jan;190(1):145-157.	Original Article
64	Hanatani M, Yoshikawa N, Yoshida K, 他	産婦人科	Impact of age on clinicopathological features and survival of epithelial ovarian neoplasms in reproductive age	Int J Clin Oncol. 2020 Jan;25(1):187-194.	Original Article

65	Yoshida K, Kajiyama H, Inami E,他	産婦人科	Clinical Significance of Ubiquitin-associated Protein 2-like in Patients With Uterine Cervical Cancer	In Vivo. 2020 Jan-Feb;34(1):109-116.	Original Article
66	Yoshihara M, Kajiyama H, Tamauchi S, 他	産婦人科	Prognostic impact of pelvic and para-aortic lymphadenectomy on clinically-apparent stage I primary mucinous epithelial ovarian carcinoma: a multi-institutional study with propensity score-weighted analysis	Jpn J Clin Oncol. 2020 Feb 17;50(2):145-151.	Original Article
67	Yasui H, Kajiyama H, Tamauchi S, 他	産婦人科	CCL2 secreted from cancer-associated mesothelial cells promotes peritoneal metastasis of ovarian cancer cells through the P38-MAPK pathway	Clin Exp Metastasis. 2020 Feb;37(1):145-158.	Original Article
68	Yoshida K, Kajiyama H, Yoshihara M, 他	産婦人科	The role of additional hysterectomy after concurrent chemoradiation for patients with locally advanced cervical cancer	Int J Clin Oncol. 2020 Feb;25(2):384-390.	Original Article
69	Imai K, Kotani T, Tsuda H, 他	産婦人科	Determination of the cytokine levels in fetal pleural effusion and their association with fetal/neonatal findings	Cytokine. 2020 Mar;127:154945.	Original Article

70	Osuka S, Nakanishi N, Murase T, 他	産婦人科	Animal models of polycystic ovary syndrome: A review of hormone-induced rodent models focused on hypothalamus-pituitary-ovary axis and neuropeptides.	Reprod Med Biol. 2019 Apr; 18(2): 151-160.	Review
71	Kajiyama H, Yoshihara M, Tamauchi S, 他	産婦人科	Is standard radical surgery necessary for elderly patients with early-stage epithelial ovarian carcinoma? ~Propensity score matched analysis~	Jpn J Clin Oncol. 2019 Dec 15; 50(4): 411-418	Original Article
72	Sayo A, Konishi H, Kobayashi M, 他	歯科口腔外科	GPR34 in spinal microglia exacerbates neuropathic pain in mice	Journal of Neuroinflammation. 2019 Apr 11;16(1):82.	Original Article
73	Sato K, Shi L, Ito F, 他	歯科口腔外科	Non-thermal plasma specifically kills oral squamous cell carcinoma cells in a catalytic Fe(II)-dependent manner	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition. 2019 Jul;65(1):8-15.	Original Article
74	Sato K, Hayashi Y, Watanabe K, 他	歯科口腔外科	Concurrent chemoradiotherapy with intravenous cisplatin and docetaxel for advanced oral cancer	Nagoya Journal of Medical Science. 2019 Aug;81(3):407-411.	Original Article

75	Urata Y, Takeuchi H	歯科口腔外科	Effects of Notch glycosylation on health and diseases	Development, Growth & Differentiation. 2020 Jan;62(1):35-48.	Review
76	Okabe K, Kaneko R, Kawai T, 他	歯科口腔外科	Oral self-injury associated with septicaemia in a case of Cornelia de Lange syndrome	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Patholoby. 2020 Mar;32(2):136-139.	Case Report
77	Yoshida R, Tanaka A, Yoshioka N, 他	循環器内科	Heparin 'flush' induced thrombocytopenia triggered by total hip replacement: a case report	Eur Heart J Case Rep. 2020 Feb 27;4(2):1-5.	Case Report
78	Mitsuda T, Uemura Y, Ishii H, 他	循環器内科	Prognostic impact of lipoprotein(a) levels during lipid management with statins after ST-elevation acute myocardial infarction	Coron Artery Dis. 2019 Dec;30(8):600-607.	Original Article
79	Yoshioka N, Takagi K, Morishima I, 他	循環器内科	Influence of Preadmission Frailty on Short- and Mid-Term Prognoses in Octogenarians With ST-Elevation Myocardial Infarction	Circ J. 2019 Dec 25;84(1):109-118.	Original Article

80	Yoshida R, Ishii H, Morishima I, 他	循環器内科	Impact of adjunctive use of guide extension catheter on midterm outcome of drug-coated balloon angioplasty	EuroIntervention. 2019 Oct 20;15(8):688-691.	Original Article
81	Yoshida R, Ishii H, Morishima I, 他	循環器内科	Early versus delayed invasive strategy in patients with non-ST-elevation acute coronary syndrome and concomitant congestive heart failure	J Cardiol. 2019 Oct;74(4):320-327.	Original Article
82	Yoshida R, Ishii H, Morishima I, 他	循環器内科	Impact of Postdischarge Bleeding on Long-Term Mortality in Percutaneous Coronary Intervention Patients Taking Oral Anticoagulants	J Cardiovasc Pharmacol. 2019 Sep;74(3):210-217.	Original Article
83	Yoshida R, Takagi K, Ishii H,他	循環器内科	Myocardial salvage after ST-segment-elevation myocardial infarction: comparison between prasugrel and clopidogrel in the presence or absence of high-residual platelet reactivity	J Nucl Cardiol. 2019 Aug 19.	Original Article
84	Tanaka A, Jabbour RJ, Colombo A.	循環器内科	What are the remaining lessons to be learnt from 1st-generation bioresorbable scaffolds?	Int J Cardiol. 2019 Oct 15;293:103-104.	Letter

85	Tanaka A, Jabbour RJ, Testa L, 他	循環器内科	Incidence, Technical Safety, and Feasibility of Coronary Angiography and Intervention Following Self-expanding Transcatheter Aortic Valve Replacement	Cardiovasc Revasc Med. 2019 May;20(5):371-375.	Original Article
86	Yoshida R, Ishii H, Morishima I, 他	循環器内科	Performance of HAS-BLED, ORBIT, PRECISE-DAPT, and PARIS risk score for predicting long-term bleeding events in patients taking an oral anticoagulant undergoing percutaneous coronary intervention	J Cardiol. 2019 Jun;73(6):479-487.	Original Article
87	Yoshida R, Ishii H, Morishima I, 他	循環器内科	Impact of Nutritional and Inflammation Status on Long-Term Bleeding in Patients Undergoing Percutaneous Coronary Intervention with an Oral Anticoagulant	J Atheroscler Thromb. 2019 Aug 1;26(8):728-737.	Original Article
88	Tanaka A, Giustino G, Briede I, 他	循環器内科	New-generation drug-eluting stents for left main coronary artery disease according to the EXCEL trial enrollment criteria: Insights from the all-comers, international, multicenter DELTA-2 registry	Int J Cardiol. 2019 Apr 1;280:30-37.	Original Article
89	Aoki T, Tanaka A, Tokuda Y, 他	循環器内科	Temporary immobile leaflet following transcatheter aortic valve replacement of a SAPIEN-XT valve	Cardiovasc Interv Ther. 2019 Jul;34(3):277-278.	Case Report

90	Hara A, Kobayashi H, Asai1N, 他	循環器内科	Roles of the Mesenchymal Stromal/Stem Cell Marker Meflin in Cardiac Tissue Repair and the Development of Diastolic Dysfunction	Circ Res. 2019 Aug 2;125(4):414-430.	Original Article
91	Sugiura Y, Morimoto R, Aoki S, 他	循環器内科	Prognostic impact of mitral L-wave in patients with hypertrophic cardiomyopathy without risk factors for sudden cardiac death	Heart Vessels. 2019 Dec;34(12):2002-2010.	Original Article
92	Yokoi T, Morimoto R, Oishi H,他	循環器内科	Left Ventricular Relaxation Half-Time as a Predictor of Cardiac Events in Idiopathic Dilated Cardiomyopathy and Hypertrophic Cardiomyopathy With Left Ventricular Systolic and/or Diastolic Dysfunction.	Am J Cardiol. 2019 Aug 1;124(3):435-441.	Original Article
93	Arao Y, Sawamura A, Nakatochi M, 他	循環器内科	Early Blood Pressure Reduction by Intravenous Vasodilators Is Associated With Acute Kidney Injury in Patients With Hypertensive Acute Decompensated Heart.	Circ J. 2019 Aug 23;83(9):1883-1890.	Original Article
94	Kondo T, Yamada S, Tanimura D, 他	循環器内科	Neuromuscular electrical stimulation is feasible in patients with acute heart failure.	ESC Heart Fail. 2019 Oct;6(5):975-982.	Original Article

95	Yamaguchi S, Sawamura A, Nakaguro M, 他	循環器内科	Giant cell myocarditis with central diabetes insipidus: A case report.	J Cardiol Cases. 2019 Sep 10;21(1):8-11.	Case Report
96	Okumura T, MuroharaT.	循環器内科	Unsolved Issue in Left Ventricular Noncompaction: Is the Strange Form of Myocardium Congenital or Acquired?	Cardiology. 2019;143(3-4):105-106.	Others
97	Okumura T, Kimura Y, MuroharaT.	循環器内科	Heart Rate Control Using Beta-Blockers for Heart Failure With Atrial Fibrillation: More Than Enough Is Too Much	Hypertens Res. 2019 Nov;42(11):1826-1827.	Others
98	Haga T, Okumura T, Isobe S, 他	循環器内科	Potential Prognostic Implications of Myocardial thallium-201 and iodine-123-beta-methylpentadecanoic Acid Dual Scintigraphy in Patients With Anderson-Fabry Disease	Ann Nucl Med. 2019 Dec;33(12):930-936.	Original Article
99	Okumura T, Murohara T.	循環器内科	Advantages and Emerging Problems of Novel Treatments for Transthyretin Cardiac Amyloidosis	Circ J. 2019 Dec 25;84(1):9-10.	Others

100	Yamaguchi S, Sawamura A, Okumura T, 他	循環器内科	Pulmonary Artery Pressure May Be a Predictor of Closed Aortic Valve in Patients Managed by Venoarterial Extracorporeal Membrane Oxygenation	Int J Artif Organs. 2020 Jan 31;391398820901841.	Original Article
101	Hiraiwa H, Okumura T, Shimizu S, 他	循環器内科	Pathological Changes of the Myocardium in Reworsening of Anthracycline-Induced Cardiomyopathy After Explant of a Left Ventricular Assist Device	Nagoya J Med Sci. 2020 Feb;82(1):129-134.	Case Report
102	Ogawa H, Ohashi K, Ito M,他	循環器内科	Adipolin/CTRP12 Protects Against Pathological Vascular Remodelling Through Suppression of Smooth Muscle Cell Growth and Macrophage Inflammatory Response	Cardiovascular Research. 2020 Jan 1;116(1):237-249.	Original Article
103	Shimizu Y, Nicholson CK, Polavarapu R, 他	循環器内科	Role of DJ-1 in Modulating Glycative Stress in Heart Failure	J Am Heart Assoc. 2020 Feb 18;9(4):e014691.	Original Article
104	Sakaguchi T, Takefuji M, Wettschureck N,他	循環器内科	Protein Kinase N Promotes Stress-Induced Cardiac Dysfunction Through Phosphorylation of Myocardin-Related Transcription Factor A and Disruption of Its Interaction With Actin	Circulation. 2019 Nov 19;140(21):1737-1752.	Original Article

105	Eguchi S, Takefuji M, Sakaguchi T, 他	循環器内科	Cardiomyocytes Capture Stem Cell-Derived, Anti-Apoptotic microRNA-214 via Clathrin-Mediated Endocytosis in Acute Myocardial Infarction	J Biol Chem. 2019 Aug 2;294(31):11665-11674.	Original Article
106	Murase Y, Inden Y, Imai H, 他	循環器内科	Clinical Significance of the Timing of Early Recurrence of Atrial Arrhythmia After Pulmonary Vein Isolation: A Two-Institution Clinical Study	Heart Vessels. 2019 May;34(5):842-850.	Original Article
107	Yanagisawa S, Inden Y, Shibata R, 他	循環器内科	His Bundle Pacing With Unusual Automaticity	J Cardiovasc Electrophysiol. 2019 Jun;30(6):966-968.	Case Report
108	Yanagisawa S, Inden Y, Murohara T.	循環器内科	Adjacent Multiple Accessory Pathways Demonstrated on Ultra-High-Resolution Mapping	Europace. 2019 May 1;21(5):723.	Case Report
109	Sakamoto Y, Inden Y, Okamoto H, 他	循環器内科	T-wave Changes of Cardiac Memory Caused by Frequent Premature Ventricular Contractions Originating From the Right Ventricular Outflow Tract	J Cardiovasc Electrophysiol. 2019 Sep;30(9):1549-1556.	Original Article

110	Yanagisawa S, Inden Y, Fujii A, 他	循環器内科	Identification of Precise Accessory Pathway Using Ultra-High-Resolution Three-Dimensional Mapping System: Utility and Feasibility in Preliminary Experience	J Interv Card Electrophysiol. 2019 Aug;55(2):241-242.	Case Report
111	Yanagisawa S, Inden Y, Okamoto H, 他	循環器内科	Electrocardiogram Characteristics of P Wave Associated With Successful Pulmonary Vein Isolation in Patients With Paroxysmal Atrial Fibrillation: Significance of Changes in P-wave Duration and Notched P Wave	Ann Noninvasive Electrocardiol. 2020 Mar;25(2):e12712.	Original Article
112	Yanagisawa S, Inden Y, Kato H,他	循環器内科	Study Design and Protocol for Evaluating the Long-Term Prognosis of Patients Receiving His Bundle Pacing: A Multicenter Observational Study	J Arrhythm. 2019 Aug 16;35(5):760-765.	Original Article
113	Yanagisawa S, Inden Y, Okamoto H, 他	循環器内科	Anatomical Assessment of Crosstalk Phenomenon During Laser Balloon Ablation With Imaging in a Patient With Unusual Atrial Hypertrophy	J Interv Card Electrophysiol. 2020 Jan;57(1):157-159.	Case Report
114	Yanagisawa S, Inden Y, Fujii A, 他	循環器内科	Prothrombotic Responses After Catheter Ablation for Atrial Fibrillation During Uninterrupted Oral Anticoagulant Agent Administration	JACC Clin Electrophysiol. 2019 Dec;5(12):1418-1427.	Original Article

115	Chen-Yoshikawa TF, Tanaka S, Yamada Y, 他	呼吸器外科	Intermediate outcomes of right-to-left inverted living-donor lobar lung transplantation.	Eur J Cardiothorac Surg 2019 Dec 1;56(6):1046-1053.	Original Article
116	Nakamura S, Hayashi Y, Kawaguchi K, 他	呼吸器外科	Clinical application of a surgical navigation system based on virtual thoracoscopy for lung cancer patients: real time visualization of area of lung cancer before induction therapy and optimal resection line for obtaining a safe surgical margin during surgery.	J Thorac Dis. 2020 Mar;12(3):672-679.	Original Article
117	Nakamura S, Mori K, Iwano S,他	呼吸器外科	Micro-computed tomography images of lung adenocarcinoma: detection of lepidic growth patterns	Nagoya J Med Sci. 2020 Feb;82(1):25-31.	Original Article
118	Hiramatsu T, Mizuno M, Suzuki Y,他	臨床工学技術部	Dietary salt restriction during conservative therapy may prevent declines in residual renal function for the first year after starting peritoneal dialysis in patients with end-stage renal diseases.	Integrative Food, Nutrition, and Metabolism.2020 Jan ,ISSN:2056-8339	Original Article
119	Tanaka C, Kanda M, Murotani K, 他	消化器外科二	Long-term quality of life and nutrition status of the aboral pouch reconstruction after total gastrectomy for gastric cancer: a prospective multicenter observational study (CCOG1505)	Gastric Cancer. 2019 May;22(3):607-616.	Original Article

120	Takano N, Yamada S, Hirakawa A, 他	消化器外科二	Phase II study of chemoradiotherapy combined with gemcitabine plus nab-paclitaxel for unresectable locally advanced pancreatic ductal adenocarcinoma (NUPAT 05 Trial): study protocol for a single arm phase II study	Nagoya Journal of Medical Science. 2019 May;81(2):233-239.	Original Article
121	Sonohara F, Yamada S, Takami H,他	消化器外科二	Novel implications of combined arterial resection for locally advanced pancreatic cancer in the era of newer chemo-regimens	European Journal of Surgical Oncology. 2019 Oct;45(10):1895-1900.	Original Article
122	Kobayashi D, Ishigami H, Kanda M,他	消化器外科二	Phase I Study of Intraperitoneal Administration of Paclitaxel Combined with S-1 Plus Cisplatin for Gastric Cancer with Peritoneal Metastasis	Oncology. 2020 Jan;98(1):48-52.	Original Article
123	Hattori N, Nakayama G, Uehara K, 他	消化器外科二	Phase II study of capecitabine plus oxaliplatin (CapOX) as adjuvant chemotherapy for locally advanced rectal cancer (CORONA II)	International Journal of Clinical Oncology. 2020 Jan;25(1):118-125.	Original Article
124	Kitagawa K, Nagai T, Yamada K	薬剤部	Pharmacological and Proteomic Analyses of Neonatal polyI:C-treated Adult Mice	Neurosci Res. 2019 Oct;147:39-47.	Original Article

125	Murakami Y, Sekijima H, Fujisawa Y, 他	薬剤部	Adjustment of Conditions for Combining Oxybutynin Transdermal Patch With Heparinoid Cream in Mice by Analyzing Blood Concentrations of Oxybutynin Hydrochloride	Biol Pharm Bull. 2019 Apr 1;42(4):586-593.	Original Article
126	Nagino M.	消化器外科一	Fifty-year History of Biliary Surgery	Ann Gastroenterol Surg. 2019 Sep 30;3(6):598-605.	Original Article
127	Ohiwa T, Ebata T, Mizuno T, 他	消化器外科一	Occult Synchronous Liver Metastasis From Perihilar Cholangiocarcinoma	Surgery. 2019 Sep;166(3):290-296.	Original Article
128	Kokuryo T, Yokoyama Y, Yamaguchi J, 他	消化器外科一	NEK2 Is an Effective Target for Cancer Therapy With Potential to Induce Regression of Multiple Human Malignancies	Anticancer Res. 2019 May;39(5):2251-2258.	Original Article
129	Yamashita H, Ebata T, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	Pleural Dissemination of Cholangiocarcinoma Caused by Percutaneous Transhepatic Biliary Drainage During the Management of Resectable Cholangiocarcinoma	Surgery. 2019 May;165(5):912-917.	Original Article

130	Suzuki T, Ebata T, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	Left Trisectionectomy Combined With Resection of the Right Hepatic Vein and Inferior Vena Cava After Right Hepatic Vein Embolization for Advanced Intrahepatic Cholangiocarcinoma	Surg Case Rep. 2019 Jun 18;5(1):98.	Original Article
131	Maeda T, Ebata T, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	A Case of Small in Situ Perihilar Cholangiocarcinoma Incidentally Accompanied by Benign Bile Duct Stricture After Open Cholecystectomy	Surg Case Rep. 2019 Nov 9;5(1):177.	Original Article
132	Asai S, Fukaya M, Miyata K, 他	消化器外科一	The Impact of Cervical Lymph Node Dissection on Acid and Duodenogastroesophageal Reflux After Intrathoracic Esophagogastrostomy Following Transthoracic Esophagectomy	Surg Today. 2019 Dec;49(12):1029-1034.	Original Article
133	Sunagawa M, Yokoyama Y, Yamaguchi J, 他	消化器外科一	Is Constant Negative Pressure for External Drainage of the Main Pancreatic Duct Useful in Preventing Pancreatic Fistula Following Pancreatoduodenectomy?	Pancreatology. 2019 Jun;19(4):602-607.	Original Article
134	Watanabe N, Ebata T, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	Postoperative Pancreatic Fistula in Surgery for Perihilar Cholangiocarcinoma	World J Surg. 2019 Dec;43(12):3094-3100.	Original Article

135	Takano N, Yamada S, Hirakawa A, 他	消化器外科二	Phase II Study of Chemoradiotherapy Combined With Gemcitabine Plus Nab-Paclitaxel for Unresectable Locally Advanced Pancreatic Ductal Adenocarcinoma (NUPAT 05 Trial): Study Protocol for a Single Arm Phase II Study	Nagoya J Med Sci. 2019 May;81(2):233-239.	Original Article
136	Sakatoku Y, Fukaya M, Kawaguchi K, 他	消化器外科一	Repeated Episodes of Thoracic Empyema After Spontaneous Esophageal Rupture	Nagoya J Med Sci. 2019 Nov;81(4):693-699.	Original Article
137	Toyoda Y, Ebata T, Mizuno T,他	消化器外科一	Cholangiographic Tumor Classification for Simple Patient Selection Prior to Hepatopancreatoduodenectomy for Cholangiocarcinoma	Ann Surg Oncol. 2019 Sep;26(9):2971-2979.	Original Article
138	Maeda T, Ebata T, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	Preoperative Course of Patients Undergoing Endoscopic Nasobiliary Drainage During the Management of Resectable Perihilar Cholangiocarcinoma	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2019 Aug;26(8):341-347.	Original Article
139	Akashi K, Yokoyama Y, Mizuno T,他	消化器外科一	Association Between Preoperative Muscle Mass and Intraoperative Bacterial Translocation in Patients Undergoing Hepatectomy, Pancreatoduodenectomy, and Esophagectomy	Ann Surg Oncol. 2019 Dec;26(13):4805-4813.	Original Article

140	Maeda T, Yokoyama Y, Ebata T,他	消化器外科一	Discrepancy Between Volume and Functional Recovery in Early Phase Liver Regeneration Following Extended Hepatectomy With Extrahepatic Bile Duct Resection	Hepatol Res. 2019 Oct;49(10):1227-1235.	Original Article
141	Mizuno T, Ebata T, Nagino M.	消化器外科一	Advanced Hilar Cholangiocarcinoma: An Aggressive Surgical Approach for the Treatment of Advanced Hilar Cholangiocarcinoma: Perioperative Management, Extended Procedures, and Multidisciplinary Approaches	Surg Oncol. 2020 Jun;33:201-206.	Original Article
142	Asai S, Fukaya M, Fujieda H, 他	消化器外科一	Esophageal Reconstruction Using a Pedicled Jejunum Following Esophagectomy for Metastatic Esophageal Stricture From Breast Cancer in a Patient With Previous Pancreatoduodenectomy	Nagoya J Med Sci. 2019 Nov;81(4):679-685.	Original Article
143	Ebata T, Mizuno T, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	Predictive Performance of Blumgart T Staging for Perihilar Cholangiocarcinoma in a Japanese Center	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2020 Mar;27(3):132-140.	Original Article
144	Minami T, Ebata T, Yokoyama Y, 他	消化器外科一	Study on the Segmentation of the Right Posterior Sector of the Liver	World J Surg. 2020 Mar;44(3):896-901.	Original Article

145	Ohno E, Hirooka Y, Kawashima H,他	消化器内科	Feasibility of EUS-guided Shear-Wave Measurement: A Preliminary Clinical Study	Endosc Ultrasound. 2019 May-Jun;8(3):215-216.	Letter
146	Kawashima H, Hashimoto S, Ohno E, 他	消化器内科	Comparison of 8- And 10-mm Diameter Fully Covered Self-Expandable Metal Stents: A Multicenter Prospective Study in Patients With Distal Malignant Biliary Obstruction	Dig Endosc. 2019 Jul;31(4):439-447.	Original Article
147	Ishikawa T, Hirooka Y, Kawashima H, 他	消化器内科	Mucinous Cystic Neoplasm of the Pancreas Assessed With a Real-Time Three-Dimensional Imaging Using a Transesophageal Echocardiography Probe	Clin J Gastroenterol. 2019 Oct;12(5):479-483.	Case Report
148	Ohno E, Hirooka Y, Kawashima H, 他	消化器内科	Feasibility and usefulness of endoscopic ultrasonography-guided shear-wave measurement for assessment of autoimmune pancreatitis activity: a prospective exploratory study.	J Med Ultrason (2001). 2019 Oct;46(4):425-433.	Original Article
149	Ishikawa T, Kawashima H, Ohno E, 他	消化器内科	Usefulness of Endoscopic Ultrasound Elastography Combined With the Strain Ratio in the Estimation of Treatment Effect in Autoimmune Pancreatitis	Pancreas. 2020 Feb;49(2):e21-e22.	Letter

150	Yamada K, Kawashima H, Ohno E, 他	消化器内科	Diagnosis of Vascular Invasion in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Using Endoscopic Ultrasound Elastography	BMC Gastroenterol. 2020 Mar 30;20(1):81.	Original Article
151	Suzuki H, Yamamura T, Fujishiro M	消化器内科	Endoscopic Detorsion Using Single-Balloon Endoscopy for Cecal Volvulus	Dig Endosc. 2020 Jan;32(1):149.	Case Report
152	Suzuki H, Yamamura T, Nakamura M, 他	消化器内科	An International Study on the Diagnostic Accuracy of the Japan Narrow-Band Imaging Expert Team Classification for Colorectal Polyps Observed With Blue Laser Imaging	Digestion. 2020;101(3):339-346.	Original Article
153	Murate K, Nakamura M, Fujishiro M.	消化器内科	A Case Where Administration of Ustekinumab Maintained the Intestinal Patency After Balloon Dilation for Small Intestinal Stenosis Caused by Crohn's Disease	Inflamm Bowel Dis. 2019 Oct 18;25(11):e140.	Letter
154	Ishikawa E, Nakamura M, Shimada K, 他	消化器内科	Prognostic Impact of PD-L1 Expression in Primary Gastric and Intestinal Diffuse Large B-cell Lymphoma	J Gastroenterol. 2020 Jan;55(1):39-50.	Original Article

155	Mizutani Y, Kobayashi H, Iida T, 他	消化器内科	Meflin-Positive Cancer-Associated Fibroblasts Inhibit Pancreatic Carcinogenesis.	Cancer Res. 2019 Oct 15;79(20):5367-5381.	Original Article
156	Yamamoto K, Kuzuya T, Honda T,他	消化器内科	Relationship Between Adverse Events and Microbiomes in Advanced Hepatocellular Carcinoma Patients Treated With Sorafenib	Anticancer Res . 2020 Feb;40(2):665-676.	Original Article
157	Yoshioka N, Ishigami M, Watanabe Y, 他	消化器内科	Effect of weight change and lifestyle modifications on the development or remission of nonalcoholic fatty liver disease: sex-specific analysis	Sci Rep . 2020 Jan 16;10(1):481.	Original Article
158	Ishizu Y, Ishigami M, Hayashi K, 他	消化器内科	Rapid increase of platelet counts during antiviral therapy in patients with hepatitis C virus infection	Hepatol Res. 2020 Jan;50(1):47-56.	Original Article
159	Ito T, Ishigami M, Ishizu Y, 他	消化器内科	Serum Nutritional Markers as Prognostic Factors for Hepatic and Extrahepatic Carcinogenesis in Japanese Patients with Nonalcoholic Fatty Liver Disease	Nutr Cancer. 2020;72(5):884-891.	Original Article

160	Yokoyama S, Ishigami M, Honda T,他	消化器内科	Spleen stiffness by 2-D shear wave elastography is the most accurate predictor of high-risk esophagogastric varices in children with biliary atresia	Hepatol Res. 2019 Oct;49(10):1162-1168.	Letter
161	Yoshioka N, Kuzuya T, Ito T,他	消化器内科	Successful Treatment of Hepatocellular Carcinoma with Regorafenib after Sorafenib-induced Hypersensitivity	Intern Med. 2019 Oct 1;58(19):2803-2808.	Case Report
162	Tanahashi K, Araki Y, Uda K, 他	脳神経外科	Posterior Cerebral Artery Reconstruction by In-Situ Bypass With Superior Cerebellar Artery via Occipital Transtentorial Approach	World Neurosurg. 2019 Jun;126:24-29.	Case Report
163	Aoki K, Natsume A.	脳神経外科	Overview of DNA Methylation in Adult Diffuse Gliomas	Brain Tumor Pathol. 2019 Apr;36(2):84-91.	Review
164	Motomura K, Chalise L, Ohka F,他	脳神経外科	Neurocognitive and Functional Outcomes in Patients With Diffuse Frontal Lower-Grade Gliomas Undergoing Intraoperative Awake Brain Mapping	J Neurosurg. 2019 May 17:1-9.	Original Article

165	Motomura K, Terasawa Y, Natsume A, 他	脳神経外科	Anterior Insular Cortex Stimulation and Its Effects on Emotion Recognition	Brain Struct Funct. 2019 Jul;224(6):2167-2181.	Original Article
166	Natsume A, Hirano M, Ranjit M, 他	脳神経外科	Aberrant Transcriptional Regulation of Super-enhancers by RET Finger Protein-histone Deacetylase 1 Complex in Glioblastoma: Chemoresistance to Temozolomide	Neurol Med Chir (Tokyo). 2019 Aug 15;59(8):293-298.	Review
167	Yamaguchi J, Motomura K, Ohka F, 他	脳神経外科	Spontaneous Tumor Regression of Intracranial Solitary Fibrous Tumor Originating From the Medulla Oblongata: A Case Report and Literature Review	World Neurosurg. 2019 Oct;130:400-404.	Case Report
168	Ohka F, Shinjo K, Deguchi S,他	脳神経外科	Pathogenic Epigenetic Consequences of Genetic Alterations in IDH-Wild-Type Diffuse Astrocytic Gliomas	Cancer Res. 2019 Oct 1;79(19):4814-4827.	Original Article
169	Tanahashi K, Uda K, Araki Y, 他	脳神経外科	Trautmann-focused Mastoidectomy for a Simple, Safe Presigmoid Approach: Technical Note	J Neurosurg. 2020 Mar 27:1-5.	Others

170	Naganawa S, Ito R, Kawai H, 他	耳鼻いんこう科	Confirmation of Age-dependence in the Leakage of Contrast Medium around the Cortical Veins into Cerebrospinal Fluid after Intravenous Administration of Gadolinium-based Contrast Agent	Magn Reson Med Sci. 2020 Feb 6.	Original Article
171	Akiyama M.	皮膚科	Autoinflammatory keratinization diseases (AiKDs): expansion of disorders to be included	Front Immunol 2020. Feb; 11: 280.	Others
172	Ando T, Iijima M, Fukami Y, 他	皮膚科	Vasculitic neuropathy with anti-phosphatidylserine/prothrombin complex antibody.	Muscle Nerve. 2019 Jun;59(6):E44-E46.	Case Report
173	Takeichi T, Akiyama M.	皮膚科	Familial or sporadic porokeratosis as an autoinflammatory keratinization disease.	J Dermatol. 2019 Apr;46(4):e125-e126.	Letter
174	Ogawa-Momohara M, Muro Y, Nakaguro M, 他	皮膚科	Acrodermatitis continua of Hallopeau with dense infiltration of IgG4-positive cells in the lesional dermis.	Br J Dermatol. 2019 Apr;180(4):941-942.	Case Report

175	Murase Y, Takeichi T, Akiyama M.	皮膚科	Aberrant CARD14 function might cause defective barrier formation.	J Allergy Clin Immunol. 2019 Apr;143(4):1656-1657.	Letter
176	Okochi S, Kono M, Takama H, 他	皮膚科	Unilateral case of multiple minute digitate hyperkeratosis.	J Dermatol. 2019 Jun;46(6):e210-e211.	Case Report
177	Ishiguro Y, Muro Y, Murase C, 他	皮膚科	Drug-induced acute eosinophilic pneumonia due to hydroxychloroquine in a chilblain lupus patient.	J Dermatol. 2019 Oct;46(10):e356-e357.	Case Report
178	Taki T, Takeichi T, Sugiura K, 他	皮膚科	Oculodentodigital Dysplasia Diagnosed from Severe Hypotrichosis.	Acta Derm Venereol. 2019 Dec 1;99(13):1307-1308.	Case Report
179	Murase Y, Takeichi T, Matsumoto T, 他	皮膚科	A juvenile male case of dermatofibrosarcoma protuberans on the breast.	Clin Exp Dermatol. 2020 Jan;45(1):111-113.	Case Report

180	Taki T, Takeichi T, Kono M, 他	皮膚科	A patient with bullous pemphigoid with mucosal involvement serologically positive for anti-BP230 autoantibodies only.	Br J Dermatol. 2020 Jan;182(1):221-223.	Case Report
181	Yoshikawa T, Takeichi T, Suga Y, 他	皮膚科	Unique reticular hyperkeratotic eruptions seen in a patient with Darier's disease and attention deficit hyperactivity disorder.	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2020 Jan;34(1):e41-e43.	Case Report
182	Murase Y, Takeichi T, Kawamoto A, 他	皮膚科	Reduced stratum corneum acylceramides in autosomal recessive congenital ichthyosis with a NIPAL4 mutation.	J Dermatol Sci. 2020 Jan;97(1):50-56.	Original Article
183	Takeichi T, Matsumoto T, Nomura T, 他	皮膚科	A novel NCSTN missense mutation in the signal peptide domain causes hidradenitis suppurativa, which has features characteristic of an autoinflammatory keratinization disease.	Br J Dermatol. 2020 Feb;182(2):491-493.	Case Report
184	Murase C, Takeichi T, Okuno Y, 他	皮膚科	Deep phenotyping of ichthyosis follicularis with atrichia and photophobia syndrome associated with MBTPS2 mutations.	J Dermatol. 2020 Mar;47(3):e87-e88.	Case Report

185	Takeichi T, Okuno Y, Matsumoto T,他	皮膚科	Frequent FOXA1-Activating Mutations in Extramammary Paget's Disease.	Cancers (Basel). 2020 Mar 29;12(4):820.	Original Article
186	Ogawa-Momohara M, Muro Y, Akiyama M.	皮膚科	Overlap of Systemic Lupus Erythematosus and Myositis Is Rare in anti-Ku Antibody-Positive Patients	Ann Rheum Dis. 2019 Oct 11;annrheumdis-2019-216375.	Letter
187	Ogawa-Momohara M, Muro Y, Mitsuma T, 他	皮膚科	Clinical Characteristics of anti-Ro52 α and anti-Ro52 β Antibodies in dermatomyositis/polymyositis	J Dermatol Sci. 2019 Oct;96(1):50-52.	Letter
188	Kono M, Sawada M, Nakazawa Y, 他	皮膚科	A Japanese Case of Galli-Galli Disease due to a Previously Unreported POGLUT1 Mutation.	Acta Derm Venereol. 2019 Apr;99(4):458-459.	Case Report
189	Ota S, Muro Y, Kono M, 他	皮膚科	Antiphospholipid antibody-positive Sjögren's syndrome with leg ulcers.	J Dermatol. 2019 Nov;46(11):e429-e430.	Case Report

190	Naganawa S, Nakane T, Kawai H,他	放射線科	Age Dependence of Gadolinium Leakage from the Cortical Veins into the Cerebrospinal Fluid Assessed with Whole Brain 3D-real Inversion Recovery MR Imaging.	Magn Reson Med Sci. 2019 Apr;18(2): 163-169.	Original Article
191	Naganawa S, Ito R, Taoka T,他	放射線科	The Space between the Pial Sheath and the Cortical Venous Wall May Connect to the Meningeal Lymphatics.	Magn Reson Med Sci. 2020 Feb 10;19(1): 1-4.	Original Article
192	Naganawa A, Korogi Y.	放射線科	Celebrating the beginning of international journal collaboration.	Jpn J Radiol. 2020 Jan;38(1):1-2.	Review
193	Taoka T, Naganawa S.	放射線科	Glymphatic imaging using MRI.	J Magn Reson Imaging. 2020 Jan;51(1):11-24.	Review
194	Taoka T, Aida N, Fujii Y, 他	放射線科	White matter microstructural changes in tuberous sclerosis: Evaluation by neurite orientation dispersion and density imaging (NODDI) and diffusion tensor images.	Sci Rep. 2020 Jan 16;10(1):436.	Original Article

195	Iwano S, Ito S, Kamiya S, 他	放射線科	Utility of Metabolic Parameters on FDG PET/CT in the Classification of Early-Stage Lung Adenocarcinoma: Prediction of Pathological Invasive Size.	Clin Nucl Med. 2019 Jul; 44(7): 560-565.	Original Article
196	Iwano S, Umakoshi H, Kamiya S,他	放射線科	Postoperative recurrence of clinical early-stage non-small cell lung cancers: a comparison between solid and subsolid nodules.	Cancer Imaging. 2019 Jun 7; 19(1):33.	Original Article
197	Kawamura M, Okudaira K, Itoh Y,他	放射線科	Whole abdominopelvic intensity-modulated radiation therapy for peritoneal disseminated rhabdomyosarcoma with three-year follow-up: a case report.	Radiat Oncol. 2019 Jul 15; 14(1):127.	Case Report
198	Komada T, Suzuki K, Oshima K, 他	放射線科	Balloon-Occluded Retrograde Transvenous Obliteration for Fundal Gastric Variceal Bleeding in a Small Child	J Vasc Interv Radiol. 2019 Oct;30(10): 1624-1625.	Case Report
199	Ogawa H, Takehara Y, Naganawa S, 他	放射線科	A case of human pancreatic eurytremiasis.	Abdominal Radiology. 2019 Apr; 44: 1213-1216.	Original Article

200	Kozai Y, Itoh Y, Kawamura M, 他	放射線科	High-dose-rate intracavitary brachytherapy for recurrent cervical cancer in the vaginal stump after hysterectomy.	Nagoya J Med Sci. 2019 Aug;81(3): 351-358.	Original Article
201	Hayashi Y, Satake H, Ishigaki S,他	放射線科	Kinetic Volume Analysis on Dynamic Contrast-Enhanced MRI of Triple-Negative Breast Cancer: Associations With Survival Outcomes	Br J Radiol. 2020 Feb 1; 93(1106): 20190712.	Original Article
202	Akiyama S, Imai E, Maruyama S.	腎臓内科	Immunology of Membranous Nephropathy.	F1000Res. 2019 May 24;8:F1000 Faculty Rev-734.	Original Article
203	Sato Y, Roncal-Jimenez C A, Andres-Hernando A, 他	腎臓内科	Increase of Core Temperature Affected the Progression of Kidney Injury by Repeated Heat Stress Exposure.	Am J Physiol Renal Physiol. 2019 Nov 1;317(5):F1111-F1121.	Original Article
204	Hayasaki T, Ishimoto T, Doke T, 他	腎臓内科	Fructose Increases the Activity of Sodium Hydrogen Exchanger in Renal Proximal Tubules that is Dependent on Ketohexokinase.	J Nutr Biochem.2019 Sep;71:54-62.	Original Article

205	Sun T, Sakata F, Ishii T,他	腎臓内科	Excessive salt intake increases peritoneal solute transport rate via local tonicity-responsive enhancer binding protein in subtotal nephrectomized mice.	Nephrol Dial Transplant.2019 Dec 1;34(12):2031-2042.	Original Article
206	Yoshioka T, Kosugi T, Masuda T, 他	腎臓内科	CD147/Basigin deficiency prevents the development of podocyte injury through FAK signaling.	Am J Pathol. 2019 Jul;189(7):1338-1350.	Original Article
207	Funahashi Y, Kato N, Masuda T, 他	腎臓内科	miR-146a targeted to splenic macrophages prevents sepsis-induced multiple organ injury.	Lab Invest. 2019 Jul;99(8):1130-1142.	Original Article
208	Ozeki T, Katsuno T, Hayashi H, 他	腎臓内科	Short-Term Steroid Regimen for Adult Steroid-Sensitive Minimal Change Disease.	Am J Nephrol. 2019;49(1):54-63.	Original Article
209	Hishida M, Imaizumi T, Nishiyama T, 他	腎臓内科	Survival Benefit of Maintained or Increased Body Mass Index in Patients Undergoing Extended-Hours Hemodialysis Without Dietary Restrictions.	J Renal Nutr. 2020 Mar;30(2):154-162.	Original Article

210	Tawada M, Hamada C, Suzuki Y,他	腎臓内科	Effects of long-term treatment with low-GDP, pH-neutral solutions on peritoneal membranes in peritoneal dialysis patients.	Clin Exp Nephrol.2019 May;23(5):689-699.	Original Article
211	Kaihan A B, Hishida M, Imaizumi T, 他	腎臓内科	Circulating levels of CD34+ cells predict long-term cardiovascular outcomes in patients on maintenance hemodialysis. PLoS One.	PLoS One.2019 Oct 4;14(10):e0223390.	Original Article
212	Kato S, Ando M, Honda H, 他	腎臓内科	Effectiveness of Lifestyle Intervention Using the Internet of Things System for Individuals with Early Type 2 Diabetes Mellitus.	Intern Med.2020;59(1):45-53.	Original Article
213	Minami S, Ito Y, Ueno S,他	眼科	Analysis of macular curvature in normal eyes using swept-source optical coherence tomography	Jpn J Ophthalmol. 2020 Mar;64(2):180-186.	Original Article
214	Namba R, Kaneko H, Suzumura A, 他	眼科	In Vitro Epiretinal Membrane Model and Antibody Permeability: Relationship With Anti-VEGF Resistance in Diabetic Macular Edema.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2019 Jul 1;60(8):2942-2949.	Original Article

215	Kataoka K, Takeuchi J, Nakano Y,他	眼科	CHARACTERISTICS AND CLASSIFICATION OF TYPE 3 NEOVASCULARIZATION WITH B-SCAN FLOW OVERLAY AND EN FACE FLOW IMAGES OF OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY ANGIOGRAPHY	Retina. 2020 Jan;40(1):109-120.	Original Article
216	Komori S, Ueno S, Ito Y, 他	眼科	Steeper Macular Curvature in Eyes With Non-Highly Myopic Retinitis Pigmentosa	Observational Study Invest Ophthalmol Vis Sci. 2019 Jul 1;60(8):3135-3141.	Original Article
217	Ueno S, Inooka D, Nakanishi A, 他	眼科	CLINICAL COURSE OF PARANEOPLASTIC RETINOPATHY WITH ANTI-TRPM1 AUTOANTIBODY IN JAPANESE COHORT	Retina 2019 Dec;39(12):2410-2418.	Original Article
218	Ueno S, Kominami T, Okado S, 他	眼科	Course of loss of photoreceptor function and progressive Müller cell gliosis in rhodopsin P347L transgenic rabbits	Exp Eye Res. 2019 Jul;184:192-200.	Original Article
219	Kominami T, Ueno S, Nishida K, 他	眼科	Electrically Evoked Potentials Are Reduced Compared to Axon Numbers in Rhodopsin P347L Transgenic Rabbits With Severe Photoreceptor Degeneration	Invest Ophthalmol Vis Sci.2019 Jun 3;60(7):2543-2550.	Original Article

220	Suzuki A, Suzuki N, Kanematsu T, 他	輸血部	Performance evaluation of Revohem(™) FVIII chromogenic and Revohem(™) FIX chromogenic in the CS-5100 autoanalyser.	Int J Lab Hematol. 2019 Oct;41(5):664-670.	Original Article
221	Furusawa K, Takeshita K, Suzuki S, 他	循環器内科	Assessment of abdominal aortic calcification by computed tomography for prediction of latent left ventricular stiffness and future cardiovascular risk in pre-dialysis patients with chronic kidney disease: A single center cross-sectional study	nt J Med Sci. 2019 Jun 7;16(7):939-948.	Original Article
222	Fujii T, Shibata Y, Akane A, 他	麻酔科	A randomised controlled trial of pectoral nerve-2 (PECS 2) block vs. serratus plane block for chronic pain after mastectomy.	Anaesthesia. 2019 Dec;74(12):1558-1562.	Original Article
223	Tamura T, Yokota S, Ando M,他	麻酔科	A triple-blinded randomized trial comparing spinal morphine with posterior quadratus lumborum block after cesarean section.	Int J Obstet Anesth. 2019 Nov;40:32-38.	Original Article
224	Hirai T, Konishi Y, Mizuno S,他	麻酔科	Differential effects of sevoflurane on the growth and apoptosis of human cancer cell lines.	J Anesth. 2020 Feb;34(1):47-57.	Original Article

225	Tamura T.	麻酔科	Measuring suction pressure via a scavenging system	J Anesth. 2019 Aug;33(4):568.	Letter
226	Tamura T, Mori A, Nishiwaki K.	麻酔科	A drainage system to decrease volatile anesthetic leakage for the several types of oxygenators during cardiopulmonary bypass.	J Cardiothorac Vasc Anesth. 2019 Sep;33(9):2610-2612.	Letter
227	Tamura T.	麻酔科	Predicting results of fibrinogen and platelet levels by TEG6s during cardio-pulmonary bypass: a pilot study.	J Clin Anesth. 2019 Dec;58:59-60.	Letter
228	Tamura T, Kaneko K, Yokota S,他	麻酔科	Comparison between rectus sheath block with 0.25% ropivacaine and local anesthetic infiltration with 0.5% ropivacaine for laparoscopic inguinal hernia repair in children.	Nagoya J Med Sci. 2019 Aug;81(3):341-349.	Original Article
229	Suzuki S, Tamura T, Hasegawa K, 他	麻酔科	Fibrinogen levels measured by the dry hematology method are lower than those measured by the Clauss method under a high concentration of heparin.	Nagoya J Med Sci. 2019 May;81(2):259-267.	Original Article

230	TamuraT, Ito T, Yokota S, 他	麻酔科	Incidence of reexpansion pulmonary edema in minimally invasive cardiac surgery.	Nagoya J Med Sci. 2019 Nov;81(4):647-654.	Original Article
231	Kinukawa T, Takeuchi N, Sugiyama S, 他	麻酔科	Properties of echoic memory revealed by auditory-evoked magnetic fields.	Sci Rep. 2019 Aug 22;9(1):12260.	Original Article
232	Fujii T, Shibata Y, Ban Y, 他	麻酔科	A single paravertebral injection via a needle vs. a catheter for the spreading to multiple intercostal levels: a randomized controlled trial.	J Anesth. 2020 Feb;34(1):72-78.	Original Article
233	Kawada J, Kamiya Y, Sawada A,他	小児科	Viral DNA Loads in Various Blood Components of Patients With Epstein-Barr Virus-Positive T-Cell/Natural Killer Cell Lymphoproliferative Diseases.	J Infect Dis.2019 Sep 13;220(8):1307-1311.	Original Article
234	Takeuchi S, Kawada J, Horiba K, 他	小児科	Metagenomic analysis using next-generation sequencing of pathogens in bronchoalveolar lavage fluid from pediatric patients with respiratory failure.	Sci Rep.2019 Sep 9;9(1):12909.	Original Article

235	Yamamoto H, Fukasawa Y, Kato T.	小児科	Ventricular tachycardia and chest pain due to foreign body in the pericardium caused by self-injurious behavior	Cardiol Young.2019 Sep;29(9):1217-1218.	Case Report
236	Yamamoto H, Fukasawa Y, Ohashi N,他	小児科	Prediction of postnatal clinical course in primary congenital dilated cardiomyopathy	Pediatr Int.2019 Dec;61(12):1196-1201.	Original Article
237	Yamamoto H, Ohashi N, Fukasawa Y, 他	小児科	Severe fetal cardiomegaly caused by multiple non-giant placental chorioangiomas	Cardiol Young.2019 Dec;29(12):1559-1560.	Case Report
238	Kato T.	小児科	A diversified approach for the prevention of pediatric sudden cardiovascular death in Japan.	Circ J.2020 Mar 25;84(4):544-545.	Others
239	Narita A, Zhu X, Muramatsu H,他	小児科	Prospective randomized trial comparing two doses of rabbit anti-thymocyte globulin in patients with severe aplastic anaemia	Br J Haematol. 2019 Oct;187(2):227-237.	Original Article

240	Murakami N, Sakai T, Arai E, 他	小児科	Targetable driver mutations in multicentric reticulohistiocytosis	Haematologica. 2020 Jan 31;105(2):e61-e64.	Letter
241	Kikuchi R, Stevens M, Harada K, 他	医療技術部臨床検査部門	Anti-angiogenic Isoform of Vascular Endothelial Growth factor-A in Cardiovascular and Renal Disease	Adv Clin Chem.2019;88:1-33.	Review
242	Onodera K, Shimojo D, Ishihara Y,他	脳神経内科	Unveiling synapse pathology in spinal bulbar muscular atrophy by genome-wide transcriptome analysis of purified motor neurons derived from disease specific iPSCs.	Mol Brain. 2020 Feb 19;13(1):18	Original Article
243	Hayashi N, Atsuta N, Yokoi D, 他	脳神経内科	Prognosis of amyotrophic lateral sclerosis patients undergoing tracheostomy invasive ventilation therapy in Japan.	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2020 Mar;91(3):285-290.	Original Article
244	Tanaka Y, Tsuboi T, Watanabe H, 他	脳神経内科	Longitudinal Speech Change After Subthalamic Nucleus Deep Brain Stimulation in Parkinson's Disease Patients: A 2-Year Prospective Study.	J Parkinsons Dis. 2020;10(1):131-140.	Original Article

245	Tanaka S, Hashizume A, Hijikata Y, 他	脳神経内科	Nasometric Scores in spinal and bulbar muscular atrophy - Effects of palatal lift prosthesis on dysarthria and dysphagia.	J Neurol Sci. 2019 Dec 15;407:116503.	Original Article
246	Iida M, Sahashi K, Kondo N,他	脳神経内科	Src inhibition attenuates polyglutamine-mediated neuromuscular degeneration in spinal and bulbar muscular atrophy.	Nat Commun. 2019 Sep 19;10(1):4262.	Original Article
247	Ito D, Hashizume A, Hijikata Y, 他	脳神経内科	Elevated serum creatine kinase in the early stage of sporadic amyotrophic lateral sclerosis.	J Neurol. 2019 Dec;266(12):2952-2961.	Original Article
248	Hanna MG, Badrising UA, Benveniste O,他	脳神経内科	Safety and efficacy of intravenous bimagrumab in inclusion body myositis (RESILIENT): a randomised, double-blind, placebo-controlled phase 2b trial.	Lancet Neurol. 2019 Sep;18(9):834-844.	Original Article
249	Bagarinao E, Watanabe H, Maesawa S,他	脳神経内科	Reorganization of brain networks and its association with general cognitive performance over the adult lifespan.	Sci Rep. 2019 Aug 6;9(1):11352.	Original Article

250	Araki K, Araki A, Honda D,他	脳神経内科	TDP-43 regulates early-phase insulin secretion via CaV1.2-mediated exocytosis in islets.	J Clin Invest. 2019 Jul 29;129(9):3578-3593.	Original Article
251	Hijikata Y, Hashizume A, Yamada S, 他	脳神経内科	Long-term Effects of Androgen Deprivation in a Patient with Spinal and Bulbar Muscular Atrophy - A Case Report with 14 Years of Follow-up.	Intern Med. 2019 Aug 1;58(15):2231-2234.	Original Article
252	Kondo N, Tohnai G, Sahashi K,他	脳神経内科	DNA methylation inhibitor attenuates polyglutamine-induced neurodegeneration by regulating Hes5.	EMBO Mol Med. 2019 May;11(5):e8547.	Original Article
253	Ikenaka K, Atsuta N, Maeda Y, 他	脳神経内科	Increase of arginine dimethylation correlates with the progression and prognosis of ALS.	Neurology. 2019 Apr 16;92(16):e1868-e1877.	Original Article
254	Hashizume A, Katsuno M, Suzuki K,他	脳神経内科	Efficacy and safety of leuprorelin acetate for subjects with spinal and bulbar muscular atrophy: pooled analyses of two randomized-controlled trials.	J Neurol. 2019 May;266(5):1211-1221.	Original Article

255	Urakawa H, Mizusawa J, Tanaka K,他	化学療法部	A randomized phase III trial of denosumab before curettage for giant cell tumor of bone: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG1610.	Jpn J Clin Oncol. 2019 Apr 1;49(4):379-382.	Original Article
256	Nishida Y, Ikuta K.	リハビリテーション科	Treatment of tenosynovial giant-cell tumour types.	Lancet Oncol. 2019 Aug;20(8):e399.	Original Article
257	Nishida Y, Sakai T, Koike H,他	リハビリテーション科	Pazopanib for progressive desmoid tumours: children, persistant effects, and cost.	Lancet Oncol. 2019 Oct;20(10):e555	Original Article
258	Nishida Y, Kawai A, Toguchida J, 他	リハビリテーション科	Clinical features and treatment outcome of desmoid-type fibromatosis: based on a bone and soft tissue tumor registry in Japan.	Int J Clin Oncol. 2019 Nov;24(11):1498-1505.	Original Article
259	Koike H , Nishida Y, Shinomura T, 他	整形外科	Forced Expression of KIAA1199, a Novel Hyaluronidase, Inhibits Tumorigenicity of Low-Grade Chondrosarcoma	J Orthop Res. 2020 Feb 18.	Original Article

260	Morita D, Higuchi Y, Makida K, 他	整形外科	Effects of ultraviolet irradiation with a LED device on bone metabolism associated with vitamin D deficiency in senescence-accelerated mouse P6	Heliyon. 2020 Feb 28;6(2):e03499.	Original Article
261	Suzuki M, Takahashi N, Sobue Y, 他	整形外科	Hyaluronan suppresses enhanced cathepsin K expression via activation of NF-κB with mechanical stress loading in a human chondrocytic HCS-2/8 cells.	Sci Rep. 2020 Jan 14;10(1):216.	Original Article
262	Hattori K, Hirano Y, Kanayama Y, 他	整形外科	Predictors of denosumab efficacy in treating osteoporosis in patients with rheumatoid arthritis: a Japanese multicenter study.	Nagoya J Med Sci. 2019 Nov;81(4):571-585.	Original Article
263	Suzuki M, Takahashi N, Kida D, 他	整形外科	Clinical effectiveness and safety of additional administration of tacrolimus in rheumatoid arthritis patients with an inadequate response to abatacept: A retrospective cohort study.	Int J Rheum Dis. 2019 Dec;22(12):2199-2205.	Original Article
264	Sobue Y, Takahashi N, Ohashi Y,他	整形外科	Inhibition of CD44 intracellular domain production suppresses bovine articular chondrocyte de-differentiation induced by excessive mechanical stress loading.	Sci Rep. 2019 Oct 17;9(1):14901.	Original Article

265	Sobue Y, Kojima T, Funahashi K, 他	整形外科	Relationship between rheumatoid arthritis and locomotive syndrome: validation of the 25-question Geriatric Locomotive Function Scale in patients with rheumatoid arthritis.	Nagoya J Med Sci. 2019 Aug;81(3):453-462.	Original Article
266	Takahashi N, Kojima T, Kida D,他	整形外科	Concomitant methotrexate has little effect on clinical outcomes of abatacept in rheumatoid arthritis: a propensity score matching analysis.	Clin Rheumatol. 2019 Sep;38(9):2451-2459.	Original Article
267	Takahashi N, Kojima T, Kida D,他	整形外科	Clinical effectiveness and long-term retention of abatacept in elderly rheumatoid arthritis patients: Results from a multicenter registry system.	Mod Rheumatol. 2019 Nov;29(6):910-918.	Original Article
268	Ishiguro N, Tanaka Y, Yamanaka H, 他	整形外科	Efficacy of denosumab with regard to bone destruction in prognostic subgroups of Japanese rheumatoid arthritis patients from the phase II DRIVE study.	Rheumatology (Oxford). 2019 Jun 1;58(6):997-1005.	Original Article
269	Takegami Y, Seki T, Higuchi Y, 他	整形外科	Measurement of Equivalence Between the Web and Paper Versions of the Japanese Orthopaedic Association Hip Disease Evaluation Questionnaire	Mod Rheumatol. 2020 Mar;30(2):397-401.	Original Article

270	Kusano T, Nakatani M, Ishiguro N, 他	整形外科	Desloratadine Inhibits Heterotopic Ossification by Suppression of BMP2-Smad1/5/8 Signaling	J Orthop Res. 2020 Feb 11.	Original Article
271	Higuchi Y, Seki T, Takegami Y, 他	整形外科	What Factors Predict Ceramic Liner Malseating After Ceramic-On-Ceramic Total Hip Arthroplasty?	Orthop Traumatol Surg Res. 2019 May;105(3):453-459.	Original Article
272	Higuchi Y, Seki T, Morita D,他	整形外科	Comparison of Wear Rate Between Ceramic-on-Ceramic, Metal on Highly Cross-linked Polyethylene, and Metal-on-Metal Bearings	Rev Bras Ortop (Sao Paulo). 2019 May;54(3):295-302.	Original Article
273	Okura T, Ohkawara B, Takegami Y, 他	整形外科	Author Correction: Mianserin Suppresses R-spondin 2-induced Activation of Wnt/β-catenin Signaling in Chondrocytes and Prevents Cartilage Degradation in a Rat Model of Osteoarthritis	Sci Rep. 2020 Feb 14;10(1):2995.	Original Article
274	Osawa Y, Seki T, Takegami Y, 他	整形外科	Failed Periacetabular Osteotomy Leads to Acetabular Defects During Subsequent Total Hip Arthroplasty	Arch Orthop Trauma Surg. 2019 May;139(5):729-734.	Original Article

275	Osawa Y, Hasegawa Y, Seki T.	整形外科	Long-Term Outcomes of Eccentric Rotational Acetabular Osteotomy Combined With Femoral Osteotomy for Hip Dysplasia	J Arthroplasty. 2020 Jan;35(1):17-22.	Original Article
276	Hirai T, Yoshii T, Ushio S, 他	整形外科	Clinical characteristics in patients with ossification of the posterior longitudinal ligament: A prospective multi-institutional cross-sectional study.	Sci Rep. 2020 Mar 26;10(1):5532.	Original Article
277	Tanaka S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Association between locomotive syndrome and the Japanese version of the EQ-5D-5L in middle-aged and elderly people in Japan.	Nagoya J Med Sci. 2020 Feb;82(1):5-14.	Original Article
278	Ando K, Imagama S, Kaito T, 他	整形外科	Outcomes of Surgery for Thoracic Myelopathy Owing to Thoracic Ossification of The Ligamentum Flavum in a Nationwide Multicenter Prospectively Collected Study in 223 Patients: Is Instrumented Fusion Necessary?	Spine (Phila Pa 1976). 2020 Feb 1;45(3):E170-E178.	Original Article
279	Nakashima H, Ishikawa Y, Kanemura T, 他	整形外科	Neurological function following early versus delayed decompression surgery for drop foot caused by lumbar degenerative diseases.	J Clin Neurosci. 2020 Feb;72:39-42.	Original Article

280	Machino M, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Differences of lumbopelvic sagittal parameters among community-dwelling middle-age and elderly individuals: Relations with locomotor physical function.	.J Clin Neurosci. 2020 Mar;73:80-84.	Original Article
281	Nakashima H, Kanemura T, Satake K,他	整形外科	Indirect Decompression on MRI Chronologically Progresses After Immediate Postlateral Lumbar Interbody Fusion: The Results From a Minimum of 2 Years Follow-Up.	Spine (Phila Pa 1976). 2019 Dec 15;44(24):E1411-E1418.	Original Article
282	Imagama S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Musculoskeletal Factors and Geriatric Syndromes Related to the Absence of Musculoskeletal Degenerative Disease in Elderly People Aged over 70 Years.	Biomed Res Int. 2019 Nov 18;2019:7097652.	Original Article
283	Ando K, Kobayashi K, Machino M, 他	整形外科	Connection of discontinuous segments in early functional recovery from thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament treated with posterior instrumented surgery.	J Neurosurg Spine. 2019 Nov 8;32(2):200-206.	Original Article
284	Ando K, Imagama S, Kobayashi K, 他	整形外科	Clinical Features of Thoracic Myelopathy: A Single-Center Study.	J Am Acad Orthop Surg Glob Res Rev. 2019 Nov 4;3(11):e10.5435.	Original Article

285	Ito K, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Natural reduction in acute intratumoral hemorrhage of spinal schwannoma in the cauda equina.	Nagoya J Med Sci. 2019 Nov;81(4):701-705.	Original Article
286	Imagama S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Multivariate analysis of factors related to the absence of musculoskeletal degenerative disease in middle-aged and older people.	Geriatr Gerontol Int. 2019 Nov;19(11):1141-1146.	Original Article
287	Machino M, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Postoperative Resolution of MR T2 Increased Signal Intensity in Cervical Spondylotic Myelopathy: The Impact of Signal Change Resolution on the Outcomes.	Spine (Phila Pa 1976). 2019 Nov 1;44(21):E1241-E1247.	Original Article
288	Yoshida G, Imagama S, Kawabata S, 他	整形外科	Adverse Events Related to Transcranial Electric Stimulation for Motor-evoked Potential Monitoring in High-risk Spinal Surgery.	Spine (Phila Pa 1976). 2019 Oct 15;44(20):1435-1440.	Original Article
289	Kobayashi K, Imagama S, Ando K,他	整形外科	Locomotive Syndrome Stage 1 Predicts Significant Worsening of Future Motor Performance: The Prospective Yakumo Study.	Biomed Res Int. 2019 Oct 3;2019:1970645.	Original Article

290	Imagama S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	The Relationship Between Neuropathic Pain and Spinal Alignment: Independent Risk Factors for Low Quality of Life in Middle-Aged and Elderly People.	Spine (Phila Pa 1976). 2019 Oct 1;44(19):E1130-E1135.	Original Article
291	Tanaka S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Waist Circumference Measured by Bioelectrical Impedance Analysis Is Interchangeable with Manual Measurement: Increased Waist Circumference Is Associated with Locomotive Syndrome Risk.	Biomed Res Int. 2019 Sep 25;2019:5971030.	Original Article
292	Sakai Y, Kaito T, Takenaka S, 他	整形外科	Complications after spinal fixation surgery for osteoporotic vertebral collapse with neurological deficits: Japan Association of Spine Surgeons with ambition multicenter study.	J Orthop Sci. 2019 Nov;24(6):985-990.	Original Article
293	Imagama S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Increase in lumbar kyphosis and spinal inclination, declining back muscle strength, and sarcopenia are risk factors for onset of GERD: a 5-year prospective longitudinal cohort study.	Eur Spine J. 2019 Nov;28(11):2619-2628.	Original Article
294	Watanabe K, Katsumi K, Ohashi M,他	整形外科	Surgical outcomes of spinal fusion for osteoporotic vertebral fracture in the thoracolumbar spine: Comprehensive evaluations of 5 typical surgical fusion techniques.	J Orthop Sci. 2019 Nov;24(6):1020-1026.	Original Article

295	Machino M, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Differences in clinical outcomes between traumatic cervical myelopathy and degenerative cervical myelopathy: A comparative study of cervical spinal cord injury without major bone injury and cervical spondylotic myelopathy.	J Clin Neurosci. 2019 Dec;70:127-131.	Original Article
296	Machino M, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Cut off value in each gender and decade of 10-s grip and release and 10-s step test: A comparative study between 454 patients with cervical spondylotic myelopathy and 818 healthy subjects.	Clin Neurol Neurosurg. 2019 Sep;184:105414.	Original Article
297	Ando K, Kobayashi K, Ito K,他	整形外科	Occipitocervical or C1-C2 fusion using allograft bone in pediatric patients with Down syndrome 8 years of age or younger.	J Pediatr Orthop B. 2019 Jul;28(4):405-410.	Original Article
298	Machino M, Imagama S, Ishiguro N.	整形外科	Detection of Spinal Dural Defect in Superficial Siderosis by Intraoperative Ultrasonography.	World Neurosurg. 2019 Sep;129:386-388.	Original Article
299	Kaito T, Matsuyama Y, Yamashita T, 他	整形外科	Cost-effectiveness analysis of the pharmacological management of chronic low back pain with four leading drugs.	J Orthop Sci. 2019 Sep;24(5):805-811.	Original Article

300	Tanaka S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Low Bioelectrical Impedance Phase Angle Is a Significant Risk Factor for Frailty.	Biomed Res Int. 2019 Jun 10;2019:6283153.	Original Article
301	Nakashima H, Kanemura T, Satake K,他	整形外科	Factors Affecting Postoperative Sagittal Alignment after Lateral Lumbar Interbody Fusion in Adult Spinal Deformity: Posterior Osteotomy, Anterior Longitudinal Ligament Rupture, and Endplate Injury.	Asian Spine J. 2019 Jun 3;13(5):738-745.	Original Article
302	Ando K, Kobayashi K, Machino M, 他	整形外科	Wave changes in intraoperative transcranial motor-evoked potentials during posterior decompression and dekyphotic corrective fusion with instrumentation for thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2019 Aug;29(6):1177-1185.	Original Article
303	Imagama S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Impact of comorbidity rates of lumbar spondylosis, knee osteoarthritis, and osteoporosis on physical QOL and risk factors for poor physical QOL in middle-aged and elderly people.	Mod Rheumatol. 2020 Mar;30(2):402-409.	Original Article
304	Yoshida G, Ando M, Imagama S,他	整形外科	Alert Timing and Corresponding Intervention With Intraoperative Spinal Cord Monitoring for High-Risk Spinal Surgery.	Spine (Phila Pa 1976). 2019 Apr 15;44(8):E470-E479.	Original Article

305	Tanaka S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Reduction in body cell mass as a predictor of osteoporosis: A cross-sectional study.	Mod Rheumatol. 2020 Mar;30(2):391-396.	Original Article
306	Kobayashi K, Ando K, Machino M, 他	整形外科	Optimal stimulation intensity for Br(E)-MsEP waveform derivation at baseline in pediatric spinal surgery.	Clin Neurol Neurosurg. 2019 May;180:74-78.	Original Article
307	Yoshii T, Egawa S, Hirai T, 他	整形外科	A systematic review and meta-analysis comparing anterior decompression with fusion and posterior laminoplasty for cervical ossification of the posterior longitudinal ligament.	J Orthop Sci. 2020 Jan;25(1):58-65.	Original Article
308	Morozumi M, Matsubara Y, Muramoto A, 他	整形外科	A Study of Risk Factors for Early-Onset Adjacent Vertebral Fractures After Kyphoplasty.	Global Spine J. 2020 Feb;10(1):13-20.	Original Article
309	Machino M, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	A comparative study of two reconstruction procedures for osteoporotic vertebral fracture with lumbar spinal stenosis: Posterior lumbar interbody fusion versus posterior and anterior and combined surgery.	J Orthop Sci. 2020 Jan;25(1):52-57.	Original Article

310	Ando K, Kobayashi K, Machino M, 他	整形外科	Computed tomography-based navigation system-assisted surgery for primary spine tumor.	J Clin Neurosci. 2019 May;63:22-26.	Original Article
311	Tanaka S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Increasing postural sway in balance test is related to locomotive syndrome risk: A cross-sectional study.	J Orthop Sci.2019 Sep;24(5):912-917.	Original Article
312	Nakashima H, Kanemura T, Satake K,他	整形外科	Comparative Radiographic Outcomes of Lateral and Posterior Lumbar Interbody Fusion in the Treatment of Degenerative Lumbar Kyphosis.	Asian Spine J.2019 Jun;13(3):395-402.	Original Article
313	Ando K, Kobayashi K, Machino M, 他	整形外科	Fusion surgery with instrumentation following carbon ion radiotherapy for primary lumbar tumors: A case series.	J Clin Neurosci.2019 Apr;62:264-268.	Original Article
314	Tanaka S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	The decreasing phase angles of the entire body and trunk during bioelectrical impedance analysis are related to locomotive syndrome.	J Orthop Sci. 2019 Jul;24(4):720-724.	Original Article

315	Kobayashi K, Ando K, Tsushima M, 他	整形外科	Predictors of presarcopenia in community-dwelling older adults: A 5-year longitudinal study.	Mod Rheumatol. 2019 Nov;29(6):1053-1058.	Original Article
316	Kobayashi K, Ando K, Tsushima M, 他	整形外科	Predictors of locomotive syndrome in community-living people: A prospective five-year longitudinal study.	Mod Rheumatol. 2019 Jul;29(4):669-675.	Original Article
317	Kobayashi K, Ando K, Kato F, 他	整形外科	Predictors of Prolonged Length of Stay After Lumbar Interbody Fusion: A Multicenter Study.	Global Spine J. 2019 Aug;9(5):466-472.	Original Article
318	Nakashima H, Kanemura T, Kanbara S,他	整形外科	What Are the Important Predictors of Postoperative Functional Recovery in Patients With Cervical OPLL? Results of a Multivariate Analysis.	Global Spine J. 2019 May;9(3):315-320.	Original Article
319	Tanaka S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	The decrease in phase angle measured by bioelectrical impedance analysis reflects the increased locomotive syndrome risk in community-dwelling people: The Yakumo study.	Mod Rheumatol. 2019 May;29(3):496-502.	Original Article

320	Tanaka S, Ando K, Kobayashi K, 他	整形外科	Relationship between locomotive syndrome and body composition among community-dwelling middle-age and elderly individuals in Japan: The Yakumo study.	Mod Rheumatol. 2019 May;29(3):491-495.	Original Article
321	Asano K, Nakano T, Tokutake K, 他	手の外科	Muscle spindle reinnervation using transplanted embryonic dorsal root ganglion cells after peripheral nerve transection in rats.	Cell Prolif. 2019 Sep;52(5):e12660.	Original Article
322	Iwatsuki K , Hoshiyama M, Yoshida A, 他	手の外科	A Magnetoencephalographic study of longitudinal brain function alterations following carpal tunnel release.	Sci Rep. 2019 Dec 24;9(1):19776.	Original Article
323	Kawamoto H, Iwatsuki K, Kurimoto S, 他	手の外科	IL-6 secretion by fibroblasts in carpal tunnel syndrome patients is associated with trigger finger and inhibited by tranilast.	Muscle Nerve. 2020 Mar;61(3):408-415.	Original Article
324	Iwatsuki K, Hoshiyama M, Oyama S, 他	手の外科	Electroencephalographic Functional Connectivity With the Tacit Learning System Prosthetic Hand: A Case Series Using Motor Imagery.	Front Synaptic Neurosci. 2020 Feb 28;12:7.	Original Article

325	Iwatsuki K, Yoneda H, Onishi T, 他	手の外科	Compatibility of magnetic resonance imaging in patients with orthopedic implants: manufacturer questionnaires.	Nagoya J Med Sci. 2020 Feb;82(1):79-84.	Original Article
326	Yoshida A, Iwatsuki K, Hoshiyama M, 他	手の外科	Disturbance of somatotopic spatial cognition and extra-territorial pain in carpal tunnel syndrome.	NeuroRehabilitation. 2020;46(3):423-431.	Original Article
327	Saeki M, Yamamoto M, Hirata H.	手の外科	Remodeling of Diaphyseal Diameter of Forearm Bone in a Child. Case Report.	Ortop Traumatol Rehabil. 2019 Jun 30;21(3):213-218.	Case Report
328	Mitake T, Iwatsuki K, Hirata H.	手の外科	Differences in characteristics of carpal tunnel syndrome between male and female patients	J Orthop Sci. 2019 Nov 25;S0949-2658(19)30339-2.	Original Article
329	Yamamoto M, Chung KC, Sterbenz J, 他	手の外科	Cross-Sectional International Multicenter Study on Quality of Life and Reasons for Abandonment of Upper Limb Prostheses.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2019 May 24;7(5):e2205.	Original Article

330	Nakagawa Y, Kurimoto S, Maheu E, 他	手の外科	Cross-cultural translation, adaptation and validation of a Japanese version of the functional index for hand osteoarthritis (J-FIHOA).	BMC Musculoskelet Disord. 2020 Mar 16;21(1):173.	Original Article
331	Takeda S, Nishimura T, Nakazora S, 他	手の外科	A bizarre parosteal osteochondromatous proliferation at the sesamoid bone of the hallux: A case report.	J Orthop Surg (Hong Kong). Jan-Apr 2019;27(1):2309499019828511.	Case Report
332	Takeda S, Tatebe M, Ishii H,他	手の外科	Computerized tomographic prediction of flexor tendon injuries complicating hamate hook fractures.	J Hand Surg Eur Vol. 2019 May;44(4):367-371.	Original Article
333	Takeda S, Tanaka Y, Takeichi Y,他	手の外科	A rare case of right-sided infective endocarditis caused by group B Streptococcus complicated with septic knee arthritis and subcutaneous abscess in the lower extremity.	Acute Med Surg. 2019 Sep 17;7(1):e456.	Case Report
334	Takanari K, Toriyama K, Kambe M,他	形成外科	Nuss procedure for patients with pectus excavatum with a history of intrathoracic surgery.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2019 Jun;72(6):1025-1029.	Original Article

335	Nakamura Y, Takanari K, Ebisawa K,他	形成外科	Repair of temporal branch of the facial nerve with novel polyglycolic acid-collagen tube: a case report of two cases	Nagoya J Med Sci 2020 Feb;82(1):123-128.	Case Report
336	Kasugai D, Nishikimi M, Nishida K,他	救急科	Timing of administration of epinephrine predicts the responsiveness to epinephrine in norepinephrine-refractory septic shock: a retrospective study.	J Intensive Care. 2019 Apr 5;7:20.	Original Article
337	Yasuda Y, Nishikimi M, Nishida K,他	救急科	Relationship Between Serum Norepinephrine Levels at ICU Admission and the Risk of ICU-Acquired Delirium: Secondary Analysis of the Melatonin Evaluation of Lowered Inflammation of ICU Trial.	Crit Care Explor. 2020 Feb 24;2(2):e0082.	Original Article
338	Goto Y, Goto T, Okamoto H,他	救急科	Factors associated with successful rescue intubation attempts in the emergency department: an analysis of multicenter prospective observational study in Japan.	Acute Med Surg. 2019 Oct 14;7(1):e462.	Original Article
339	Ozaki M, Murashima K.	救急科	Use of a Tracheal Tube as a Nasally Inserted Supraglottic Airway in a Case of Near-Fatal Airway Obstruction Caused by Epiglottitis	Case Reports in Anesthesiology 2019 Oct 31	Case Report

340	Shirota C, Tanaka Y, Tainaka T, 他	小児外科	Therapeutic strategy for thoracoscopic repair of esophageal atresia and its outcome	Pediatr Surg Int. 2019 Oct;35(10):1071-1076.	Original Article	
341	Tanaka Y, Shirota C, Tainaka T, 他	小児外科	Efficacy of and prognosis after steroid pulse therapy in patients with poor reduction of jaundice after laparoscopic Kasai portoenterostomy.	Pediatr Surg Int. 2019 Oct;35(10):1059-1063.	Original Article	
342	Amano H, Hanada K, Hinoki A,他	小児外科	Biodegradable Surgical Staple Composed of Magnesium Alloy.	Sci Rep. 2019 Oct 11;9(1):14671.	Original Article	
343	Amano H, Miyake K, Hinoki A, 他	小児外科	Novel Zinc Alloys for Biodegradable Surgical Staples	World J Clin Cases. 2020 Feb 6;8(3):504-516.	Original Article	計343件

（注）1　当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2　報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること（筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。）

3　「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4　「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月（原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない）; 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
（出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月（オンライン掲載月）の後に（オンライン）と明記すること）。
記載例： Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文（任意）

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	髙木優衣, 若原恵子, 井上貴行, 他	リハビリテーション部	肺移植待機期間の入院リハビリテ―ション前後で筋力を維持したリンパ脈管筋腫症の一例	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 2019 May 28(1):140-143	Case Report
2	児玉章朗, 古森公浩	血管外科	末梢循環領域の進歩	循環器専門医 Journal of JCS Cardiologists第28巻 85-87、2019 （日本循環器学会専門医誌）株式会社 南江堂	Review
3	古森公浩	血管外科	特集：内科医として“足”を診る 靴下をとって足病変を見逃すな！Commonな足病変update 閉塞性動脈硬化症	臨床雑誌 vol.124 No.5 2293-2297、2019 Nov（株式会社 南江堂）	Review
4	古森公浩	血管外科	VIII 末梢動脈・静脈疾患 閉塞性動脈硬化症	別冊 日本臨牀社 領域別症候群シリーズ No.6 循環器症候群(第3版) (II) -その他の循環器疾患を含めて-430-433、2019 Sep(株式会社日本臨牀)	Review
5	古森公浩	血管外科	Commonな足病変update 閉塞性動脈硬化症	特集：内科医として“足”を診る 靴下をとって足病変を見逃すな！ 臨床雑誌 vol.124 No.5 2293-2297、2019 Nov（株式会社 南江堂）	Review
6	古森公浩	血管外科	循環器疾患 大動脈瘤（胸部・腹部）	私はこう治療している.432-343, 2020,今日の治療指針2020年版総編集：福井次矢、高木請、小室一成）	Review

7	林祥太郎, 中村智子, 大須賀智子, 他	産婦人科	妊娠21週のダグラス窩に嵌頓した卵巣腫瘍に対して、臍部処置孔を挙上し、後腟腟円蓋とPfannenstiel小切開から用手的操作を加えることで腫瘍移動し得た、腹腔鏡補助下卵巣腫瘍摘出術の一例	東海産婦人科内視鏡手術研究会雑誌 2019.Oct; Vol. 7 : 94-99	Original Article
8	仲西菜月, 邨瀬智彦, 渡邉鈴美香, 他	産婦人科	がん・生殖医療におけるランダムスタート法の検討	東海産科婦人科学会雑誌 2020.Mar; 第56巻 : 163-169	Original Article
9	木下 一彦, 水野 裕和, 日比 英晴	歯科口腔外科	332個の唾石を認めた顎下腺唾石症の1例	日本口腔外科学会雑誌. 2019 Jun 65(6):424-428.	Case Report
10	岡部 一登, 土屋 周平, 酒井 陽, 他	歯科口腔外科	先天性無フィブリノゲン血症患者の抜歯術における周術期管理を行った1例	日本口腔外科学会雑誌. 2019 Aug 65(8):507-512.	Case Report
11	若山 博隆, 夫 才成, 藤尾 正人, 他	歯科口腔外科	静脈内鎮静法を用いて多数歯抜歯を行った異型ポルフィリン症の1例	日本口腔外科学会雑誌. 2019 Aug 65(8):519-522.	Case Report
12	片桐健, 室原豊明	循環器内科	脂肪組織由来間葉系前駆細胞を用いた虚血性疾患の先端再生医療	医学のあゆみ 270 Jul(1): 80-86, 2019.	Others
13	杁本 朱里, 田中 杏奈, 岡庭 恵子, 他	看護部	FAPを発症した姉妹の語りから見えてきたストーマ閉鎖後の継続看護への課題	東海ストーマ・排泄リハビリテーション研究会誌.2019 July;39(1):31-35.	Original Article

14	高井 奈美	看護部	意思決定後も揺れ動く患者の気持ちに寄り添う看護のあり方	日本腎不全看護学会誌 2019 Aug;第21巻2号:p70-75	Case Report
15	秋本　千佳,渕田　英津子	看護部	介護老人福祉施設の高齢者が感じる「自分らしさ」とケア職員が捉える「その人らしさ」	日本看護医療学会誌.2019　Jun;21(1):49-58.	Original Article
16	稲生　藍, 石村　由利子	看護部	ICUに入院した早産児の母親の児退院後1ヵ月までの母乳育児の体験(第1報)	小児保健研究 .2019 Sep;78巻5号:420-427	Original Article
17	加納寛也,四井田英樹,後藤和大,他	臨床工学技術部	大血管部会委員による文献紹介と大動脈手術における体外循環のまとめ -今更だけど大動脈手術でおさえておきたいこと-	体外循環技術.2020 Mar;47(1):1-7	Review
18	高木 麻衣,相良 篤信,石澤 歩実,他	薬剤部	血清クレアチニン補正による腎機能評価が子宮頸がんシスプラチン+フルオロウラシル療法に与える影響	薬学雑誌. 2019.Oct　139 (10) : 1327-1332	Original Article
19	岩﨑 愛里,宮崎 雅之,十九浦 宏明,他	薬剤部	がん疼痛に対しオキシコドン導入となった患者におけるポリファーマシーの実態調査	医療薬学 2019.Jun 45 (6):322-330	Original Article
20	鳥居(後藤)綾, 友松典子, 伊藤貴博, 他	薬剤部	薬剤師による吸入療法支援が慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の症状や肺機能に与える影響	医療薬学 2019.Sep 45 (9):504-512	Original Article
21	石澤 歩実,宮崎 雅之,市川 和哉,他	薬剤部	侵入奇胎に対するメトトレキサート筋注療法による口腔粘膜炎に関する検討　発生頻度・リスク因子・予防薬と治療薬の有効性	日本病院薬剤師会雑誌 2019..Sep 55(9):1059-1062	Original Article

22	鵜飼麻由, 伊藤文香, 神谷幸江, 他	薬剤部	消化器がんのがん化学療法に関する臨床薬剤業務支援ツール～「消化器癌Reference book」の作成とその評価～	日本病院薬剤師会雑誌 2020.Feb 56(2):147-152.	Original Article
23	Taku Nagai, Wei Shan, Kiyofumi Yamada	薬剤部	Exploring Molecular Targets for Epilepsy Treatment from the Perspective of Neuronal Homeostasis	薬学雑誌. 2019.Jun 139(6):923-929	Original Article
24	溝口 博之, 山田 清文	薬剤部	はまる脳, リスク志向な脳:ウイルスベクターによる島皮質機能操作	薬学雑誌. 2019.May 153(5) : 224-230	Original Article
25	山田啓策, 山村健史,中村正直,他	消化器内科	ダブルバルーン小腸内視鏡を用いた硬化療法にて治療効果を得た小腸多発血管腫の1例	日本消化器内視鏡学会誌 2019 Jun,Vol.61(6),1231-1236	Case Report
26	本村 和也, 夏目 敦至, 若林 俊彦	脳神経外科	【脳腫瘍】覚醒下腫瘍摘出術と機能評価	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine(1881-3526). 2019. Aug; 56巻8号 Page613-617	Others
27	橋本 直哉, 市村 幸一, 廣瀬 隆則, 他	脳神経外科	【悪性脳腫瘍】WHO2016脳腫瘍分類と分子診断　国内の現状と展望	脳神経外科ジャーナル (0917-950X). 2019. Nov; 28巻11号 Page674-685	Others
28	水野 晃宏, 相見 有理, 中林 規容, 他	脳神経外科	低テストステロン血症を伴いホルモン療法に抵抗性を示した前立腺癌下垂体転移の1例	脳神経外科ジャーナル (0917-950X). 2019.Dec; 28巻12号 Page798-803	Case Report
29	本村和也	脳神経外科	Medical Technology: この1冊で安心！周術期の生理機能検査丸ごとガイド; 頭蓋内腫瘍の周術期MRI検査	Medical Technology.2019.Dec;Vol. 47 No.13 Page1508-1514	Others

30	本村和也	脳神経外科	覚醒下手術による supratotal resectionを目指したlower grade gliomaに対する手術戦略	脳神経外科速報. 2019 Aug; Volume 29, Issue 8, 838 - 845	Others
31	本村和也, 若林俊彦	脳神経外科	ニューロナビゲーションシステム; OPERADA Arrowの脳腫瘍手術における臨床使用経験	MEDIX. 2019; Volume 69 Jun, 49-52	Others
32	梅村　朋	患者安全推進部	医療安全における病院薬剤師の役割	APJHP, 2019 Sep Vol.47(2):2-5	Others
33	梅村　朋	患者安全推進部	安全な糖尿病の治療をおこなうために～インシデント報告分析から～	くすりと糖尿病, 2019 Jun Vol.8(1):50-57	Others
34	長尾　能雅	患者安全推進部	患者安全の全体像と展望	麻酔2019,2019 Nov 68増刊:S7-S13	Others
35	長尾　能雅	患者安全推進部	医療安全管理の全体像	日本内科学会誌,2020 Mar Vol.109(3):579-583	Others
36	吉田忠雄	耳鼻咽喉科	耳科画像診断の未来: MRIによる内耳画像診断	Otology Japan (0917-2025).2019 Aug;29(1):35-37.	Original Article
37	平岡 美樹子, 今門 純久, 夏賀 健,他	皮膚科	重症汎発性接合部型表皮水疱症の1家系	·日皮会誌 2019. Nov 129 (12): 2525-2532.	Case Report

38	伊藤 靖敏, 武市 拓也, 秋山 真志	皮膚科	【新生児・乳児の皮膚病】臨床例　ロリクリン角皮症	皮膚病診療 (0387-7531) 2019 May 41巻5号 Page461-464	Case Report
39	小橋 陽加, 石元 達士, 山本 真有子, 他	皮膚科	毛孔性紅色粃糠疹様の臨床像を呈し新規ABCA12遺伝子変異を認めた魚鱗癬様紅皮症の姉弟例	西日本皮膚科 (0386-9784) 2019 Oct 81巻5号 Page382-386	Case Report
40	武市 拓也	皮膚科	【プレシジョンメディシンを迎える皮膚科領域】遺伝性角化症とプレシジョンメディシン	Precision Medicine (2434-3625) 2020 Jan 3巻1号 Page22-25	Review
41	武市 拓也	皮膚科	【まるわかり!自己炎症性疾患】DITRA、CAMPS/自己炎症性角化症	Derma. (1343-0831) 2020 Mar 293号 Page53-56	Review
42	野村 彩, 重野 和彦, 吉村 順子,他	皮膚科	道化師様魚鱗癬の1例	皮膚科の臨床 (0018-1404) 2020 Mar 62巻3号 Page331-333	Case Report
43	四津里英, 吉住順子, 村瀬千晶	皮膚科	世界の疥癬事情-"WHO Informal Consultation on a Framework for Scabies Control"報告書-	Visual Dermatology. 2019 Jul 18(8):836-837	Others
44	石井則久, 三上万里子, 村瀬 千晶	皮膚科	非結核性抗酸菌による皮膚・軟部組織感染症	臨床検査. 2019 Sep 63(9):1052-1056	Others
45	加藤友久美, 村瀬 千晶, 石井則久	皮膚科	梅毒の多彩な臨床と治療	Monthly Book Derma. 2019 Jul 285:16-22	Others

46	石井則久, 三上万里子, 村瀬 千晶	皮膚科	疥癬対策	日本医師会雑誌. 2019 Jul 148(4):672-675	Others
47	長縄慎二	放射線科	Glymphatic systemとMRI―ヒトでの可視化に向けた取り組み	医学のあゆみ. 2019 Sep 270(13): 1189-1192.	Original Article
48	長縄慎二	放射線科	私と医療　New Med Essay ―第176回　動機はいい加減だったものの、真面目に取り組めばこそ―	月刊新医療. 2019 Dec 540: 77.	Others
49	長縄慎二	放射線科	2020年　最新医療機器の現状と展望　CTおよびMRIなどの画像診断装置の今後の在り方と展望	月刊新医療データブック・シリーズ　医療機器システム白書　2020. 2019 Dec: 12-15.	Review
50	竹原康雄	新規低侵襲画像診断法基盤開発研究寄附講座	4D-Flowを用いた流体解析	Rad　Fan 2019 Aug 17(10): 37-40.	Original Article
51	田岡俊昭	革新的生体可視化技術開発産学協同研究講座	目玉の焦点距離	JCRニュース(日本放射線科専門医会・医会誌) 228: 16.	Others
52	田岡俊昭	革新的生体可視化技術開発産学協同研究講座	特集1　MRI Evolution　2019～「測ってなんぼ！」MRIでの定量を考える～　序文	Rad　Fan　2019 Aug 17(10): 23.	Others
53	佐竹弘子	放射線科	MAMMO-PET MRIとの比較における乳房専用PET装置の有用性について	MEDICAl NOW　2019 Aug 86: 12-14.	Original Article

54	西田 謙登, 加藤 千秋, 横山 覚, 他	検査部　輸血部	自動血球洗浄装置「セルウォッシャーUltraCW II」の基礎的性能評価	医学検査　2020 Jan　69巻1号 Page82-88	Original Article
55	菊地 良介, 度會 理佳, 鈴木 敦夫,他	検査部　輸血部	VITROS XT 7600を用いた免疫感染症関連項目の比較検討 災害時における減災対策を目的とした臨床検査体制構築に向けて	医学検査　2020 Jan　69巻1号 Page54-62	Original Article
56	鈴木 敦夫, 池谷 均, 菊地 良介, 他	検査部　輸血部	フィブリノゲン抗原量測定試薬「ファクターオートフィブリノーゲン」のCS-5100用新規アプリケーション設定	医学検査　2019 Jul 68巻3号 Page519-524	Original Article
57	横山 覚, 菊地 良介, 服部 光,他	検査部　輸血部	エクルーシス試薬NSEの基礎的性能評価における検査前プロセス評価の重要性	医学検査　2019 Jul 68巻3号 Page564-569	Original Article
58	井上 結以, 鈴木 敦夫, 亀山 なつみ, 他	検査部　輸血部	トロンビン試薬の原材料変更によるフィブリノゲン測定への影響の検証	医学検査　2019 Jul　68巻3号 Page494-500	Original Article
59	内田広夫	小児外科	【技術認定取得医が解説する高難度内視鏡外科手術】胆道閉鎖症に対する腹腔鏡による肝門部空腸吻合術	小児外科 (0385-6313) 2019 Apr;51巻4号 Page393-398	Original Article
60	田井中貴久	小児外科	【指定難病ペディア2019】個別の指定難病　染色体・遺伝子関連　アラジール症候群[指定難病297]	日本医師会雑誌 (0021-4493)2019 Jun;148巻特別1 Page S303-S304	Others
61	田井中貴久, 内田広夫	小児外科	【腹腔鏡下肝胆膵手術の新時代-ラパロからロボティクスへ-】胆道　小児先天性胆道拡張症における腹腔鏡手術	肝・胆・膵 (0389-4991)2019 Jul;79巻1号 Page99-104	Original Article

62	田井中貴久, 内田広夫, 田中裕次郎, 他	小児外科	【外来必携フォローのポイント-いつまで何をみるか】中間位・高位鎖肛	小児外科 (0385-6313)2019 Jul;51巻7号 Page692-694	Original Article
63	小田紘久, 西尾光平, 北坂孝幸, 他	小児外科	少量のラベルデータを用いた学習によるイレウス症例CT像における拡張腸管の自動抽出	日本医用画像工学会大会予稿集2019 Jul; 38回 Page143-146	Original Article
64	西尾光平, 小田紘久, 千馬耕亮, 他	小児外科	小児腸閉塞患者のCT像におけるCycleGANを用いた電子洗浄手法の検討	日本医用画像工学会大会予稿集2019 Jul; 38回 Page426-429	Original Article
65	内田広夫, 田中裕次郎, 田井中貴久, 他	小児外科	【ピーンチ!私はこうして切り抜けた】胆道閉鎖症　腹腔鏡手術中に門脈から出血	小児外科 (0385-6313)2019 Oct;51巻10号 Page1020-1023	Original Article
66	内田広夫	小児外科	「最新の診断技術」によせて	日本外科学会雑誌 120(2):255.	Original Article
67	宮田茂樹, 板倉敦夫, 上田裕一, 他	血液内科	大量出血症例に対する血液製剤の適正な使用のガイドライン	日本輸血細胞治療学会誌 2019 Dec;65(1):2192	Others
68	山田章宏, 奥村朋子, 森本典行, 他	麻酔科	食道閉鎖症/気管食道瘻術後に発生した気管憩室により挿管後換気困難となった症例	日本臨床麻酔学会誌 2019 May:39(3):253-256	Case Report
69	山田 章宏, 禰宜田 武士, 岡本 真拓,他	麻酔科	慢性期脊髄損傷患者に対する精巣摘除術の監視下鎮静管理の経験	日本臨床麻酔学会誌 2019 Nov:39(7):653-656	Case Report

70	加藤太一	小児科	RASopathyと心血管異常	日小児循環器会誌.2019 May 35(2): 132-134.	Others
71	鮎澤 衛, 岩本眞理, 加藤愛章,他	小児科	日本小児循環器学会学校心臓検診　2次検診対象者抽出のガイドライン―1次検診の心電図所見から―(2019年改訂)	日小児循環器会誌.2019 Dec 35: S3.1-S3.12.	Others
72	夏目 淳	小児科	熱性けいれん　小児の救急・搬送医療	小児内科　増刊号 2019 Dec 51: 452-454.	Review
73	夏目 淳	小児科	熱性けいれん	小児コモン60疾患実践ガイドライン活用術 2019 Apr, pp183-186.	Review
74	夏目 淳	小児科	グルコーストランスポーター1(GLUT1)欠損症における脳MRI、PET所見特殊ミルク情報(先天性代謝異常症の治療)	(GLUT1)欠損症における脳MRI、PET所見特殊ミルク情報(先天性代謝異常症の治療) 2019 Dec 55: 30-32.	Review
75	菊地良介, 度會理佳, 鈴木敦夫, 他	医療技術部臨床検査部門	VITROS XT7600を用いた免疫感染症関連項目の比較検討 災害時における減災対策を目的とした臨床検査体制構築に向けて	医学検査 2020 Jan;69(1):54-62	Original Article
76	菊地良介, 度會理佳, 横山覚, 他	医療技術部臨床検査部門	5種類のcarbohydrate antigen 19-9測定試薬による相関及び膵臓がん診断能評価	医学検査 2020 Jan;69(2):184-192	Original Article
77	森 まどか, 山下 賢, 鈴木直輝, 他	脳神経内科	封入体筋炎患者を対象とするBYM338の後期第II相/第III相試験(RESILIENT)　日本人部分集団データ	臨床神経学 20119 Dec 59巻12号 Page806-813	Original Article

78	浦川浩, 新井英介, 生田国大, 他	化学療法部	誌上シンポジウム 骨軟部腫瘍の薬物治療アップデート 骨巨細胞腫に対するデノスマブ治療	臨床整形外科.2019 Jul;54巻7号 Page 665-670（解説）	Original Article
79	西田佳弘	リハビリテーション科	誌上シンポジウム 骨軟部腫瘍の薬物治療アップデート デスモイドに対する薬物治療	臨床整形外科.2019 Jul;54巻7号 Page 697-702（解説）	Original Article
80	西田佳弘	リハビリテーション科	Atypical NF, low grade MPNSTに対する手術的アプローチ	日本レックリングハウゼン病学会雑誌.2019 Jul;10巻1号 Page 4-6	Original Article
81	生田国大, 西田佳弘, 新井英介, 他	ゲノム医療センター	Joint Global Neurofibromatosis Conference報告	日本レックリングハウゼン病学会雑誌.2019 Jul;10巻1号 Page 27-29	Original Article
82	生田国大, 西田佳弘	ゲノム医療センター	【神経線維腫症1型（Recklinghausen病）の病態と治療：小児外科医のかかわり・役割】体表に発生した悪性末梢神経鞘腫症（MPNST）の手術成績	小児外科.2019 Dec;51巻12号 Page 1229-1232(解説/特集)	Original Article
83	西田佳弘	リハビリテーション科	【治療選択 誌上ディベート（第20回）】デスモイドの治療選択 保存治療VS手術保存治療の立場から：（解説）	Loco Cure.2020 Feb;6巻1号 Page 68-71（解説）	Original Article
84	中島 宏彰, 今釜 史郎, 安藤 圭, 他	整形外科	【頸椎を含めたグローバルアライメント】頭蓋から足部までの全身アライメント　人種間の違いと成人脊柱変形手術における矯正目標	臨床整形外科.2020 Mar,55巻3号 Page247-252	Review
85	安藤 圭, 今釜 史郎, 石黒 直樹,他	整形外科	【脊柱靱帯骨化症UP TO DATE】胸椎黄色靱帯骨化症に対する手術治療	脊椎脊髄ジャーナル.2020.Feb,33巻2号 Page139-143	Review

86	今釜 史郎, 安藤 圭, 小林 和克, 他	整形外科	【脊柱靱帯骨化症UP TO DATE】胸椎後縦靱帯骨化症の手術治療　最近の進歩	脊椎脊髄ジャーナル.2020.Feb,33巻2号 Page119-125	Review
87	神原俊輔, 小原徹哉, 齋藤敏樹, 他	整形外科	成長期における同種骨移植を用いた側弯症手術の検討	Journal of Spine Research.2019.Nov ,Vol. 10 No. 11, Page1519-1524	Original Article
88	今釜史郎	整形外科	【サルコペニア・フレイルの診療最前線】ロコモティブシンドロームとサルコペニア・フレイルに関するコホート研究	日本医師会雑誌第(2019.11),148巻第8号 Page1483-1487	Review
89	金村 徳相, 佐竹 宏太郎, 伊藤 研悠, 他	整形外科	【ついに始まった頸椎人工椎間板置換術】頸椎人工椎間板の適応と短期成績 Mobi-C	脊椎脊髄ジャーナル.2019.Nov, 32巻10号 Page919-928	Review
90	簗瀬 誠, 成瀬 隆弘, 松山 幸弘, 他	整形外科	【透析関連の整形外科疾患-病態と治療-】透析性脊椎症の病態、疫学および診断	関節外科.2019.May,38巻5号 Page489-499	Review
91	今釜 史郎	整形外科	【整形外科医が知っておきたい薬の知識-私はこう使う-】薬物の特性とその効果的処方　デュロキセチン	Orthopaedics.2019.May,32巻5号 Page121-126	Review
92	小林 和克, 今釜 史郎, 安藤 圭, 他	整形外科	【子どもの運動器障害-学校検診から日常診療まで】徴候・症状別の診察から診断まで　頸部痛,頸部可動域制限,斜頸をきたす病態と診察の仕方	整形外科.2019.May,70巻6号 Page527-532	Review
93	中島 宏彰, 金村 徳相, 佐竹 宏太郎, 他	整形外科	【脊椎脊髄外科の最近の進歩】各種疾患に対する治療法・モダリティ　成人脊柱変形における腰仙椎部固定術	整形・災害外科.2019.Apr, 62巻5号 Page613-621	Review

94	小林 和克, 今釜 史郎, 安藤 圭, 石黒 直樹	整形外科	【脊椎脊髄外科の最近の進歩】各種疾患に対する治療法・モダリティ　術中脊髄機能モニタリング	整形・災害外科.2019.Apr,62巻5号 Page521-528	Review
95	今釜 史郎, 安藤 圭, 小林 和克, 石黒 直樹	整形外科	【脊椎脊髄外科の最近の進歩】各種疾患に対する治療法・モダリティ　胸椎OPLLに対する手術法と手術成績　全国多施設前向き調査と自験例の検討	整形・災害外科.2019.Apr, 62巻5号 Page505-512	Review
96	大内田 隼, 金村 徳相, 佐竹 宏太郎, 他	整形外科	LIFとPPSを用いた腰椎固定術における腰椎局所アライメントの隣接椎間への影響	Journal of Spine Research.2019.Apr,10巻4号 Page825-828	Original Article
97	石川 喜資, 金村 徳相, 佐竹 宏太郎, 他	整形外科	脊椎疾患精査中に偶然血管病変が発見された3例	Journal of Spine Research.2019.Apr,10巻4号 Page808-811	Original Article
98	築瀬 誠, 成瀬 隆弘, 松山 幸弘, 他	整形外科	【透析関連の整形外科疾患-病態と治療-】透析性脊椎症の病態、疫学および診断	関節外科.2019.May, 38巻5号 Page489-499	Review
99	建部将広, 石井久雄, 平田仁	手の外科	骨折治療における医原性神経損傷	骨折,2020 Mar,42(2)680-682	Original Article
100	三竹 辰徳,栗本 秀,建部将広他	手の外科	基礎疾患が男性と女性の手根管症候群の臨床像に与える影響	日本手外科学会雑誌 2019 Nov,36(2)75－78	Original Article
101	三矢　聡, 三矢未来, 仲野隆彦, 他	手の外科	鎖骨近位端骨折に対する上腕骨遠位部用ロッキングプレート(DHP)とケーブルを使用した内固定法	中部整災誌,2019 Sep,62,825-826	Original Article

102	村山 敦彦, 太田 英之, 渡邉健太郎, 他	手の外科	重度複数指損傷に対して血管柄付き有茎 MP 関節移植による spare parts surgery で機能再建した 2 例	日本手外科学会雑誌 2019,36(2)138－142	Case Report
103	大石真由美, 高成啓介, 中村優,他	形成外科	2光子励起顕微鏡を用いたケロイド内コラーゲン線維の特性解析	瘢痕・ケロイド治療ジャーナル 2019 Jun13号 44-46	Original Article
104	亀井譲, 髙成啓介, 鳥山和宏	形成外科	四肢悪性腫瘍切除後の再建(解説)	日本整形外科学会雑誌 2019 Sep 93巻9号 637-640	Original Article
105	森島容子, 有沢優子, 神山圭史, 他	形成外科	【洗浄機能を有するNPWTの新展開】洗浄型局所陰圧閉鎖療法による細菌量の変化	形成外科 2019 Oct 62巻10号 1079-1086	Original Article
106	内堀貴文, 高成啓介, 神戸未来他	形成外科	ナビゲーションシステム支援下に行った顔面骨形成術の経験(症例報告)	形成外科 2020 Feb 63巻2号 206-214	Case Report
107	高成啓介, 内堀貴文, 中村優, 他	形成外科	形成外科領域におけるロボット手術の未来(解説)	形成外科 2020 Mar 63巻3号 379-386	Original Article
108	松田直之	救急・集中治療医学	敗血症においてどのようなメカニズムが回復や持続や終焉を導くのか？	救急医学 2020 Jan, 44:131-137	Review
109	松田直之	救急・集中治療医学	プロポフォールの適正使用に向けて	日臨麻会誌 2019 Dec, 39: 613-619	Review

110	松田直之	救急・集中治療医学	周術期におけるプロポフォールとPRIS ～小児に使用してはいけない～によせて	日臨麻会誌 2019 Dec, 39: 602	Review	
111	松田直之	救急・集中治療医学	麻酔科学と救急医学～場の成長と発展のために～	LiSA別冊 2020 Feb, 27:71-75	Review	
112	松田直之	救急・集中治療医学	敗血症の診断と治療	集中治療医学レビュー 2020-'21,2020 Mar,205-211	Review	
113	志馬伸朗, 松田直之, 他	救急・集中治療医学	集中治療室における薬剤師の活動指針	日集中医誌 2020 Feb, 27:244-7, 2020	Original Article	
114	松田直之	救急・集中治療医学	成人の敗血症性ショックの診療指針	救急・集中治療 最新ガイドライン 2020-'21, 2020 Mar, p79-83	Review	
115	沼口　敦　他	救急・内科系集中治療部	子どもの死亡の原因に関する情報の収集, 管理, 活用等 に関する体制, データベースの整備等に関する提言	日本小児科学会雑誌 2019 Apr 123(4) 789-790	Others	
116	沼口　敦　他	救急・内科系集中治療部	わが国における小児死亡の疫学とチャイルド・デス・レビュー制度での検証における課題	日本小児科学会雑誌 2019 Apr 123(11) 1736-1750	Others	計116件

（注）1　当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

（様式第 3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	(有)・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	(有)・無
・　手順書の主な内容 倫理審査委員会業務（利益相反マネジメント、試料等の保管、対応表の管理、有害事象、審査受託、教育等）及び　研究者の申請についての手順・方法等	
③　倫理審査委員会の開催状況	年　４３　回

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に〇印を付けること。
2　前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	(有)・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	(有)・無
・　規定の主な内容 利益相反の定義、教職員等の責務、委員会の組織等	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年　１２　回

（注）前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年　６　回
・研修の主な内容 「医療倫理の趨勢と当院の対応」、「倫理委員会の歩みとこれから」、「臨床介入研究の倫理審査：臨床研究法への対応を中心に」、「研究活動における不正行為の防止について」、「観察研究の倫理審査」、「臨床研究法施行から1年を越えて―法と指針の研究審査からみえてきたもの」	

（注）前年度の実績を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

各診療科に所属して、初期研修によって習得された基本的診療能力に上乗せされる、医師としての総合的診療能力の習得に加えて、当該診療科で実施されている先進的な医療に特化した研修を行うことで、医師としての広くかつ専門的経験を蓄積しながら、専門医資格の取得等を目指す後期研修を実施している。 また、新しい専門医制度の平成30年4月開始に伴い、全19領域の基幹病院として、日本専門医機構に提出した各領域のプログラムに基づき、専門医師資格の取得を目指す後期研修を実施している。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2　研修の実績

上記研修を受けた医師数	222人

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
佐藤　寿一	総合診療科	講師	34年	
葛谷　雅文	老年内科	教授	35年	
清井　仁	血液内科	教授	34年	
室原　豊明	循環器内科	教授	35年	
藤城　光弘	消化器内科	教授	25年	
橋本　直純	呼吸器内科	准教授	26年	
有馬　寛	糖尿病・内分泌内科	教授	32年	
丸山　彰一	腎臓内科	教授	31年	
勝野　雅央	脳神経内科	教授	25年	
江畑　智希	消化器外科一	教授	30年	
小池　聖彦	消化器外科二	病院准教授	32年	
古森　公浩	血管外科	教授	38年	
小倉　靖弘	移植外科	教授	29年	
菊森　豊根	乳腺・内分泌外科	講師	31年	
碓氷　章彦	心臓外科	教授	39年	
芳川　豊史	呼吸器外科	教授	23年	
亀井　譲	形成外科	教授	35年	
内田　広夫	小児外科	教授	31年	
西脇　公俊	麻酔科	教授	36年	
高橋　義行	小児科	教授	28年	
梶山　広明	産科婦人科	准教授	25年	
尾崎　紀夫	精神科	教授	38年	
今釜　史郎	整形外科	教授	23年	
伊藤　逸毅	眼科	准教授	28年	
秋山　真志	皮膚科	教授	34年	
加藤　真史	泌尿器科	准教授	24年	
曾根　三千彦	耳鼻いんこう科	教授	33年	
長縄　慎二	放射線科	教授	33年	

西村　由介	脳神経外科	講師	19年	
後藤　縁	救急科	病院講師	12年	
西田　佳弘	リハビリテーション科	教授	32年	
日比　英晴	歯科口腔外科	教授	33年	
下山　芳江	病理部	准教授	23年	
八木　哲也	中央感染制御部	教授	32年	
早川　昌弘	総合周産期母子医療ｾﾝﾀｰ	病院教授	32年	
安藤　雄一	化学療法部	教授	30年	
錦織　宏	卒後臨床研修・ｷｬﾘｱ形成支援ｾﾝﾀｰ	教授	22年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

①　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
【看護部】 ・研修の主な内容 　看護部は、専門職として自律し、主体的に看護活動ができる看護師の育成を目指して、研修・教育を実施している。新人を対象とする卒後臨床研修制度は，①基礎的な看護の知識・技術・態度の習得を図る、②看護師としての実践力を身につけること，を目標としている．この制度の研修の１つにフィジカルアセスメントを中心とした savinglifeナース育成研修がある．これは患者の変化を早急に気づき、患者の早期回復に向けた看護実践ができる看護師を育成するための研修である．看護職員全員が3年間をかけてこの研修を修了している． 　この他に，高度急性期病院の役割を果たすための病院研修として救命講習会があり，全職員が2年に１度一次救命講習会に参加している．また，手術室，集中治療室等，ハイリスクエリアと定めた部門の職員は，2年に１度二次救命講習会に参加している．全看護職員は，2年間をかけこの講習会に参加している． ・研修の期間・実施回数 2019年4月～2020年3月 40のプログラム、延べ451時間 一次救命、二次救命講習会は8回開催 ・研修の参加人数 延べ3182人
②　業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 【臨床研究セミナー】 　臨床研究を担う人材の育成を目的とし，先端医療・臨床研究支援センターが毎月１，２回程度開催している。臨床研究に従事する職員（医師及び歯科医師含む），研究者，大学院生等を対象としている。講習内容は毎回異なり，法規，知財，モニタリング等，多岐に渡るテーマでセミナーを実施している。 ・研修の期間・実施回数 　１セミナーにつき１時間半 　令和元年度は延べ１９回開催した。（DVD上映でのセミナー６回を含む） ・研修の参加人数 　令和元年度は延べ２，７５９名が受講した。（DVDでの受講者４０９名を含む）
③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

（注）1　高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。
（注）2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

（様式第 5）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	１．計画　　(2) 現状
管理責任者氏名	病院長　小寺　泰弘
管理担当者氏名	副病院長、患者安全推進部長　長尾　能雅 病院長補佐、メディカルITセンター長　白鳥　義宗 病院長補佐、薬剤部長　山田　清文 総務課長　壬生　篤志 医事課長　古川　一広

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	・疾病分類 ICD-10 ・管理形態 外来カルテ・入院カルテ 1患者1電子カルテで中央管理(一部紙媒　体にて保存) ・持ち出しに関する取扱い 診療録の持ち出しは原則禁止としている。エックス線写真の持ち出しは,名古屋大学医学部附属病院病歴等管理要項第12及び第13のとおりの取扱とする。(別添参照)
		各科診療日誌	中央管理	
		処方せん	中央管理	
		手術記録	中央管理	
		看護記録	中央管理	
		検査所見記録	中央管理	
		エックス線写真	中央管理	
		紹介状	中央管理	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	中央管理	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事労務課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営企画課，医事課	
		高度の医療の研修の実績	人事労務課	
		閲覧実績	総務課，医事課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課，薬剤部	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	患者安全推進部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	患者安全推進部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	患者安全推進部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	患者安全推進部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	患者安全推進部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	患者安全推進部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	患者安全推進部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	患者安全推進部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	経理課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経理課，臨床工学技術部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経理課，臨床工学技術部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経理課，臨床工学技術部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	患者安全推進部	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	患者安全推進部	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	患者安全推進部	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	メディカルITセンター	
		医療安全管理部門の設置状況	患者安全推進部	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部	
		監査委員会の設置状況	総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	患者安全推進部	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	患者安全推進部	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者安全推進部	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	監査室	
		職員研修の実施状況	患者安全推進部	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課	
		管理者が有する権限に関する状況	総務課	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

名古屋大学医学部附属病院病歴等管理要項

（趣旨）

第１　名古屋大学医学部附属病院（以下「病院」という。）における病歴等の管理については，この要項の定めるところによる。

（目的）

第２　病歴等の管理は，医学部，大学院医学系研究科及び本院（以下「病院等」という。）における診療・教育及び研究に資することを目的とする。

（定義）

第３　この要項において病歴等とは，本院の患者に係る診療録，X 線フイルム及びそれらの付属書類（以下「診療録等」という。）をいう。

（退院時要約の作成）

第４　全診療科において医師は，全退院患者についての退院時要約を作成する。

２　退院時要約の作成は，退院後 14 日以内とする。

（プライバシーの確保）

第５　病院等の職員及び診療録等の閲覧又は貸出（以下「閲覧等」という。）を希望する者は，次に掲げる事項を遵守しなければならない。

一　診療情報の秘密保護に関する事項

二　患者情報等の秘密保護に関する事項

三　複写の禁止に関する事項

四　データの保護に関する事項

五　その他診療録等の情報管理に関する事項

（診療録等の管理区分）

第６　診療録等の管理は，メディカル IT センター病歴管理部門（以下「病歴管理部門」という。）が行う。ただし，通院中の外来患者に係る電子媒体に記録された診療録以外の診療録等（以下「外来診療録等」という。）は病歴管理部門が管理し，入院中の患者に係る電子媒体に記録された診療録以外の診療録等は，各病棟が管理する。

２　電子媒体上に記録されていない，他院で記載された診療情報提供書等の診療情報及び本院において指定用紙等に記載された，証明書等（診断書，証明書，同意書等）については，電子媒体上に取込み後，原本を保管する。

（診療録等の管理責任者）

第７　診療録等を適正に管理するため，診療録等管理責任者（以下「管理責任者」という。）を置き，メディカル IT センター長をもって充てる。

（診療録等の保存）

第８　診療録等の保存期間は，次のとおりとする。

一　外来診療録，入院診療録等　受診した診療科の最終受診日から５年間

二　診療録等をマイクロフイルム化及び電子化したもの　永久

２　診療録等の保管方法及び保存期間を経過した診療録の取扱いについては別に定める。

（診療録等の閲覧及び貸出）

第９　診療録等は，原則として診療，教育・研究，公法上の規定及び医事調査等による目的以外は

閲覧等を許可しないものとする。

2　診療録等の閲覧等及び検索に係る遵守事項については，別に定める。

3　診療に必要な外来診療録，入院診療録等は各診療科の依頼に応じ，病歴管理部門が迅速に提供する。

（診療録等の閲覧等の資格）

第10　診療録等の閲覧等ができる者は，次の者とする。

一　病院等に所属し，診療に従事している医師及び歯科医師

二　診療従事者として病院長の承認を得た医師及び歯科医師

三　前各号に掲げる者のほか，病院長又は管理責任者が許可した者

2　法令等の定めにより，診療録等の提出を必要とする場合の閲覧等については，別に定める。

（診療録等の閲覧等の申請及び許可）

第11　病歴管理部門が管理する診療録等の閲覧等を希望する者は，病歴管理部門が管理する「診療録等閲覧・貸出申込書」（以下「申込書」という。）を病歴管理部門に提出し，許可を得るものとする。

2　病歴管理部門は，前項の申込書を受理した場合は，閲覧等の資格及び利用目的を確認し，適当であると判断した場合に閲覧等を許可するものとする。

3　閲覧は病歴管理部門閲覧室で行うこととし，貸出は病院等の範囲内とする。

（X線フイルムの院外貸出）

第12　前条第3項の規定にかかわらずX線フイルムの院外貸出については，次に掲げる要件を満たす場合に許可することができるものとする。

一　都道府県及び市町村の条例等により，公費負担医療受給申請書等にX線フイルムの添付が求められている場合の患者（患者が未成年の場合の保護者を含む。以下「患者等」という。）への貸出

二　労災認定等の資料としてX線フイルムの提出が求められている場合の労働基準監督署への貸出

三　診療上の必要事由による他の医療機関への貸出

2　X線フイルムの患者等への貸出の判断は，当該患者が受診している診療科の主治医が行うものとし，主治医が退職している場合にあっては，当該診療科長が判断する。

（診療録等の閲覧等の期間）

第13　診療録等の閲覧等の期間は14日間とする。ただし，再入院患者の前回入院診療録等は退院日までとする。

2　X線フイルムの院外貸出期間は，前項の規定にかかわらず原則として次のとおりとする。

一　公費負担医療受給申請及び労災に係るもの　1月以内

二　その他のもの　2週間以内

3　閲覧等の期間終了後もなお閲覧等の必要がある場合は，病歴管理部門の許可を得るものとし，継続できる閲覧等の期間は，前回の閲覧等期間満了日から14日以内とする。

4　閲覧等の期間内であっても，診療上，当該診療録等が緊急に必要となった場合は，直ちに返却するものとする。

5　病歴管理部門が管理する診療録等は，病歴管理部門内の所定の場所に返却するものとする。

（時間外及び休日等の閲覧等）

第 14　土曜日，日曜日，祝祭日及び 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日における病歴管理部門が管理する診療録等の閲覧等については，あらかじめ許可を得ているものを除き，診療上，当該患者の診療録等が緊急に必要な場合にのみ許可する。

2　前項により病歴管理部門が管理する診療録等の閲覧等を行う者は，当該診療録等の所在確認のため，申込書に必要事項を記載して所定の整理箱に投函しておくものとする。

3　前項により病歴管理部門が管理する診療録等の閲覧等を行う場合は，閲覧等を行う者が警務員室から病歴管理部門の鍵の貸出を受けて入室し，退出時は消灯，施錠等の確認を行い，貸出を受けた鍵は退出後速やかに警務員室に返却するものとする。

（雑則）

第 15　この要項の実施に関し必要な事項は，名古屋大学医学部附属病院病歴管理委員会の議を経て病院長が定める。

附　則

この要項は，平成 16 年 4 月 1 日から実施する。

附　則

この要項は，平成 22 年 3 月 10 日から実施する。

附　則

この要項は，平成 24 年 4 月 11 日から実施し，平成 24 年 4 月 1 日から適用する。

附　則

この要項は，平成 28 年 9 月 14 日から実施する。

（様式第 6）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	１．計画　　(２．)現状	
閲覧責任者氏名	総務課長　壬生　篤志	
閲覧担当者氏名	総務課病院事務係長　水野克彦	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要 病院の管理及び運営に関する諸記録は、公文書等の管理に関する法律の規定に基づき、保有する法人文書ファイルとして、名称、保存期間、文書管理者、保存場所、その他の事項を記載した法人文書ファイル管理簿を作成し、一般の閲覧に供するとともに、公表しています。		

（注）既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延　　０　件
閲覧者別	医師	延　　件
	歯科医師	延　　件
	国	延　　件
	地方公共団体	延　　件

（注）特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第１条の11第１項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・　指針の主な内容： ・　患者安全管理に関する基本的な考え方 ・　組織に関する基本的事項 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 ・　事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ・　医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ・　患者との間の情報の共有に関する基本方針 ・　患者からの相談等への対応に関する基本方針	
②　医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・　設置の有無（(有)・無　） ・　開催状況：年　21　回 ・　活動の主な内容： 医療事故発生の防止に努め、かつ、発生した医療事故への適切な対応及び病院全体の医療の質向上を積極的に図るため、次の事項を審議する。 ・　医療事故の防止及び医療安全推進に関する事項 ・　医療上の紛争処理に関する事項 ・　医療の質向上に関する事項	
③　医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年　31　回
・　研修の内容（すべて）： ・　全職員、外注業者を対象として、「名大病院の安全文化　そして、IPSG 1をもう一度！」「インフォームドコンセントについて」「国際患者安全目標(IPSG)　現状・課題・改善策　IPSG.1 IPSG.2 2.1 2.2 IPSG.6 6.1」「減らそう患者誤認！いま多いのは、これだ！」等をテーマとした研修を実施 ・　TeamSTEPPS研修（導入コース）を計4回実施し、2,748名が受講した ・　TeamSTEPPS研修（アドバンストコース）を計5回実施し、402名が受講した ・　新規・中途採用職員を対象として、採用時に医療安全ポケットガイドの内容について研修を実施 ・　平成28年度からは、各種会議で患者安全推進部から周知した重要伝達事項について、各職員の理解度を確認するため、簡易なテストを実施し、解説を行っている。	
④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医療機関内における事故報告等の整備　（(有)・無　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： ・各部門とのインシデント検討会にて報告事例を審議し、改善に結びつける。(42回開催) ・重大事故に関しては外部委員主導の事故調査委員会などを開催し、そこで得られた分析結果や提言を踏まえ、再発防止に結びつける。(3回開催) ・多職種が関連した事例等については、カンファレンス形式による検討会を開催し、改善に活かしている。(2回開催) ・インシデント報告総件数（12445件）	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第１号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①　院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： ・　院内感染対策に関する基本的な考え方 ・　院内感染対策のための委員会と組織 ・　院内感染対策のための従業者に対する研修に関する事項 ・　感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・　院内感染発生時の対応に関する基本方針 ・　病院感染リスクアセスメントに基づいた感染対策の立案 ・　抗菌薬適正使用の推進	
②　院内感染対策のための委員会の開催状況	年　12　回
・　活動の主な内容： 院内感染の防止に努めるとともに、発生した感染事例について適切な対応を図る。これらの活動のため、次の事項を審議する。 ・　院内感染の予防及び対策等に関する事項 ・　患者の取扱に関する事項 ・　医療従事者への感染予防に関する事項 ・　その他院内感染、難治感染症対策及び抗菌薬適正使用に関する事項	
③　従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年　22　回
・　研修の内容（すべて）： ・　全職員、外注業者を対象として、「院内感染対策と抗菌薬適正使用について」「手指衛生直接観察と患者アンケート結果」「大阪医療センターにおけるCREアウトブレイクの経験」等をテーマとした研修を実施 ・　清掃業者を対象として、「清掃のプロフェッショナル」をテーマとした研修を実施 ・　新規・中途採用職員を対象として、採用時に「針刺し・血液体液曝露」などをテーマとした研修を実施	
④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・　病院における発生状況の報告等の整備　（(有)・無　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： ・　全病棟と外来、部門を対象に感染対策の知識、手指衛生などの感染対策の実施状況、環境整備のチェックを中心としたICTラウンドの実施 ・　MRSAなどの薬剤耐性菌等の新規検出症例数の独自介入基準を設け、基準に合致した部署に対して手指衛生観察巡回などを実施し、手指衛生や感染経路別対策感染対策の強化を図っている ・　NICUとの定期的なミーティングの実施、SICU/EMICUのミーティングへの参加 ・　抗菌薬適正使用の推進を目的とした薬剤部とのミーティング ・　診療科横断的な感染症症例コンサルテーションと血液培養陽性例への介入 ・　4職種の実務的メンバーによるICTコアミーティングを週1回行い、全病院的に感染対策が漏れなく実施されるよう検討・管理している	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第２号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年　6　回

・　研修の主な内容：
・医師・歯科医師・看護師・薬剤師・臨床工学士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を対象とした医薬品の安全使用に係る研修(薬剤の管理と使用について：ハイアラート薬の管理、薬剤の保管管理、室温・湿度管理、救急薬剤の管理)を実施した。
・医師・歯科医師・看護師・薬剤師・臨床工学士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を対象とした医薬品の安全使用に係る研修(薬剤の管理と使用：神経麻酔分野における誤接続防止コネクタ製品の導入｜薬剤関連注意事項、注射・処方オーダーの入力時間、内用薬・外用薬返却方法の注意点、定数配置薬使用時の注意点)を実施した。
・入職時職員を対象とした研修（入職時オリエンテーション：医薬品）を実施した。
・中途採用者を対象とした研修（入職時オリエンテーション：医薬品）を実施した。
・新任看護師を対象とした研修（薬剤管理①、薬剤管理②）を実施した。
・研修医を対象とした研修（薬剤安全プログラム・医薬品の取り扱いについて）を実施した。

③　医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・　手順書の作成　　（(有)・無　）

・　手順書の内訳に基づく業務の主な内容：
医薬品安全管理責任者の業務に関する事項、医薬品の採用・購入に関する事項、医薬品の管理に関する事項、患者に対する投薬指示から調剤に関する事項、患者に対する与薬や服薬指導に関する事項、医薬品の安全使用に係わる情報の取り扱いに関する事項、ハイアラート薬の取り扱い、名称類似および外観類似薬の取り扱い、他施設との連携に関する事項、適応外の使用、禁忌等の処方に係わる確認および指導に関する事項、院内製剤の取り扱いに関する事項、外来化学療法に関わる事項、重大な有害事象の予防・対応に関する事項、医薬品関連の情報システムに関する事項、医薬品の安全使用のための業務手順書に基づく業務の遂行に関する事項

④　医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医薬品に係る情報の収集の整備　　（(有)・無　）
・　未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：

2019年6月、カナダにおいてゲンチアナバイオレットの発がんリスクが認定され、関連製品の回収措置がとられた。これを受けて、本邦では一般用医薬品である0.2%ピオクタニン液「ホンゾウ」の販売が中止された。当院では試薬を用いた院内製剤ピオクタニン液がマーキング・染色・消毒の目的で使用されている。未承認薬使用申請をしている診療科(心臓外科、耳鼻いんこう科、皮膚科、消化器内科、歯科口腔外科)に今後の方針を確認した。
院内製剤ピオクタニン液の今後の方針回答は、ピオクタニン液の継続使用を希望は4申請（心臓外科（2申請）、消化器内科、歯科口腔外科)、ピオクタニン液の使用中止を希望は2申請（耳鼻いんこう科、皮膚科）であった。
院内製剤ピオクタニン液が未手続のまま使用している診療科があることを確認し、これを機に使用を継続するすべての診療科は必要な手続きを経て、承認を得るよう案内をすることとした。医薬品安全管理責任者、未承認新規医薬品等評価委員会委員長、医療安全管理責任者からの依頼として、各診療科のPatient Safety Managerに使用実態と今後の方針を確認した。また、使用を希望する診療科は未承認薬使用申請の手続きを行うよう案内した。消化器外科1、消化器外科2、形成外科、脳神経外科から使用希望の連絡があり、新規使用申請の手続きを依頼した。
ピオクタニン液の発がん性については説明文を説明同意文書に追記することとなった。その説明文は消化器内科と未承認新規医薬品等管理室それぞれで作成したピオクタニンの発がん性についての説明文案より検討し、患者安全推進部所属の弁護士にご意見を聞き、説明文を作成した。
薬剤部製剤室より院内製剤1%ピオクタニン液について、中央手術室、外来手術室、光学診療部の定数配置を3月末にて中止すること、使用申請をされた診療科のみに払出すこと、2020年4月以降継続して使用する診療科は事前（2日前まで）に患者毎に院内製剤処方にてオーダーすることを案内した。

院内製剤ピオクタニン液未承認薬使用の新規申請（消化器外科1、消化器外科2、形成外科、脳神経外科）、変更申請（説明同意文書へ説明文追加）（消化器内科、心臓外科(2申請)、歯科口腔外科）について審査され、承認となった。

・　その他の改善のための方策の主な内容：
・薬剤部のペイシェントセーフティマネジャーおよび病棟担当薬剤師が、診療科（部）、病棟、中央診療施設などにおいて、医療の質・安全管理部と連携して、各部署内における医薬品の安全管理に関する指導を行っている。
・医薬品に係わる適正使用に関する情報や副作用情報を薬事委員会や患者安全推進委員会等で報告している。
・必要に応じて薬品情報室から安全使用のための情報を文書にて各病棟、外来診療科、その他の部署に配布するとともにメールにて配信している。さらに、電子カルテのDI参照のお知らせ画面、薬剤部ウェブサイトにも安全使用のための情報を掲載し職員への周知徹底に努めている。
・重要度の高い情報については、電子カルテのトップページや院内広報：薬剤部ページにも掲載している。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第３号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	随時
・　研修の主な内容： ・人工呼吸器・除細動器など特に安全使用に際して技術の習得が必要と考えられる機器に関して、医療機器総合管理部が年2回実施。 ・放射線部門にて直線加速器と放射線照射装置に関する年2回の定期研修を実施。 ・その他の医療機器についても各部署にて適宜勉強会を実施。 （随時実施） ・新卒者のオリエンテーションにて、医療機器の安全使用のための研修を実施。 ・研修医や看護師を対象に臨床工学技士・メーカーによる研修の実施。	
③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・　医療機器に係る計画の策定　（(有)・無　） ・　機器ごとの保守点検の主な内容： 医療機器の管理を医療機器管理ソフトにて行っており、購入日・使用場所・保守点検状況等の管理を行っている。 ・臨床工学技士が生命維持管理装置（人工心肺・血液浄化・不整脈・心臓カテーテル・OPE・ICU関連）の操作・保守点検・管理を行っている。 ・院内で中央管理する機器の定期点検は電気安全解析装置などのシミュレーターを用いて実施している。また交換パーツについてはメーカー講習会を受講し、供給を受けて院内で行っている。 ・ダヴィンチやX線撮影装置など保守契約を結んでいるものについては、機器の空き状況を確認し実施している。 ・手術室に委託業者が常駐して医療機器の日常点検や不具合発生時の対応などを行う、医療機器保守管理業務契約を締結している。 ・その他医療機器についても、必要に応じ定期点検等の保守契約を結んでいる。	
④　医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医療機器に係る情報の収集の整備　（(有)・無　） ・　未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・未承認については、生体分解性食道ステントを適用外使用した事例。 小児のC型食道閉鎖症術後吻合部狭窄に対してバルーン拡張術を実施しても改善が見られない症例。成人ではこの場合食道ステント治療が実施されるが、小児に適した製品が存在しない。米国など海外において承認され、良性の食道狭窄に対して使用されている生体分解性食道ステントの最も小さな規格であれば小児患者にも使用可能であるが、国内では未承認である。既に100回以上のバルーン拡張術が行われており、食道壁の裂傷、穿孔を生じていたためバルーン拡張術の継続実施が困難と判断し、生体分解性食道ステント留置を行った。 ・適用外については、令和元年度の実績はない。 ・　その他の改善のための方策の主な内容： PMDAやメーカー、納入業者からの報告を受理し、CEニュース（臨床工学技術部による院内広報）や医療機器総合管理部が発出するMDI（Medical Device Information）通知メール、電子カルテに掲載するなど電子媒体を利用して関連部署での情報共有を実施している。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第９条の２０の２第１項第１号から第１３号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者を配置しており、患者安全推進部長、患者安全推進委員会委員長を務め、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 12 名）・無

③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況

・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況

医薬品情報は、整理した上で薬事委員会月例報告として院内へ周知している。周知状況の確認は、各診療科の薬事委員が周知完了報告を薬剤部薬品情報室に提出することにより行っている。また、各診療科の周知状況は薬事委員会にて報告している。

・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況

（適応外）

適応外については、薬品情報室が未承認新規医薬品等評価委員会で承認した適応外使用医薬品を「適応外投与（承認）一覧」として部内に配信し情報を共有している。薬剤師は処方監査時に適応外使用を把握した場合は、患者への説明及びカルテへの記載が必要であること、未承認新規医薬品等評価委員会への申請が必要であることを医師に指導して記録を残している。

（禁忌）

禁忌処方をチェックするシステムは電子カルテ上にあり、医師が処方確定時にアラートが表示される。また、薬剤部で印字された処方せんの下部にもアラートが印字される。薬剤師は処方監査時にこのアラート情報を確認し、個別に医師へ連絡し、当該医師の対応方針を確認した後に記録を残している。

（未承認薬）

未承認薬は未承認新規医薬品等評価委員会へ申請し承認を得た上で使用されている。副作用報告や個別の経過報告を行っている。

未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門については、「名古屋大学医学部附属病院未承認新規医薬品取扱要項」および「名古屋大学医学部附属病院未承認新規医薬品等評価委員会に関する要項」を制定した。

・担当者の指名の有無（有・無）

・担当者の所属・職種：

（所属：薬剤部　，職種　薬剤師　　）　（所属：　　，職種　　）

（所属：　　，職種　　）　（所属：　　，職種　　）

（所属：　　，職種　　）　（所属：　　，職種　　）

（所属：　　，職種　　）　（所属：　　，職種　　）

④　医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無　（有・無　）

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：目的、方針、適応範囲、定義、役割と責任、遵守と監視、手順、説明と同意の種類、説明と同意の確認のプロセス、説明・同意書の文書様式、説明及び同意に関し問題が起こった場合、等

⑤　診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

「診療録等内部監査要項」に基づいてカルテ記載の確認し、その結果を毎月病歴管理委員会で報告をしている。該当診療科の病歴管理委員へフィードバックし診療情報の精度向上に努めている。

⑥　医療安全管理部門の設置状況	有・無

・所属職員：専従（9）名、専任（　）名、兼任（8）名

うち医師：専従（3）名、専任（　）名、兼任（5）名

うち薬剤師：専従（1）名、専任（　）名、兼任（1）名

うち看護師：専従（3）名、専任（　）名、兼任（　）名

（注）報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること

・　活動の主な内容：

- 全部門からのインシデント・アクシデント情報の集積と分析
- 院内の伝達会議、安全研修、学生教育等による周知、啓発
- 重大アクシデントに対し，病院全体で対応できる治療連携体制の起動
- 医療事故に対する第三者による事例検証（医療事故調査）
- 適切なインフォームド・コンセント体制の整備

※　平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※　医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦　高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況
・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（4 件）、及び許可件数（4 件） ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無　） ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無　） ・活動の主な内容： ・　申請内容を確認するとともに、委員会に対し提供の適否等について意見を求める。 ・　部門の長は、委員会の意見を踏まえ提供の適否等について決定し診療科長へ通知。 ・　部門の長は、適正な手続きに基づいて提供されたかについて、定期的、又は患者が死亡した場合には、手術記録、診療録等の記載内容を確認。 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ・ 無　） ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有 ・ 無　）

⑧　未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況
・医薬品における前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数(0 件)、及び許可件数(0 件) ・医療機器における前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数(1 件)、及び許可件数(1 件) ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無　） ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無　） ・活動の主な内容： (医薬品の場合) 診療科の申請医師は申請書類を薬剤部未承認新規医薬品等管理室に提出する。未承認新規医薬品等管理室の薬剤師は申請書類(申請書、説明同意文書、確認表)と引用文献等の内容を確認し、疑義等について申請者に回答の依頼をする。その後、未承認新規医薬品等評価委員会にて評価委員が申請内容を審査する。事前に評価委員から指摘事項等を挙げ、その内容を申請医師に連絡する。申請医師は書類の修正等委員会前にできるだけ対応し、未承認新規医薬品等評価委員会で申請内容の説明、指摘事項等の回答等をする。 申請が適当と判断され、患者に使用された後、申請医師は定期的に経過報告書を提出する。未承認新規医薬品等管理室の薬剤師は、同意の取得、副作用がモニタリングされているか等遵守状況ついて確認を行う。

（医療機器の場合）

未承認新規医療機器等の使用の適否及び使用条件について、医療機器選定委員会にて審議した。使用医療機器の必要性や安全性、患者への同意書の内容について重点的に審議した。また、過去に承認し、継続的に使用している未承認新規医療機器についても、使用状況、不具合事例がなかったかを審議した。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）
・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 （ 有・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 335 件
・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 237 件
・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
死亡状況の確認及び審議

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（ 有（病院名：琉球大学医学部附属病院） ・無）
・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有（病院名：新潟大学医歯学総合病院） ・無）
・技術的助言の実施状況

医療安全について、「明確なオカレンス報告基準に沿った報告の実施、全死亡事例の迅速な検証、モニタリングについては共同優先事項と測定項目に基づく Quality Indicator として部署ごとに掲げられ、PDCA サイクルによる改善が行われている」との助言を受け、引き続き医療安全体制の質向上に努めている。

高難度新規医療技術について、「審査対象は保険適応外の技術のみであり保険適応内の技術は審査対象とならないとのことであったが、外保連試案の技術難易度Ｅの技術等も今後審査対象とすべき」との助言を受けた。

しかし、本院の手術手技専門審査委員会要項において、高難度新規医療技術等の範囲は「外保連試案の技術難易度区分Ｅに該当する手術手技または同区分Ｄに該当する手術手技のうち特に難易度が高いと判断されるもの」または「健康保険法が適用されない手術手技」と明記されており、事務部において外保連試案の技術難易度区分Ｄ又はＥに属し、かつ本院では実施していない手術手技一覧「本院における未実施手術手技一覧表」を作成し、診療科と相互確認を行っている。したがってピアレビュー時に「申請の対象となるのは保険適用外の技術のみ」と回答したのは当時の担当者の事実誤認であり、従来から保険適応内の技術についても申請の対象となっているため、引き続き高難度新規医療技術の審査の適切な実施に努めている。

⑪　当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況
・体制の確保状況 地域連携・患者相談センター：相談窓口にて一次対応を行なっている。 安全管理に関連する事案については、患者安全推進部と連携しながら適切に応じる体制を整えている。 各種相談については、担当者が対応。 地域連携・患者相談センター：相談員　３名、ＭＳＷ　１１名、看護師　１０名

⑫　職員研修の実施状況
・研修の実施状況 ・全職員、外注業者を対象とした研修で、インフォームドコンセント、公益通報窓口の設置等について説明を行った。 ・TeamSTEPPS研修を計9回実施し、3,150名が受講した。 ・新規・中途採用職員を対象として、採用時に医療安全ポケットガイドの内容について研修を実施。 ・平成28年度からは、各種会議で患者安全推進部から周知した重要伝達事項について、各職員の理解度を確認するため、簡易なテストを実施し、解説を行っている。 ・e-learning研修を導入し、研修実施後の学習効果の測定を行っている。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬　管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・研修の実施状況 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「2019 年度特定機能病院管理者研修」を受講した。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

規則第７条の２第１項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・ 基準の主な内容 １．人格が高潔で，学識が優れ，医学部附属病院内外の信頼を得ることができる者であること。 ２．医学部附属病院等における学生への教育，学術研究及び社会貢献に関して，調和のとれた運営を行うことができる者であること。 ３．医学部附属病院の運営にあたり，構成員の意見に耳を傾けつつ，迅速な意思決定を行う強い指導力を発揮することができる者であること。 ４．診療，臨床教育，臨床研究など大学病院特有のミッションに精通し，医療機関の管理者としてリスク対応を含めた高いマネジメント能力を持ち，多職種からなる構成員に対して，優れたリーダーシップを発揮できる者であること。 ５．医療安全管理業務の経験並びに医療安全を第一に考える姿勢及び指導力を備え，医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者であること。 ６．医学部附属病院の安定的財政基盤の確立と効率的な組織編成を実現できる総合的運営能力を有する者であること。 ７．国際的な視野を持って医学部附属病院の運営を行うことができる者であること。 ８．医学部附属病院の現状を正確に分析するとともに，中長期的な目標に向かって将来ビジョンを具体的かつ明確に示し，全学及び医学部附属病院の課題について，総長と連携して取り組むことができる者であること。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 ホームページにて公表

規則第７条の３第１項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長（〇を付す）	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第９条の２３第１項及び第２項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有　無

・合議体の主要な審議内容
病院の経営，管理及び人事に関する企画，立案及び方針を決定する。

・審議の概要の従業者への周知状況
病院部長会において各診療科長に報告するとともに、病院連絡会において各医局長に決定事項を周知している。

・合議体に係る内部規程の公表の有無（　有　無）
・公表の方法

・外部有識者からの意見聴取の有無（　有　無）

合議体の委員名簿

氏名	委員長 （○を付す）	職種	役職
小寺　泰弘	○	医師	病院長
西脇　公俊		医師	副病院長
曾根　三千彦		医師	副病院長
丸山　彰一		医師	副病院長
長尾　能雅		医師	副病院長
藤井　晃子		看護師	副病院長
永家　清考		事務	副病院長
安藤　雄一		医師	病院長補佐
松下　正		医師	病院長補佐
白鳥　義宗		医師	病院長補佐
山田　清文		薬剤師	病院長補佐
安藤　善孝		臨床検査技師	医療技術部長

規則第１５条の４第１項第１号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

・　管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（　有・無　）
・　公表の方法
名古屋大学ホームページに掲載

・　規程の主な内容

病院長の権限に関する内容は下記のとおり

・病院長は，病院の管理，運営をつかさどり，所属職員を統督する。
・病院長は，病院で行われる診療について，その実施状況の報告を求め，又は自ら調査し，必要に応じて是正又は停止を命ずることができる
・部長，科長，センター長，部門長等（以下「部長等」という。）の任命は，病院長が行う。
・病院長は，部長等が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは，これを免ずることができる。
　一　勤務実績がよくない場合
　二　心身の故障のため職務の遂行に支障があり，又はこれに堪えない場合
　三　その他必要な適性を欠く場合
・部長等は，別に定める手続きを経ることなく，その意に反して免ぜられることはない。
・病院長は，第4項の規定により部長等を免じたときは，その理由を明らかにしなければならない。

・　管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副病院長は，病院長から指示された具体的な事項を担当し，及び病院長が海外渡航等で不在の場合は，あらかじめ病院長が指名した副病院長が，病院長の職務を代行する。
副病院長は，病院長の職務を円滑に遂行させるため，病院の管理・運営等に関する企画・立案にかかわるとともに，広報の職務又は病院の教育・研究・診療にかかわる職務を分担する。
病院長補佐は，病院全体の立場に立ち，病院の管理・運営等に関し提案された企画立案等を検討し，病院長に提言する。

・　病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「2019年度特定機能病院管理者研修」を受講。
新任部課長が、国立大学病院長会議が開催する「国立大学病院新任部課長研修」を受講。

規則第１５条の４第１項第２号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有・無

・監査委員会の開催状況：年　２　回

・活動の主な内容：

以下に掲げる事項を監査する。

・医療安全管理に係る体制

・医療安全管理責任者，医薬品安全管理責任者，医療機器安全管理責任者等の業務の状況

・医療の質・安全管理部の業務の状況

・医療の質向上と安全推進委員会の業務の状況

・その他医療安全管理に関して必要な事項

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）

・委員名簿の公表の有無（有・無）

・委員の選定理由の公表の有無（有・無）

・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無）

・公表の方法：

名古屋大学医学部附属病院ホームページにおいて公開

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
柵木　充明	愛知県医師会	○	愛知県医師会長を務めており，医療安全に精通しているため。	有・無	1
三島　信彦	AOI 名古屋病院		AOI 名古屋病院病院長を務めており，医療安全に精通しているため。	有・無	1
長谷川　ふき子	成田・長谷川法律相談所		医療安全管理を得意とする弁護士であり，法律に関する高い識見を有しているため。	有・無	1

芦田　豊	全国健康保険協会愛知支部		全国健康保険協会愛知支部長を務めており，医療を受ける者として，医療に係る高い見識を有しているため。	有・(無)	2
中東 正文	名古屋大学		総長が指名する理事・副総長	(有)・無	3

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第１５条の４第１項第３号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
・体制の整備状況及び活動内容 名古屋大学監査室において、病院も含めた全学の業務方法書、規程、内規等の整備状況及び実施状況、年度計画に基づく組織及び制度全般の運営状況、人事管理状況などについて監査を行っている。 また、「名古屋大学における内部統制システムの整備及び運用に関する規程」を整備し、病院も含めた全学の業務状況を確認するため、内部統制委員会を年一回開催することとした。 ・ 専門部署の設置の有無（ 有・無 ） ・ 内部規程の整備の有無（ 有・無 ） ・ 内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 名古屋大学ホームページに掲載

規則第１５条の４第１項第３号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 名古屋大学役員会をもって充てることとし、病院の経営に関する事項については病院長、又は副病院長が出席し審議を行うこととしている。 ・ 会議体の実施状況（　年　４８　回　） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無 ）（　年　３　回　） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 名古屋大学ホームページで公表
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：
会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 （○を付す）	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

（注）　会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第１５条の４第１項第４号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 ・ 無 ） ・通報件数（年０件） ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有 ・ 無 ） ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 ・ 無 ） ・周知の方法 名古屋大学ホームページに掲載するとともに、職員に配付している「医療安全ポケットガイド」においても掲載し、案内している。

（様式第 7）

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　病院の機能に関する第三者による評価

①　病院の機能に関する第三者による評価の有無	(有)・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 JCI（Joint Commission International） 平成３１年２月２３日から令和４年２月２２日まで	

（注）医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	(有)・無
・情報発信の方法、内容等の概要 １．附属病院における臨床研究成果を①名古屋教育記者会会員１５社へFax、記者会見を通じてプレスリリースを行い、②医学系研究科ホームページに研究トピックスとして掲載し、広く学外・院外に向けて情報発信している。 ２．診療内容・医療サービスや診療実績等の医療情報について、附属病院ホームページにおいて公開している。 ３．患者や地域向けに広報誌を作成し、広く頒布している。また、一般市民を対象とした公開講座を毎年度開催し、地域市民に向けた教育・啓発活動にも取り組んでいる。	

3　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	(有)・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ア．補助人工心臓を用いた重症心不全治療…心臓移植治療、心臓外科、循環器内科、ICU、麻酔科、精神科の診療科の他に、看護師、　臨床工学技士、理学療法士（心臓リハビリ）、臨床心理士、栄養管理部、薬剤部が合同して患者管理を行っています。植込型補助人工心臓治療は心臓移植適応患者を対象とするため、多職種カンファレンスで適応を審査し、	

補助人工心臓移植から在宅管理、将来的な心臓移植までのシームレスな重症心不全治療を多職種で行っています。

イ．肝臓移植はチーム医療で行っている。（図1）

ウ．神経線維腫症1型患者に対して、15歳までと15歳以降に分け、それぞれ基本的に診療を担当する科を決め、他は症状に合わせて診療科を決めるシステムを構築した。15歳までの診療システムを示す。（図2）

エ．肉腫患者に対するサルコーマボード：整形外科、化学療法部、放射線科、緩和ケア科、外科、泌尿器科などが参加して、肉腫患者に対する診療方針に関する検討会を月1回開催している。

オ．骨転移患者に対する骨転移ボード：整形外科、リハビリテーション科、化学療法部、放射線治療科、緩和ケア科、外科、泌尿器科、乳腺外科、呼吸器内科などが参加して、骨転移患者に対する診療方針に関する検討会を月1回開催している

カ．大動脈疾患における人工血管治療とステント治療の同時ハイブリッド手術…心臓外科と血管外科が合同して手術を行っている。

キ．閉塞性動脈硬化症、血管炎、バージャー病による四肢虚血に対する血管新生療法…循環器内科と血管外科が合同で適応検討、諸検査、治療を行っている。

ク．NST、褥瘡対策チーム、RSTなど、複数診療科の医師と看護師、及びコメディカルからなる専門チームを整備し、定期回診や職員に対する教育活動を行っている。

図 1

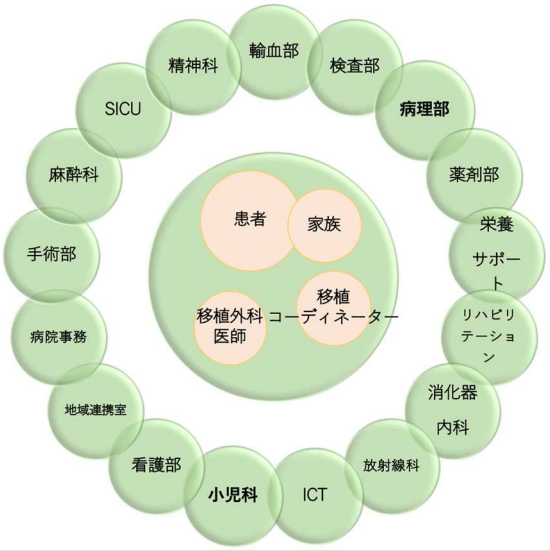
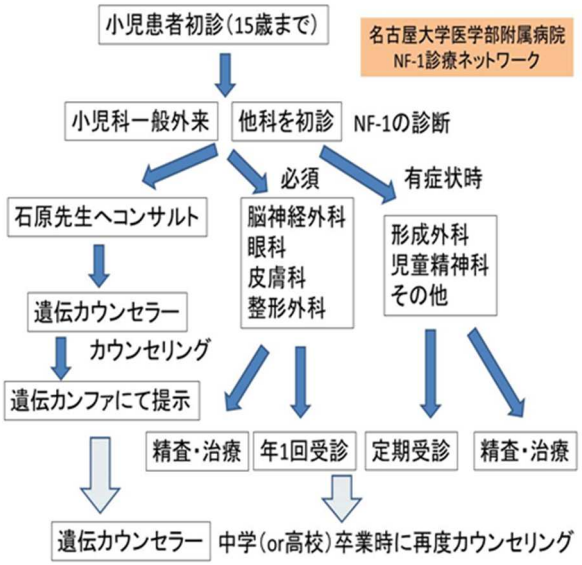

患者
家族
移植外科医師
移植コーディネーター
輸血部
検査部
病理部
薬剤部
栄養サポート
リハビリテーション
消化器内科
放射線科
ICT
小児科
看護部
地域連携室
病院事務
手術部
麻酔科
SICU
精神科

図 2


小児患者初診(15歳まで)
名古屋大学医学部附属病院
NF-1診療ネットワーク
小児科一般外来
他科を初診
NF-1の診断
必須
有症状時
石原先生へコンサルト
遺伝カウンセラー
カウンセリング
遺伝カンファにて提示
脳神経外科
眼科
皮膚科
整形外科
形成外科
児童精神科
その他
精査・治療
年1回受診
定期受診
精査・治療
遺伝カウンセラー
中学(or高校)卒業時に再度カウンセリング